I·O DATA

LAN-iCN

取扱説明書

100664-02

【本書での呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me, Windows 98, Windows 95の総称
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Version 4.0 Workstation Operating System
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows NT 4.0の総称
Mac OS	Mac OS 7.6～9.2.2
Mac OS Ｘ	Mac OS 10.1～10.1.5

【ご注意】

1) 本製品および本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
※本製品のソースコードに関しては、【知的所有権について】を参照してください。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継機、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

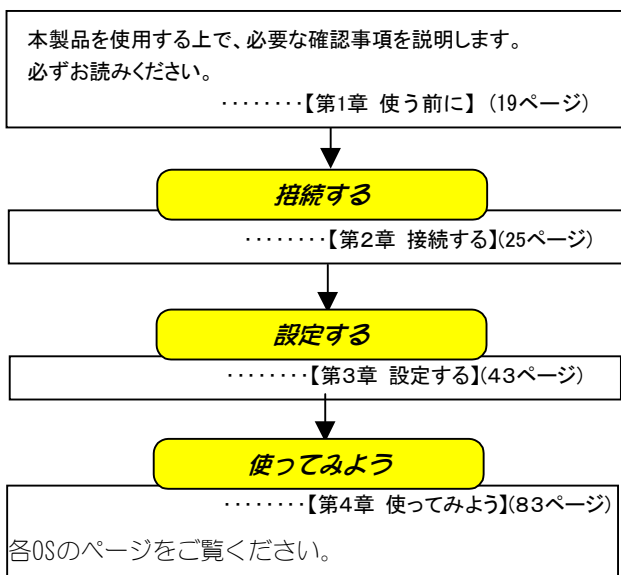
- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- iMac,iBookは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- OS : Embedix(Embedded Linux)　Embedix(TM)は、米国LINEO,Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、サービス名、ソフト名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

本製品が使用できるまでの流れ

本製品を使用するには、最初に本製品の管理者が設定を行います。
設定後、ユーザは本製品を使用できるようになります。
以下の流れに沿って、必要な個所をお読みください。

本書内では、本製品を管理する人を［管理者］、使用する人を［ユーザ］と呼んでいます。

管理者…本製品を管理/運営する人。（本製品の接続や設定を行います。）
ユーザ…本製品を使用する人。

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、
安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

使用中止

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品を接続する場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことをご注意ください。

●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
●接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。
●給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。

発火注意

本製品を接続する場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

● 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
● 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

厳守

本製品の接続、取り外しの際は、必ず本書で、接続・取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

ACアダプタについては以下にご注意ください。

●必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。

●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。

●電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。

●電源コードの電源プラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。

●電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。

●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。

●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）

●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。
ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

添付の電池は絶対に充電しないでください。

充電すると電池内の電解液が沸騰したり、ガスの発生で内部圧力が上昇したりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。

絶縁物をなどを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池の＋と－を逆にして使用しないでください。

充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池の＋と－を針金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどを一緒に持ちこんだり、保管しないでください。

電池がショート状態となり、過大電流が流れたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池に漏液や異臭があるときは、漏れた電解液に引火する恐れがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。

電池に直接はんだ付けをしないでください。

熱により絶縁物などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。

電池をごちゃまぜにしたり、他の金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートして漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。

万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

電池の液が目に入ったときは、目に障害を与える恐れがありますので,こすらずに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

⚠注意

本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）

本製品は精密機器です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

禁止

動作中にケーブルを抜かないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

動作中にACアダプタを抜くなどして電源を切らないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

厳守

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。

●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。

●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止

本製品内部を結露させたまま使わない。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。

そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

禁止

本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。

絶縁物などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池は、直接日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池を水などに濡らさないでください。

電池を発熱させる恐れがあります。

電池の挿入口付近で本製品の金属部と電池の＋および－端子部が接触しないように挿入してください。

接触させると、ショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池は本書をご覧になり、正しい電池をご使用ください。

間違った電池をご使用になると、本製品の故障や電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。

電池は直接日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

添付の電池は、一般の不燃ゴミとして捨ててもいいことになっていますが、自治体の条例などの定めがある場合は、その条例に従って廃棄してください。

添付の電池の保管や一般家庭で買い置きする場合などは、電池がお互いに接触し、ショートすることのないように注意してください。

電池を入れる場合や交換する場合にLAN-iCNの内部に物を入れないでください。

誤動作や故障の原因となります。

コイン形二酸化マンガンリチウム電池（3.0V）は、次の電池などと電圧や形状の互換性がありませんので、指定された専用機器のみにご使用ください。

酸化銀電池（1.55V）、アルカリボタン電池（1.5V）、空気亜鉛電池（1.4V）などの従来の電池

・本製品添付のCFカードは、製品保証範囲外です。

・ハードディスク内のデータは、こまめにバックアップするようにしてください。

データ復旧サービスについて
HDA-Iシリーズ/LANのみ、ハードディスクレスキューサービスの対象となります。詳しくは同梱のチラシを参照ください

・本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。
（【修理について】(184ページ)参照）

改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

修理係では、送付された本製品のハードディスク内のデータをすべて消去します。
必ず、データをバックアップしてから送付してください。

⚠禁止事項

- **動作中にハードディスクの電源を切らないでください。**

  故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

- **動作中に専用コンパクトフラッシュを抜かないでください。**

  故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

- **専用コンパクトフラッシュを本製品以外には使用しないでください。**

  専用コンパクトフラッシュのデータを破損する場合があります。

- **専用コンパクトフラッシュのデータを書き換えないでください。**

  専用コンパクトフラッシュには、本製品のシステムファイルなど、本製品が正常に動作するためのデータが入っています。これらの一部または全てのデータを書き換えると本製品が正常に動作しなくなります。

- **本製品添付以外のコンパクトフラッシュを差し込まないでください。**

⚠ 注意事項

・はじめてハードディスクを使用する場合はフォーマットする必要があります。（セット品であるHDA-iシリーズ/LANも同様です。）

※すでに使用しているHDA-iシリーズなどの接続可能なハードディスクを使う場合、LAN-iCNに接続前にそのハードディスクのデータをあらかじめバックアップしてください。データは、フォーマット時に消去してしまいます。
※LAN-iCN で使用するハードディスクは、LAN-iCN 用にフォーマットする必要があります。LAN-iCN で使用するハードディスクのファイルシステムと、Windows および Mac OS で使用するファイルシステムが異なるため、すでに使用しているハードディスクをそのまま使用することはできません。

・使用できるファイル名やディレクトリ名には制限があります。
詳しくは、15ページを参照してください。

・本製品にネットワーク経由で接続可能なMacintoshの端末数は最大５台までとなります。

・Webブラウザで表示されるハードディスク使用領域とWindowsからドライブ割り当てしてプロパティから見た使用領域の値が大きく異なります。
これはLAN-iCNで使用するファームウェアの制限でハードディスク側に問題があるわけではありません。

・本製品にネットワーク経由で接続可能なWindowsの端末数に制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。
推奨する同時接続台数は8台までとなります。

・ファイルコピー中にLAN-iCNやハードディスクの電源を切るとコピーの処理が正常に行われません。
ハードディスクのアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。

・LAN-iCN起動中（［PWR］が点滅中）はLAN-iCNの電源を切ることができません。

・LAN-iCN設定中はLAN-iCNの電源を切らないでください。

・Windows 2000やWindows XPからLAN-iCNに非常に大きなファイルをコピーしている最中にキャンセルした場合、コピー中のファイルが不完全に残ってしまうことがあります。
不完全に残ったファイルは消去してから再度コピーをやり直してください。

・Macintoshで共有する場合、AppleTalkを使用する方法とTCP/IPを使用する方法があります。

・ネットワークに接続されているLAN-iCNからLANケーブルを抜くと、［FD/COL］の緑ランプは点灯したままとなります。この時FDモードで動作状態を続け、再度ケーブルがさされた時に状態は更新されます。

・Windows 98からLAN-iCNにファイルのコピー中にLANケーブルが抜けるなどして中断された場合、コピー途中のファイルがLAN-iCN上に残り消去できなくなる場合があります。
この場合は、いったんLAN-iCNの電源を切り、再度起動してからコピー途中のファイルを削除し、コピーをやり直してください。

・ハードディスクの簡易チェックに要する時間は、再起動する前のLAN-iCNとハードディスクの状態により大きく異なります。
再起動前、正常にハードディスクがLAN-iCNに認識された状態では、非常に短い時間で終了します。
再起動前、LAN-iCNがハードディスクを正常に認識できていなかった場合は、ハードディスクの容量により異なりますが数分から10分程度の時間を要します。

・Mac OS X（10.1.x）からWebブラウザを使用してLAN-iCNを設定することはできません。

・MacintoshからのLAN-iCNのファームウェアのアップデートはできません。ファームウェアのアップデートはWindowsパソコンで行ってください。

・LAN-iCNをDHCPクライアント設定後、DHCPサーバが存在しなかったなどの理由でIPアドレスの取得に失敗した場合、LAN-iCNは出荷時のIPアドレス「192.168.0.200」に設定されます。
IPアドレス取得の失敗のメッセージが表示された場合は、この値で設定を修正してください。

・IPアドレスなどの設定を不用意に変更されたくない場合は、[「基本設定」画面表示選択]で［表示しない］を選択してください。（126ページ）
これで基本設定のメニューが表示されなくなり、管理者パスワードを持つ人のみが設定可能になります。

・ハードディスクが未接続や電源断の状態でLAN-iCNの電源を入れた場合、［ERR］ランプが点灯します。このような場合は電源スイッチではなく、ACアダプタを抜いて再度起動してください。

・ディップスイッチの［SW1］をONで初期化した場合、設定内容は全て出荷時状態に初期化されます。Webブラウザを起動し直す場合は初期時のIPアドレス［192.168.0.200］で起動してください。

・共有名にはスペースは使用できません。

・ブラウザから設定する、共有、グループ名、ユーザ名、パスワードはすべて、ASCII半角英数字のみが有効となります。

ファイルおよびフォルダ名として使用できる文字

本製品を、異なるバージョンのWindows間で使用する場合、使用できない文字があります。（同一バージョンのWindows間では問題ありません。）

▼使用できない文字

ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ
№℡㈱≒≡∫√⊥∠∵∩∪
纊褜鍈銈蓜俉炻昱棈鋹曻彅丨仡仼伀伃伹佖侒侊侚侔俍偀倢俿倞偆偰偂傔僴僘兊
兤冝冾凬刕劜劦勀勛匀匇匤卲厓厲叝﨎咜咊咩哿喆坙坥垬埈埇﨏
塚增墲夋奓奛奝奣妤妺孖寀甯寘寬尞岦岺峵崧嵓﨑嵂嵭嶸嶹巐弡弴彧德忞恝悅悊
惞惕愠惲愑愷愰憘戓抦揵摠撝擎敎昀昕昻昉昮昞昤晥晗晙晴晳暙暠暲暿曺朎朗杦
枻桒柀栁桄棏﨓楨﨔榘槢樰橫橆橳橾櫢櫤毖氿汜沆汯泚洄涇
涖涬淏淸淲淼渹湜渧渼溿澈澵濵瀅瀇瀨炅炫焏焄煜煆煇凞燁燾犱
犾猤猪獷玽珉珖珣珒琇珵琦琪琩琮瑢璉璟甁畯皂皜皞皛皦益睆劯砡硎硤硺礰礼神
祥禔福禛竑竧靖竫箞精絈絜綷綠緖繒罇羡羽茁荢荿菇菶葈蒴蕓蕙
蕫﨟薰蘒﨡蠇裵訒訷詹誧誾諟諸諶譓譿賰賴贒赶﨣軏﨤逸遧郞都鄕鄧釚釗釞釭釮
釤釥鈆鈐鈊鈺鉀鈼鉎鉙鉑鈹鉧銧鉷鉸鋧鋗鋙鋐﨧鋕鋠鋓錥錡鋻﨨錞鋿錝錂鍰鍗鎤
鏆鏞鏸鐱鑅鑈閒隆﨩隝隯霳霻靃靍靏靑靕顗顥飯飼餧館馞驎髙
髜魵魲鮏鮱鮻鰀鵰鵫鶴鸙黑
ⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹ
￢￤

これらの文字を使用したファイルおよびフォルダを作成した場合、次のような現象が発生します。

（例）「㈱」という文字をファイル名に使用し、作成した場合

①Windows 95パソコンにて「㈱アイ・オー・データ機器.txt」というファイルを作成し、本製品に接続されたハードディスクドライブにコピーまたは移動する（本製品に接続されたハードディスクドライブに直接ファイルを作成する場合も同じです）。

②Windows 98パソコンから、本製品に接続されたハードディスクドライブにアクセスし、「㈱アイ・オー・データ機器.txt」ファイルをコピー/移動/リネーム/削除/参照しようとすると、エラーが表示される。

上記の文字などを使用し、ファイルおよびフォルダの操作ができなくなった場合は、ファイルまたはフォルダを作成したパソコンまたは作成したパソコンと同じバージョンのWindowsパソコンより上記文字が含まれない名前にリネームしてください。

注意！

Windows⇔Mac OS 間で、名前が２バイト文字（全角文字）のファイル（フォルダ）を共有することはできません。半角英数文字で設定してください。

本製品の特長

すぐれた拡張性

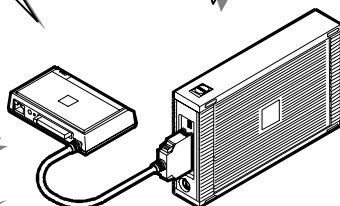
無線 LAN と組み合わせると、パソコン側には増設ハードディスクがいらないので、ノートブックパソコンではディスク容量を気にせず、どこでも持ち歩けます。

※本製品には、無線 LAN 機能はありません。

ハードディスクとアダプタだけでファイルサーバとして機能

従来のパソコンファイルサーバの常識を覆し、ハードディスクとアダプタだけでファイル共有機能。もちろん、Mac OS と Windows OS 間での共有が可能。

i･CONNECTのハードディスクに対応

HDA-i/iU/iE シリーズ、HDR-EL シリーズなどの i･CONNECT 搭載ハードディスクと接続して使用することができます。

Webブラウザからの簡単設定

LAN に接続されているパソコンの Web ブラウザからの簡単設定。
ソフトウェアをインストールする必要がないので楽々設定。

24時間フル稼働でも安定動作

Linux OS を採用していますので、24 時間のフル稼働でも安定して動作します。

《重要》知的所有権に関して

製品を使用する前にお読みください。

使用許諾書

本製品にはLineo, Inc. (以下「Lineo」という)が株式会社アイ・オー・データ機器にライセンス供与したソフトウェア (Embedix) が含まれています。 本ソフトウェアは著作権法、国際著作権条約およびその他知的財産法及び協定により保護されています。

Lineoおよびそのサプライヤーが、本ソフトウェアのソフトウェア・コンポーネントおよびそのコピー一切の所有権および知的財産権 (著作権を含む) を保持します。

ただし、本ソフトウェアの一部コンポーネントはLineoが支援している、GNUジェネラル・パブリック・ライセンス(バージョン 2)にしたがいライセンス付与されているコンポーネントです。GNU ジェネラル・パブリック・ライセンスのコピーは http://www.fsf.org/copyleft/gpl.htmlにて入手できます。Lineoではそれにしたがい、ライセンス付与されているコンポーネントのソースコードを提供しますので、希望する場合は、Lineo、embedix-support@lineo.comまでご連絡ください。

使う前に

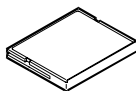
この章では、本製品をご使用になる前の準備について順を追って説明しています。

箱の中の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

■LAN-iCNおよびHDA-iシリーズ/LAN共通の添付品■

☐ 本製品[LAN-iCN]

☐ LAN-iCN用ACアダプタ(1個)

☐ リチウム電池[型番:CR2032](1個)

☐ ケーブルフック(1個)

本製品にACアダプタのケーブルを固定するために使います。
21ページ参照

☐ ラバーフット(4個)

横置きしたハードディスクにLAN-iCNを重ねて設置する場合に使います。18ページ参照

☐ 専用コンパクトフラッシュ(1枚)

☐ ハードウェア保証書(1枚)

☑ 取扱説明書(1冊)

☐ ユーザー登録カード(1枚)

■HDA-iシリーズ/LANのみの添付品■

以下は、HDA-i シリーズ/LAN のみ添付されています。

□ ハードディスク（1台）

LAN-iCNに接続するハードディスク

□ ハードディスク用ACアダプタ（1個）

□ ハードディスク用電源ケーブル（1個）

ハードディスク用の電源ケーブル
（上記ACアダプタに接続します。）

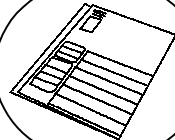
□ ラバーフット（4個）

ハードディスクを横置きで使用する場合に使います。
→35ページ参照

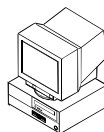
□ スタンド（1個）

ハードディスクを縦置きで使用する場合に使います。
→35ページ参照

□ ハードウェア保証書（1枚）

ユーザー登録はお済みですか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。

対応している機種とOS

本製品を使用できるパソコンや環境は以下の通りです。

パソコン本体

本製品は、「LANインターフェイスを搭載し、TCP/IPが正常に動作する機器」であれば対応しています。（ＯＳには特に依存しません。）

サポート対象環境

■Windowsでお使いになる場合■

パソコン本体	・NEC PC98-NX シリーズ ・DOS/V マシン※

※ 弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。

■Mac OSでお使いになる場合■

パソコン本体	Apple Macintosh, Power Macintosh, iMac, iBook, PowerBook

サポート対象OS一覧	・日本語 Windows XP ・日本語 Windows 2000 ・日本語 Windows Me ・日本語 Windows 98(Second Edition 含む) ・日本語 Windows 95 ・日本語 Windows NT 4.0 Service Pack4 以降 ・Mac OS 7.6～9.2.2 ・Mac OS X　10.1～10.1.5

※弊社では、上記のOSでご利用いただく場合のみをサポート範囲とさせていただいております。UNIX系OSやLinuxなどでご利用いただく場合のサポートは行っておりませんのでご了承ください。

注意！

Mac OS X ではファイル共有はできますが、LAN-iCN の設定はできません。LAN-iCN の設定を変更する場合は、他の OS から行ってください。

LAN-iCNに接続できるハードディスク

●本製品に接続できるハードディスクは、以下のとおりです。

弊社製i・CONNECT搭載ハードディスク	電源連動機能 （○：対応、×：非対応）
HDA-iシリーズ	×
HDA-i(OP)シリーズ※	×
HDA-iUシリーズ	○
HDA-iEシリーズ	○
HDR-ELシリーズ	×

※ACアダプタは添付されておりません。別途弊社製ACアダプタ HDA-ACADPをお買い求めください。

電源連動機能とは

LAN-iCNの電源に連動して、自動的に接続したハードディスクの電源が入／切される機能です。

《電源連動機能が働く条件》

①HDA-iUシリーズまたはHDA-iEシリーズのハードディスクであること

②正しい接続状態であること（【接続する】25ページ～をご覧ください）

③ハードディスクの電源がACアダプタで接続されていて、電源がONになっていること

接続できるハードディスクの最大容量は、2Tバイト(理論値)となります。
(T:テラ、1Tバイト＝1000Gバイト)

必要なソフトウェア（本製品を設定するパソコンのみ）

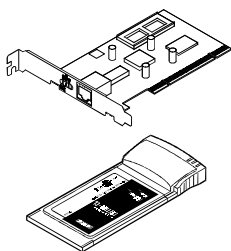
本製品の設定をするためのパソコン(**設定用パソコン**)には、以下のバージョンのWebブラウザが必要です。お持ちで無い場合は、別途ご用意ください。

設定用 Webブラウザ	Internet Explorer　バージョン5.0以上

LAN環境

本製品は、LANで接続する必要があります。
パソコンにLANコネクタを搭載していない場合は、LANアダプタが必要です。
また、本製品に利用するパソコンの台数分のLANケーブルも必要です。
複数のパソコンを接続するには、ハブが必要です。
本製品とハブとの接続は、LANケーブルで行います。

LANアダプタ

本製品に接続するパソコンのLANアダプタの設定をご確認ください。
（LANアダプタ：LANボード、USB LANアダプタ、LAN PCカードなど）

※LANアダプタ使用時は、パソコンに取り付け、必要なソフトウェアをインストールしておいてください。（詳しくは、各LANアダプタの取扱説明書をご覧ください。）

LANケーブル

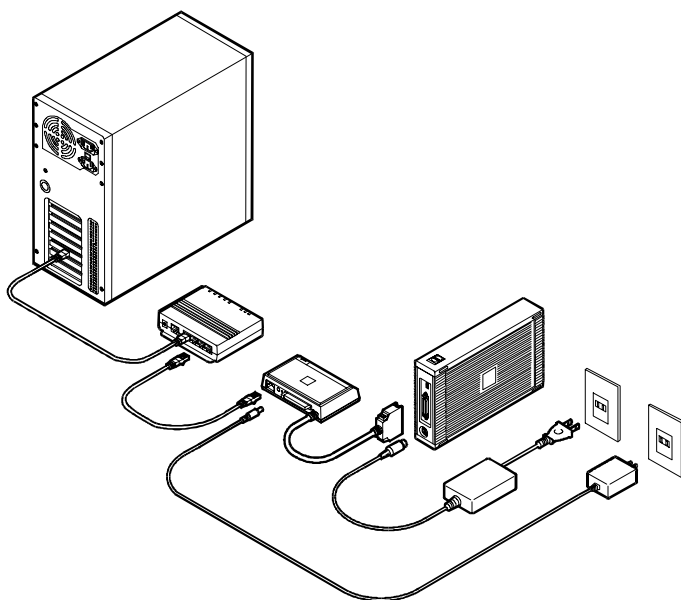
本製品⇔ハブ間では、**ストレートタイプ**のLANケーブルが必要です。
本製品を直接パソコンに接続する場合は、**クロスタイプ**のLANケーブルが必要です。
ハブ⇔各パソコン間のLANケーブルについては、ハブの取扱説明書をご覧ください。

ハブ

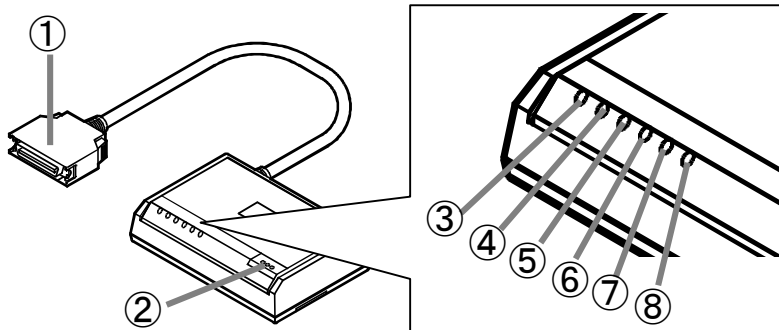
本製品に複数のパソコンを接続する場合に必要です。

第2章

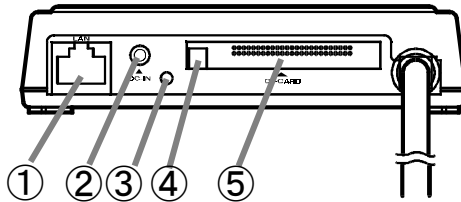
接続する

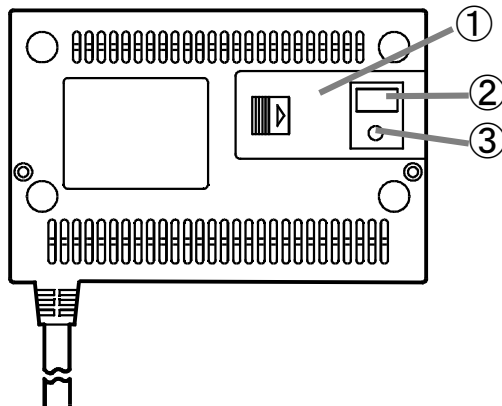
この章では、本製品⇔ハードディスクと、本製品⇔ネットワークへの接続方法を説明します。

ステップ 1

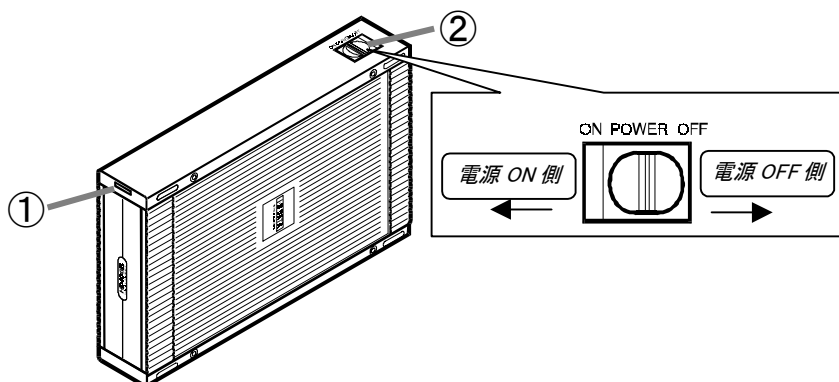
接続前の準備①
各部の名称・機能を確認する

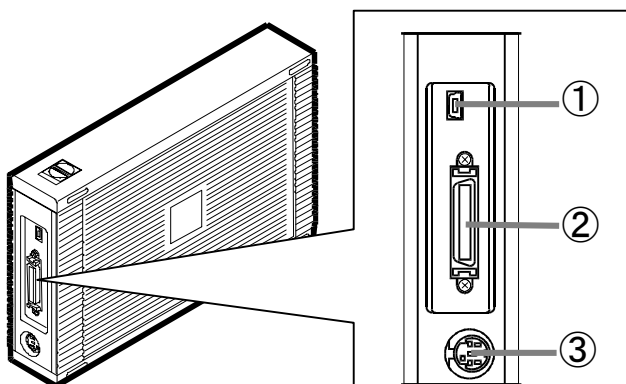
■上面■

No	名称	機能
①	i·CONNECT	i·CONNECT対応ハードディスクと接続します。
②	POWER	LAN-iCNの電源スイッチです。 LAN-iCNの電源切断処理を行います。
③	PWR (青色)	電源状態を示します。 点灯:LAN-iCN稼動中 点滅:LAN-iCN起動処理、電源切断処理時
④	ERR (橙色)	アラーム状態を示します。 点灯:LAN-iCN起動中([PWR]ランプ点滅中) エラー発生時(起動後) ※未フォーマットのハードディスク接続時も点灯します。
⑤	STS (緑色)	動作状態を示します。 点灯:ハードディスクのチェック中 点滅:ハードディスクのフォーマット時や内部情報取得時、 本製品設定時など
⑥	LNK/ACT (緑色)	LANのリンク状態を示します。
⑦	100/10 (緑色)	点灯:100BASE-TXネットワーク接続時 消灯:10BASE-Tネットワーク接続時
⑧	FD/COL (緑色)	LANのコリジョン状態を示します。 点灯:全二重で通信中 点滅:コリジョン発生 消灯:半二重で通信中

※③~⑧は本製品上面よりご確認ください。

■背面■

No	名称	機能
①	LAN	LANケーブルの接続用コネクタ
②	DC-IN	添付のACアダプタ接続用コネクタ
③	ケーブルフック取り付け穴	ACケーブルが簡単に抜けることを防ぐために、添付のケーブルフックで固定するための取り付け穴
④	イジェクトボタン	CFカード取り外し用のボタン
⑤	CFカード挿入口	添付のLAN-iCN専用CFカードのスロット。

■底面■

No	名称	機能
①	背面カバー	電池挿入・交換時に取り外します。(30ページ参照)
②	ディップスイッチ	LAN-iCNの設定値を変更する場合に使用します。 通常変更する必要はありません。
③	リセットボタン	LAN-iCNの設定内容を初期化する場合に使用します。 (80ページ参照)

■ハードディスク上面/前面■ （HDA-iシリーズ/LANの添付品）

No	名称	機能
①	電源ランプ、アクセスランプ	電源投入時に、緑色に点灯します。 アクセス中は、オレンジ色に点滅します。
②	電源スイッチ	前面へ動かすと待機状態になります。 HDA-iUシリーズおよびHDA-iEシリーズの場合のみ、ハードディスクはLAN-iCNに連動して電源が入ります。

■ハードディスク背面■ （HDA-iシリーズ/LANの添付品）

No	名称	機能
①	USBポート	LAN-iCNでは使用しません。
②	i・CONNECT	LAN-iCNと接続するコネクタです。
③	DC端子	ハードディスク用のACアダプタを接続します。

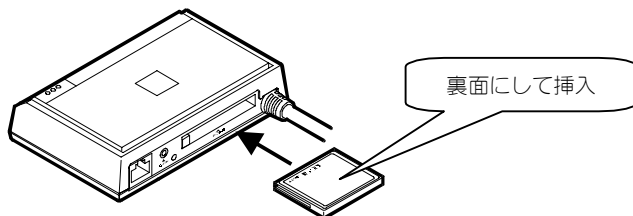
ステップ 2

接続前の準備②

LAN-iCN に CF を取り付ける

LAN-iCNに添付の専用CFカードを取り付けます。

- 添付の CF カードは、内部に LAN-iCN 専用のプログラムが書き込まれています。
  本製品以外（パソコンなど）では、使用しないでください。添付の CF カードを本製品以外（パソコンなど）で使用すると、本製品で使用できなくなる場合があります。
  また、市販の CF カードは、LAN-iCN では使用できません。
- CF カードは表面を上にして挿入することはできません。
  うまく挿入できない場合は、無理に挿入せず、表裏を確認してください。

添付のCFカードを裏返し、LAN-iCNのCFカード挿入口に挿入します。奥まで入っていることを確認してください。

以上でCFカードの取り付けは終了です。

ステップ 3

接続前の準備③

LAN-iCN に電池を取り付ける

LAN-iCNに添付の電池を取り付けます。

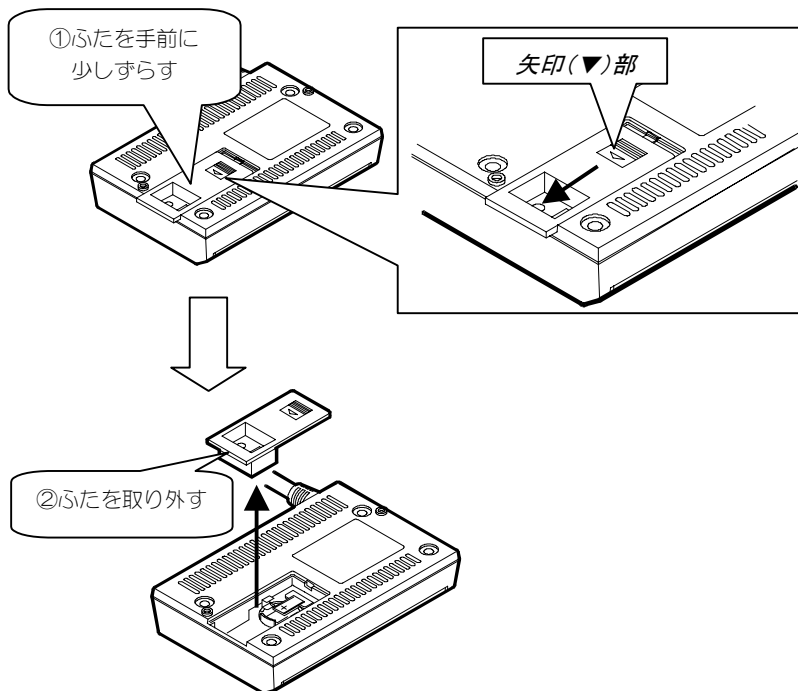
電池の交換については、【添付の電池の交換について】(180 ページ)をご覧ください。

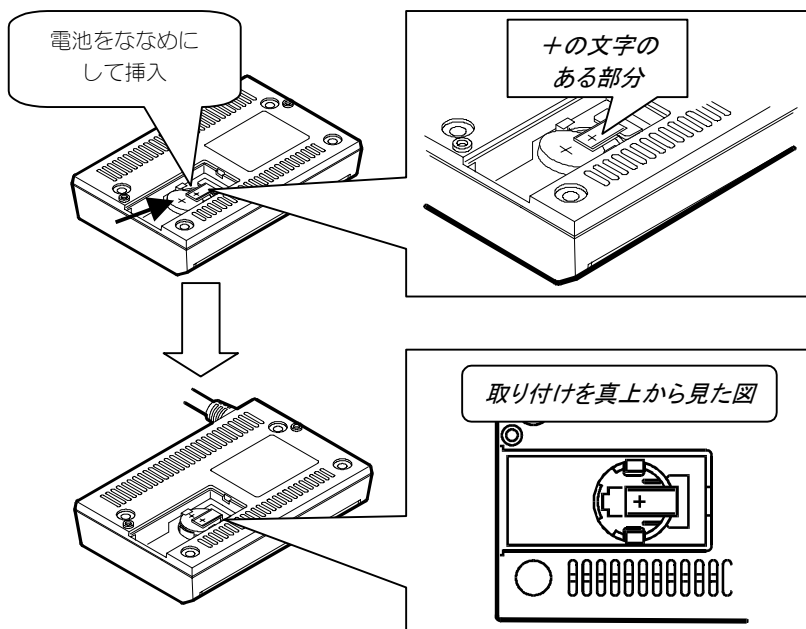
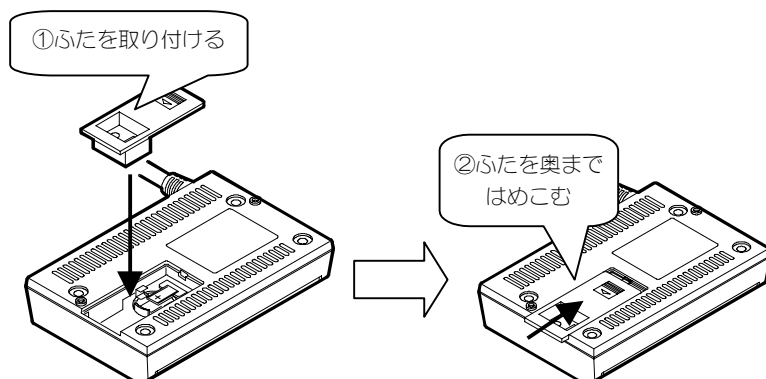
1 本製品を裏返し、底面のふたを取り外します。

裏面の矢印(▼)のある個所を押しながら手前に少しずらします。
ずらした後、ふたを取り外してください。

①ふたを手前に
少しずらす

矢印(▼)部

②ふたを取り外す

2 添付の電池の＋面を上にして取り付けます。

＋面を上にして、＋の文字のある部分の下にはさみこむように斜めにして奥まで挿入します。

3 奥まで挿入したら、*1* の逆の手順でふたを取り付けます。

ステップ 4

接続前の準備④

IP アドレスを確認する

ここでは、ネットワーク内に本製品と同一の IP アドレスが存在しないことを確認します。（本製品の出荷時 IP アドレスは 192.168.0.200 です。）

・ここでは LAN-iCN をネットワークに接続しないでください。
・[PING] コマンドを実行するには、ネットワークを構成するすべてのパソコンに TCP/IP がインストールされている必要があります。TCP/IP のインストール方法などについては、LAN アダプタの取扱説明書をご覧ください。
・ネットワークが Macintosh のみで構成されている場合は、各 Macintosh の TCP/IP コントロールパネルで "192.168.0.200" が設定されていないことをご確認ください。

確認方法：パソコンの PING コマンドでの確認

1 設定用パソコンの電源を入れます。

2 [コマンドプロンプト]（MS-DOSプロンプト）を起動します。

・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックします。

・Windows 2000の場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックします。

・Windows Meの場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[MS-DOSプロンプト]をクリックします。

・Windows 98/95の場合

[スタート]→[プログラム]→[MS-DOSプロンプト]をクリックします。

・Windows NT 4.0の場合

[スタート]→[プログラム]→[コマンドプロンプト]をクリックします。

3 PING 192.168.0.200　　と入力し、[Enter]キーを押します。

```
C:¥>PING 192.168.0.200
```

4 [Request timed out]や[Destination host unreachable]などと表示された場合は、そのまま次ページ【ステップ5】にお進みください。

```
Pinging 192.168.0.200 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.0.200:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

[Reply from 192.168.0.200 …]と表示される場合…

⇒LAN-iCNと同一のIPアドレスを持つネットワーク機器が存在します。
“192.168.0.200”のIPアドレスに設定されているネットワーク機器のIPアドレスを変更するか、取り外してください。
（詳しくは、ネットワーク管理者へご相談ください。）

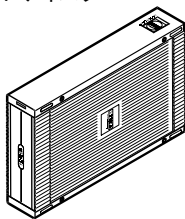
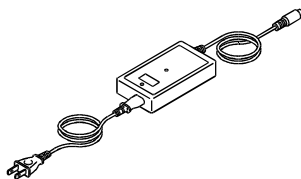
ステップ 5　接続①

LAN-iCN にハードディスクを接続する

LAN-iCNとハードディスクを接続します。

接続するハードディスクについて

・HDA-iシリーズ/LANの場合

添付のハードディスクを接続します。以下を準備してください。

・LAN-iCNの場合

別途i・CONNECT対応ハードディスクを準備してください。（LAN-iCNに接続できるハードディスクについては、【LAN-iCNに接続できるハードディスク】（23ページ）を参照してください。）

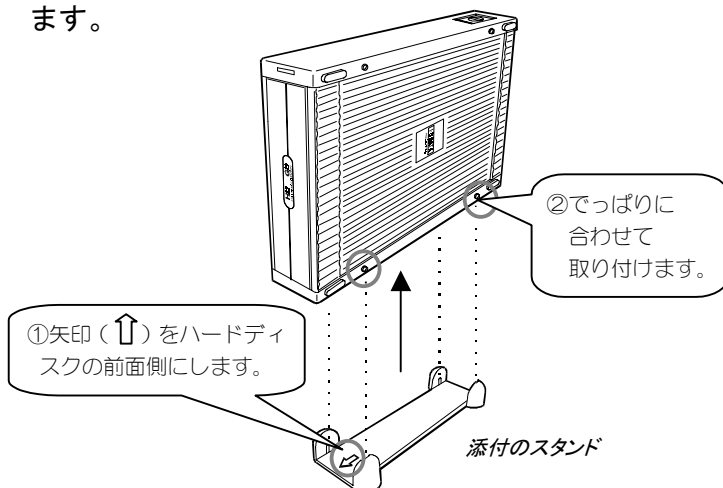
注意！

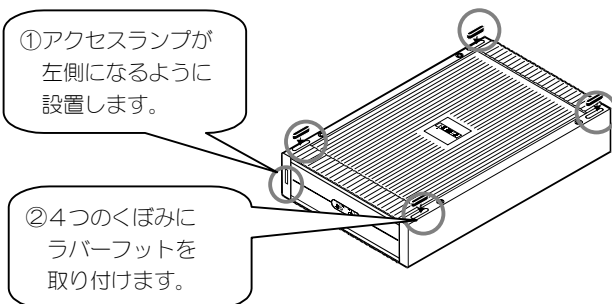
ハードディスクを使用するには、ハードディスクをLAN-iCNに接続後、LAN-iCN用にフォーマットする必要があります。フォーマットすると以前のデータはすべて消去され、LAN-iCNでしか使用できなくなります。
ハードディスクに重要なデータがある場合は、必ず別のディスクなどにバックアップしてからLAN-iCNに接続してください。
また、LAN-iCNで使用していたハードディスクをパソコンでご利用になる場合、パソコンに接続した後、パソコンで使用できるフォーマットにフォーマットし直す必要があります。

ハードディスクの設置方法について（HDA-i シリーズ/LAN の場合）

ハードディスクは、縦置き/横置きにしたり、また、LAN-iCNと重ねて使用することもできます。

・縦置きで使用する

ハードディスク底面に、添付のスタンドを取り付け、設置します。

・横置きで使用する

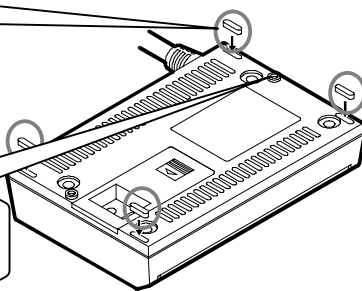
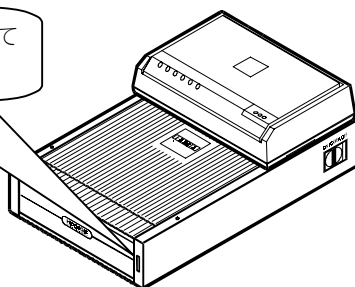
1）　４個所にラバーフットを取り付けます。

2）　取り付け後、ラバーフット側を下にして設置します。

･横置きで重ねて使用する

LAN-iCNとハードディスクは、重ねて使用することもできます。
1台のみ重ねることができます。
LAN-iCNの４個所にラバーフットを取り付け、ハードディスクの上に重ねます。

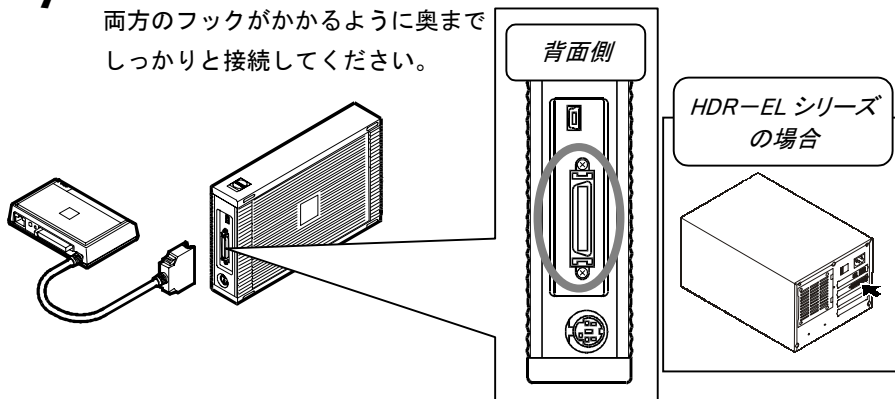
※ハードディスクには、前ページのラバーフットを取り付けてください。

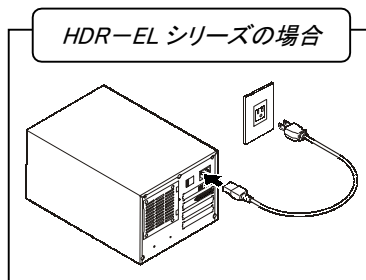
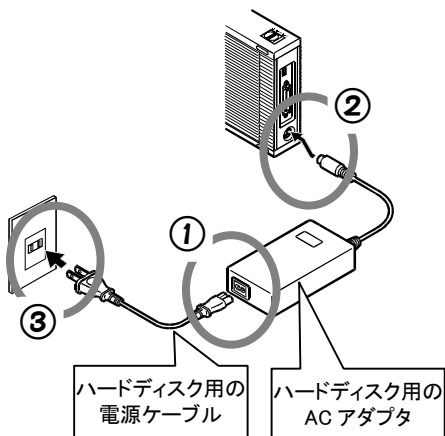
１） LAN-iCN底面の４隅にラバーフットを取り付けます。

※背面カバー（電池のふた）と重ならないように取り付けてください。

２） HDA-iシリーズと重ねます。

LAN−iCN にハードディスクを接続する

LAN-iCNとハードディスクを接続します。

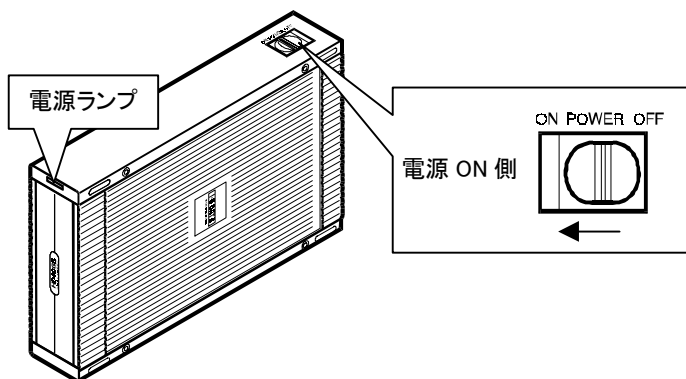
1 LAN−iCNとハードディスクを接続します。

両方のフックがかかるように奥まで
しっかりと接続してください。

2 ハードディスクを電源に接続します。

①ハードディスク用のACアダプタと電源ケーブルを接続します。
②ACアダプタをハードディスクに接続します。
③電源ケーブルをコンセントに接続します。

ハードディスクの電源を入れる

ハードディスクの電源を入れます。

必ず、LAN-iCN の電源より先に、ハードディスクの電源を入れてください。
LAN-iCN に AC アダプタを接続してしまった場合は、取り外してからハードディスクの電源を入れてください。

ハードディスクの電源スイッチをON側（ハードディスク前面側）にします。

・HDA-iUシリーズ、HDA-iEシリーズの場合

LAN-iCNの電源と連動して、ハードディスクの電源がON/OFF動作します。
（LAN-iCNの電源を入れるとONとなり、LAN-iCNの電源を切るとOFFとなります。）

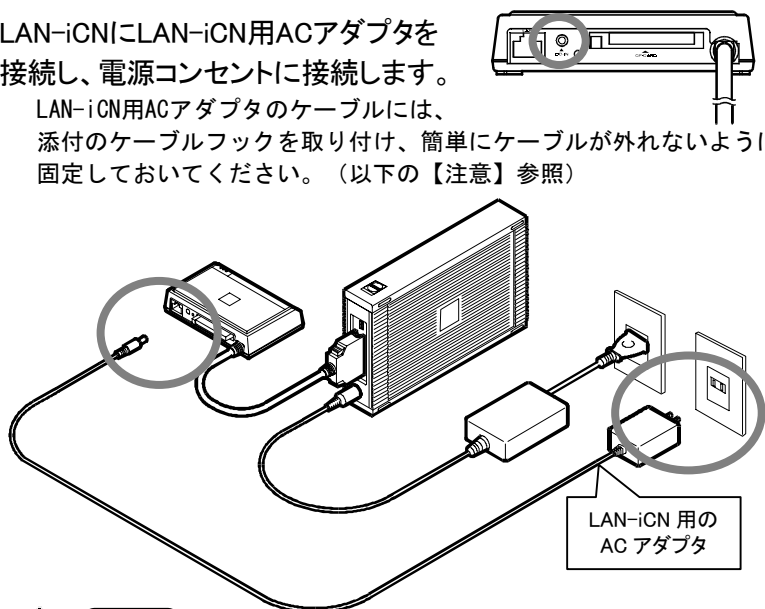
・HDA-iシリーズ、HDR-ELシリーズの場合

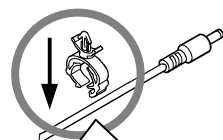
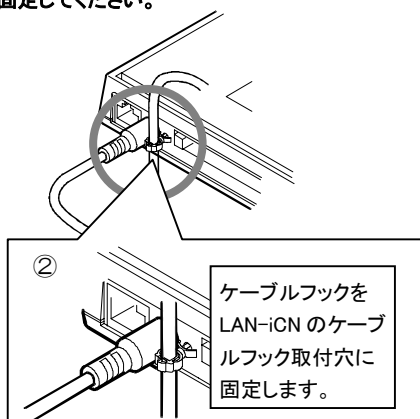
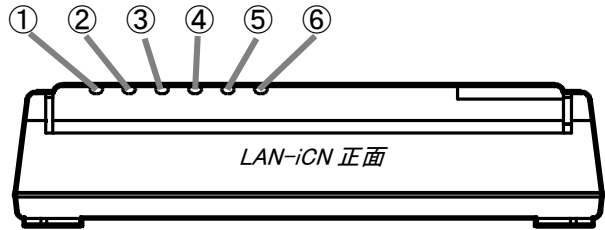
LAN-iCNと電源連動しません。
HDA-iシリーズの場合は、電源スイッチをON側（ハードディスク前面側）にします。
HDR-ELシリーズの場合は、前面の電源スイッチを押します。

LAN-iCN の電源を入れる

LAN-iCNの電源を入れます。

1 LAN-iCNにLAN-iCN用ACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。

LAN-iCN用ACアダプタのケーブルには、
添付のケーブルフックを取り付け、簡単にケーブルが外れないように固定しておいてください。（以下の【注意】参照）

注意！

本製品の電源を切る手順(【電源を切る場合】42 ページ参照)を行わずに、
ケーブルが不意に外れた場合は、本製品のシステムが破損し、動作しなくなる場合があります。
接続時には、AC アダプタのケーブルに必ず添付のケーブルフックを取り付け、不意に抜けてしまうことのないように本製品に固定してください。
(一度ケーブルフックを取り付けると
ケーブルフックは取り外しできません。)

2 LAN-iCNの電源が入ります。（ACアダプタを接続すると自動的に電源が入ります。）しばらくして、ランプが以下の状態となること確認してください。

ランプ	色	ランプの状態
①PWR	青	起動中は点滅し、起動完了後に点灯します。
②ERR	橙	起動中（[PWR] 点滅中）は点灯し、起動完了後はシステムにエラーがない場合に消灯します。 また、ハードディスクが LAN-iCN 用にフォーマットされていない場合は、起動後も点灯します。（ハードディスクは LAN-iCN 用にフォーマットする必要があります。） フォーマット（69 ページ参照）後は、ランプは消灯します。
③STS	緑	消灯
④LNK/ACT	緑	点灯または点滅
⑤100/10	緑	10BASE-T ネットワークに接続時は、消灯 100BASE-TX ネットワークに接続時は、点灯
⑥FD/COL	緑	全二重で接続時、点灯 半二重で接続時、消灯

注意！

ハードディスクの電源を入れずに、LAN-iCN の電源を入れた場合は、LAN-iCN が正常に起動しません。
ランプが以下のようになっている場合は、LAN-iCN のＡＣアダプタを抜いて、ハードディスクの電源を入れる手順から行ってください。

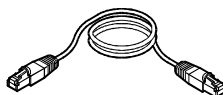
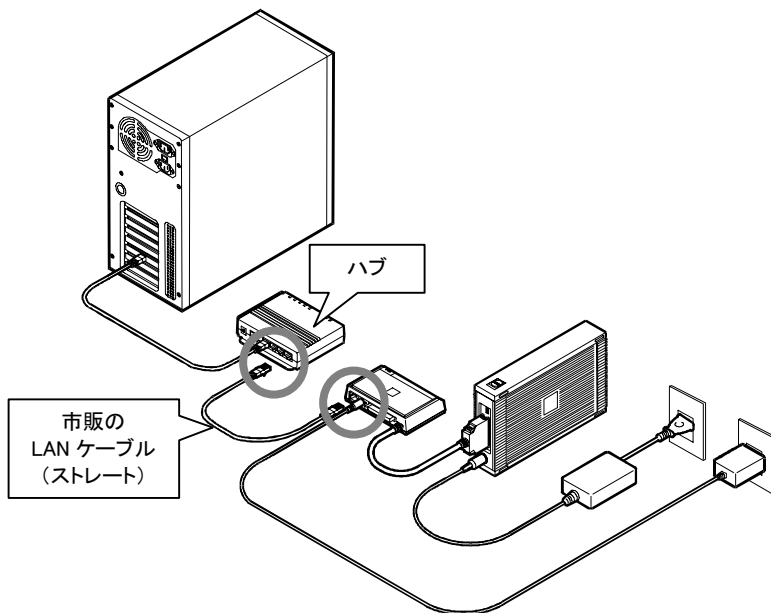
▼ハードディスクの電源を入れずに、LAN-iCN の電源を入れた場合の動作
[PWR] ランプ：点灯のまま（点滅でない）
[ERR] ランプ：点灯のまま（点滅でない）

3 HDA-iUシリーズおよびHDA-iEシリーズの場合は、LAN-iCNの電源が入ると、HDA-iUシリーズおよびHDA-iEシリーズの電源も同時に入ります。（電源連動機能）

ステップ 6

接続②
LAN-iCN をネットワークに接続する

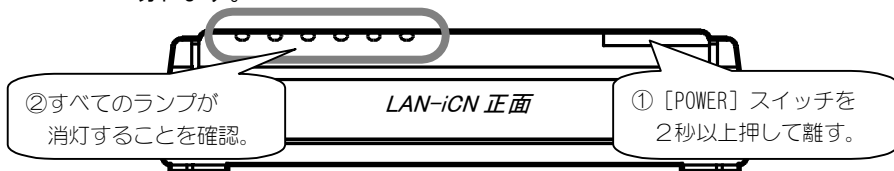
ハードディスクを接続した後は、LAN-iCNをハブなどのネットワークに接続します。LANケーブルをご用意ください。

・LANケーブル（ストレート）
※本製品にはLANケーブルは添付しておりません。
別途ご用意ください。

1 本製品にご用意いただいたLANケーブルを接続し、もう一方をハブなどのネットワーク機器に接続します。

**LAN ケーブル（RJ-45）は、ISDN 機器（S/T 点）に差し込まないでください。
故障の原因となります。**

電源を切る場合

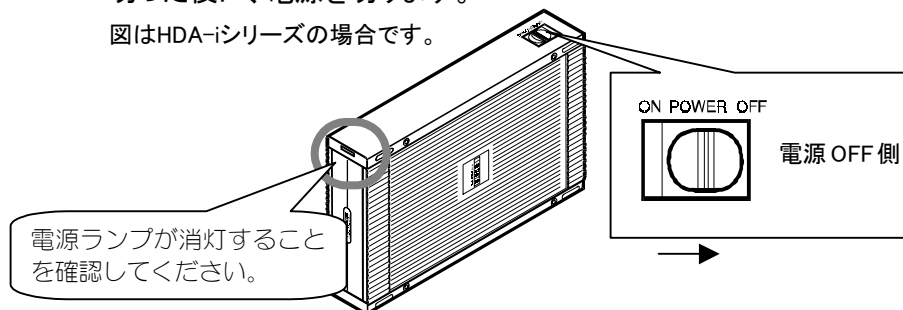
・必ず、LAN-iCN→ハードディスクの順に電源を切ってください。
　HDA-iU シリーズや HDA-iE シリーズの場合は、LAN-iCN の電源を切れば、
　自動的に電源が切れます。　（電源連動機能）
・長期間使用しない場合は、AC アダプタを抜いてください。

1 LAN-iCNの電源を切ります。

①LAN-iCNの［POWER］スイッチを2秒以上押してください。
　［PWR］ランプが点滅しますので、点滅したら指を離してください。
②しばらくして、すべてのランプが消灯することを確認してください。
　HDA-iUシリーズ、HDA-iEシリーズの場合は、LAN-iCNと連動して電源が
　切れます。

2 LAN-iCNのACアダプタを電源コンセントから抜きます。

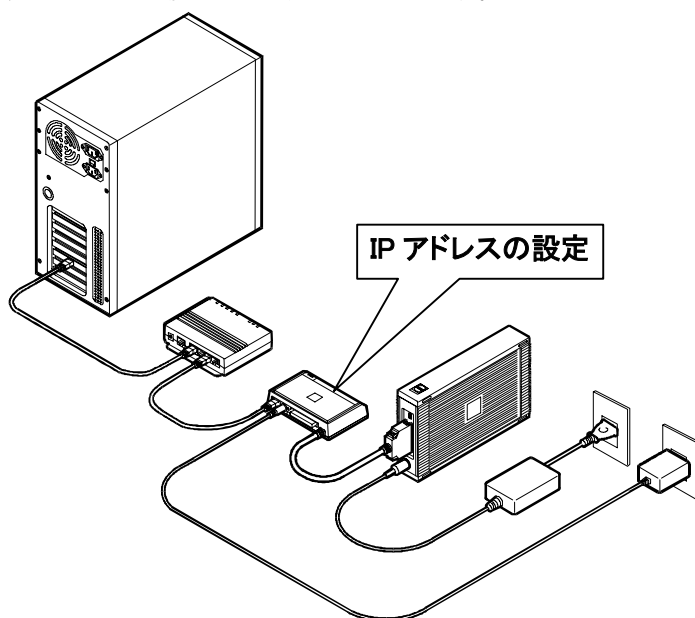
完全に電源を切る場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
ACアダプタを抜かない場合は、スタンバイ状態になります。この状態のときは、
［POWER］スイッチを押すことにより起動することが可能です。

3 HDA-iシリーズやHDR-ELシリーズの場合は、LAN-iCNの電源を切った後に、電源を切ります。

図はHDA-iシリーズの場合です。

第3章

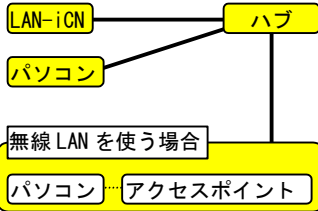
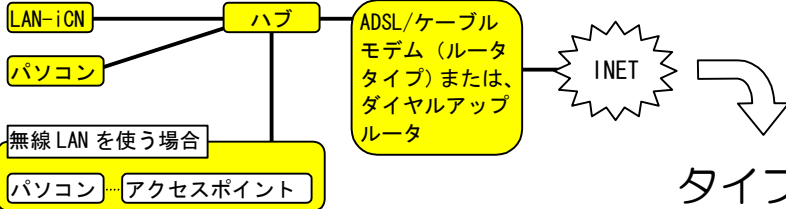
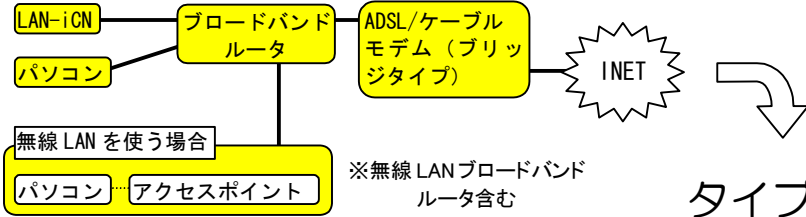
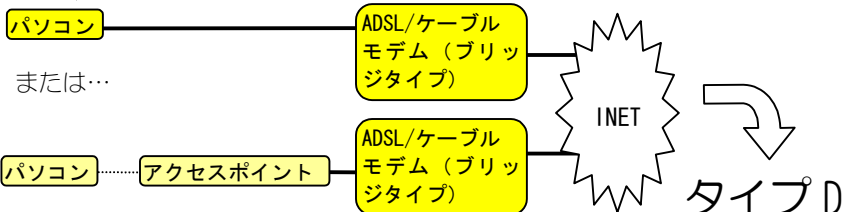
設定する（本製品の設定）

～ 本製品を使うための設定 ～

この章では、本製品を使用するための設定方法を説明します。
（設定は管理者が行います。）
この章の設定をした後でユーザ側の設定をします。

Mac OS X ではファイル共有はできますが、LAN-iCN の設定はできません。
LAN-iCN の設定を変更する場合は、他の OS から行ってください。

設定の流れ

お使いのネットワークの形態によって、設定方法が異なります。
最初にネットワークのタイプを選びましょう。

お使いのネットワーク形態は？

お使いのタイプの手順にしたがって設定する

ネットワークの形態が分かったら、下記にしたがってください。

タイプA

⇒48ページから以下の順で設定してください。

ステップ１→ステップ２→ステップ３→ステップ４

（ステップ５は必要に応じてお読みください。）

タイプB

⇒次ページをご覧になり、設定用パソコンのIPアドレスを確認してください。

タイプC

⇒次ページをご覧になり、設定用パソコンのIPアドレスを確認してください。

タイプD

⇒ハブを利用してもLAN-iCNは導入できません。別途ブロードバンドルータを導入してタイプCの環境にする必要があります。

IP アドレスを確認する（タイプ B、タイプ C のみ）

タイプ B、タイプ C の場合は次ページの各 OS 毎での手順にしたがって、［IP アドレス］と［サブネットマスク］を確認してください。

IPアドレス → 192.168.0.xxx （xxxは200以外の値）
サブネットマスク → 255.255.255.0

・確認結果が、上記の場合

62ページから次の順で設定してください。

ステップ３→ステップ４

（ステップ１，２，５は必要に応じてお読みください。）

・確認結果が、上記以外の場合

LAN-iCNと設定用パソコンのみで設定を行います。

LAN-iCNと設定用パソコン2台のみを接続した状態にして、38ページから次の順で設定してください。

ステップ２→ステップ３→ステップ４→ステップ５

（ステップ１は必要に応じてお読みください。）

各OSでの[IPアドレス][サブネットマスク]確認方法

・Windows XP での確認方法

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックします。
2. IPCONFIG と入力し、[ENTER]キーを押します。
3. 表示されたIPアドレス、サブネットマスクを確認してください。

・Windows 2000 での確認方法

1. [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]をクリックします。
2. IPCONFIG と入力し、[ENTER]キーを押します。
3. 表示されたIPアドレス、サブネットマスクを確認してください。

・Windows Me/98/95 での確認方法

1. [スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
2. [名前]に WINIPCFG を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
3. お使いのアダプタを選択し、表示されたIPアドレス、サブネットマスクを確認してください。

・Mac OS 7.6～9.2.2 での確認方法

1. [アップルメニュー]→[コントロールパネル]内の[TCP/IP]をクリックします。
2. [経由先:]でお使いのLANアダプタを選択します。
3. 表示された[IPアドレス][サブネットマスク]を確認してください。

ステップ 1

設定前の準備①
LANに関する基礎知識

手動でのIPアドレス・サブネットマスク設定例

数台および数十台のネットワーク環境でご使用になる場合、パソコンやIPアドレスを使用するネットワーク機器（本製品、ルータ、アクセスポイントなど）には、通常以下のような[IPアドレス]と[サブネットマスク]が使用されます。

IPアドレス	192.168.0.xxx （"xxx"には 1～254までの数字で他のネットワーク機器[パソコンを含む]と重ならない数字を入力します。）
サブネットマスク	255.255.255.0 （IPアドレスとは異なり、すべてのパソコンやネットワーク機器で[255.255.255.0]とします。）

192.168.0.200
（255.255.255.0）

上がIPアドレス
（）内はサブネットマスク

192.168.0.1
（255.255.255.0）

192.168.0.2
（255.255.255.0）

192.168.0.3
（255.255.255.0）

‥‥‥‥‥

この後は、順に
192.168.0.4
192.168.0.5
192.168.0.6
‥‥‥‥‥
と設定します。

設定する[IPアドレス]について

上記例でパソコンに[192.168.0.1]から順に設定していますが、他のすべてのパソコンやネットワーク機器と重ならない値ならば、192.168.0.1から設定しなくても問題ありません。また、連続している必要もありません。

本製品をDHCPクライアントとしてご利用になる場合の注意

ネットワーク内に DHCP サーバ（例：Windows 2000 サーバおよび Windows NT サーバ、ルータ、ルータタイプのモデムなど）がある場合は、本製品を DHCP クライアントとして設定することもできます。（79 ページ参照）

DHCPをご利用になる場合の注意

DHCP を有効に設定して、IP アドレスを DHCP サーバ（例：Windows 2000 サーバおよび Windows NT サーバなど）から取得する設定にした場合は、DHCP サーバの設定時に本製品の IP アドレスを予約するようおすすめします。

DHCP を使用すると IP アドレスの管理が簡単になりますが、本製品を含め各 DHCP クライアントが使用する IP アドレスが固定ではなくなります。
DHCP サーバの中には IP アドレスの予約ができるようになっているもの（例：Windows 2000 サーバおよび Windows NT サーバなど）がありますので、予約ができる場合は、DHCP サーバの設定時に本製品の IP アドレスを予約してください。

ステップ 2

設定前の準備③ パソコンの IP アドレスを設定する

本製品を設定するパソコン(**設定用パソコン**)の IP アドレスが、本製品の IP アドレスと同じクラスで、かつ、本製品とは別の IP アドレスとなっている必要があります。以下の手順で設定してください。(**本製品の出荷時の IP アドレスは「192.168.0.200」です。**)

本製品を使用するには、IP アドレス、DHCP などのネットワークの知識が必要です。
お分かりにならない場合は、【付録2　TCP/IP の基礎知識】(174 ページ)をご覧ください。

1 LAN-iCNおよびハードディスクを設定する「設定用パソコン」がハブなどのネットワーク機器に接続されていることを確認します。

2 設定用パソコンの電源を入れます。

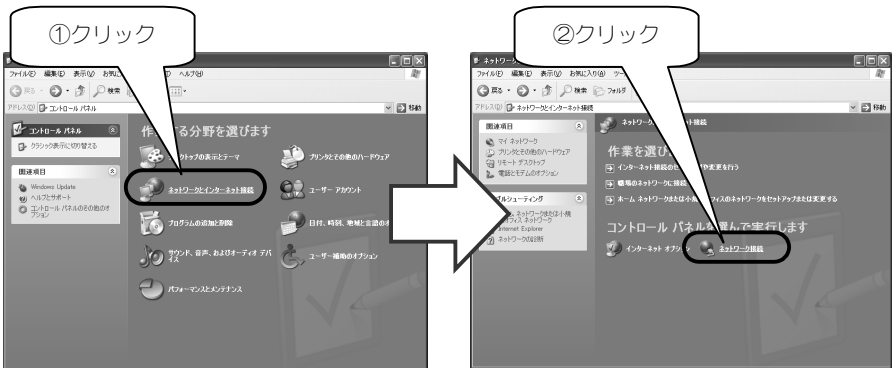
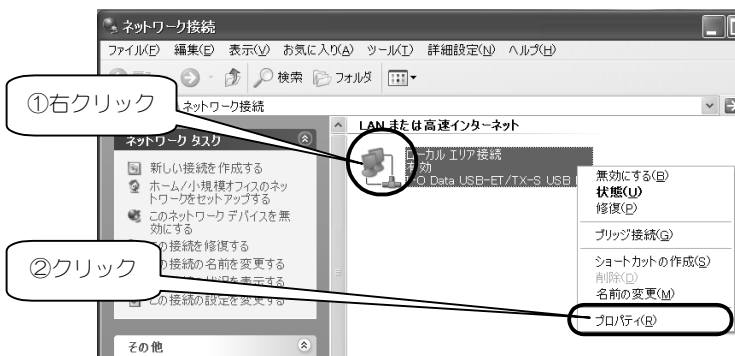
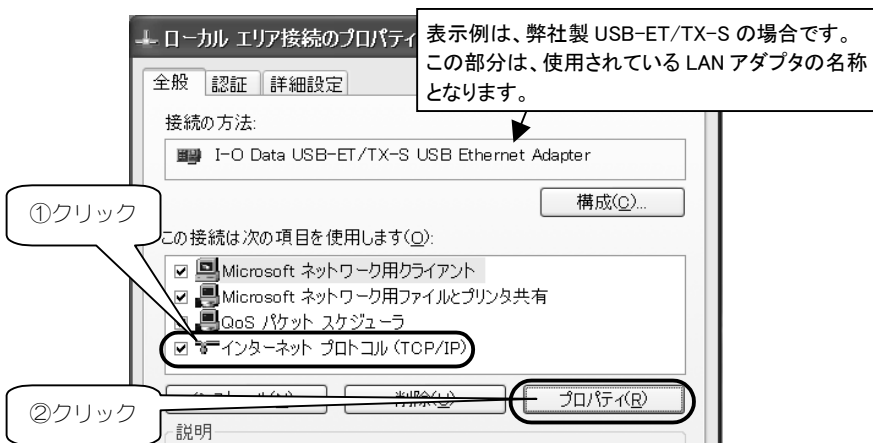
3 設定用パソコンのIPアドレスを設定します。
設定はご使用のOSによって異なります。以下の該当する個所へお進みください。

・ Windows XPをお使いの場合　→　次ページ参照
・ Windows 2000をお使いの場合　→　54ページ参照
・ Windows Me/98/95をお使いの場合　→　57ページ参照
・ Windows NT 4.0をお使いの場合　→　59ページ参照
・ Mac OS(Classic)をお使いの場合　→　61ページ参照

Windows XP で IP アドレスを設定する

1 コンピュータの管理者のアカウントでログオンします。

2 [スタート]ボタンをクリックし、現れたスタートメニューの中にある[コントロール パネル]をクリックします。

3 [ネットワークとインターネット接続]をクリックし、開いたウィンドウの中にある[ネットワーク接続]をクリックします。

4 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

5 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

6 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

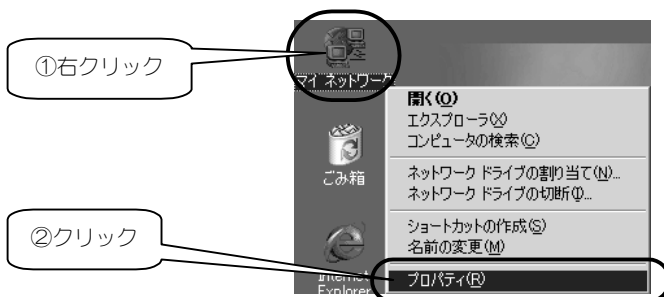
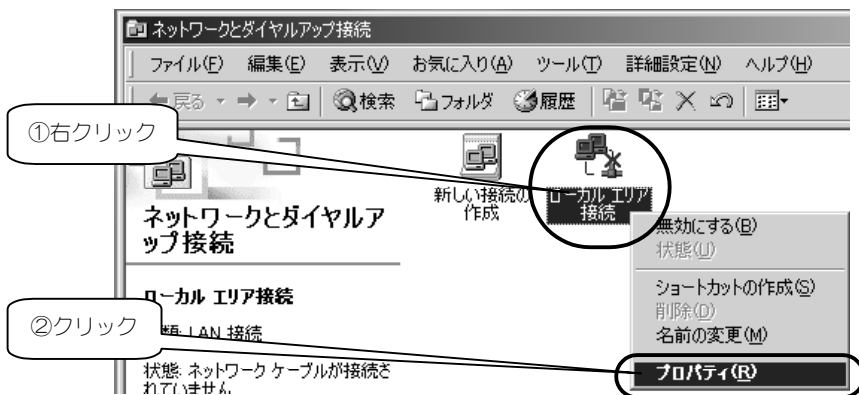
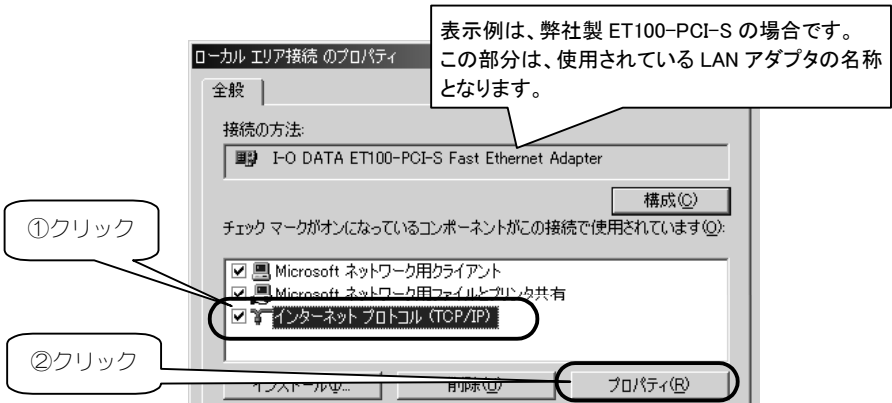
設定用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

（LAN-iCNのIPアドレスは出荷時「192.168.0.200」です。）

確認・設定後、【ステップ3】(62 ページ)へお進みください。

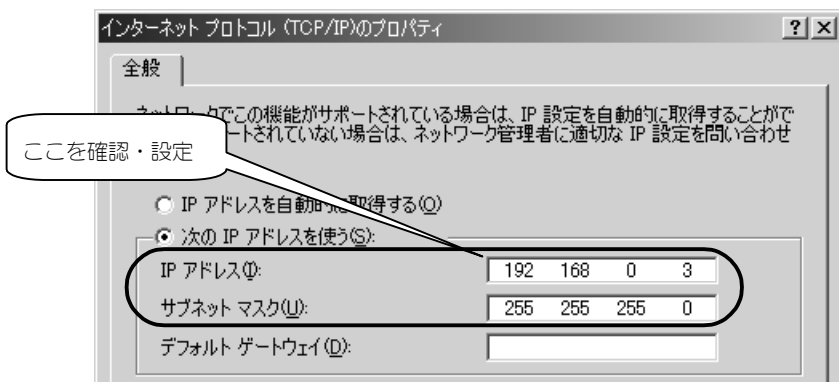
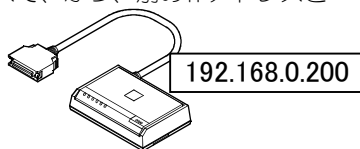
Windows 2000 で IP アドレスを設定する

1 Administrator権限でWindows 2000にログオンします。

2 [マイ ネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

3 [ローカル エリア接続]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

4 ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。

上記の表示以外に［NetBEUI プロトコル］など他のクライアントやプロトコルおよびサービスなどが表示されていても問題ありません。

5 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、設定用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

（LAN-iCNのIPアドレスは出荷時「192.168.0.200」です。）

「IP アドレスを自動的に取得する」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス（「172. xxx. xxx. xxx」など）に設定している場合

本製品と同じ IP アドレス（「192. 168. 0. 200」）に設定している場合

パソコンの IP アドレスを一時的に、**「192.168.0.201」など**の同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに変更し［OK］ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを一度、再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

確認・設定後、【ステップ3】(62 ページ)へお進みください。

Windows Me/98/95 で IP アドレスを設定する

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］内の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

2 ［TCP/IP］をダブルクリックします。

※アダプタが複数ある場合は、［TCP/IPー>xxxxxxxx］をダブルクリックします。（xxxxxxxxはLANアダプタのデバイス名の名称です。）

参考

上記の表示以外に［NetBEUI］など他のクライアントやプロトコルおよびサービスなどが表示されていても問題ありません。

3 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

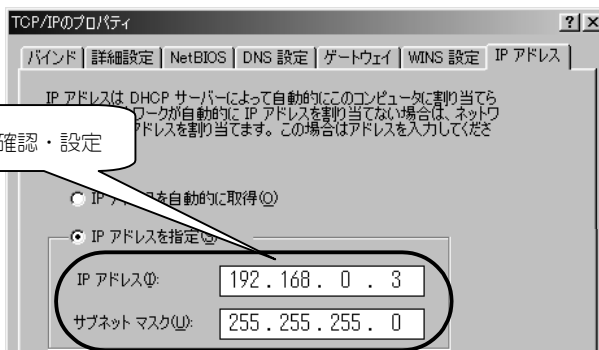
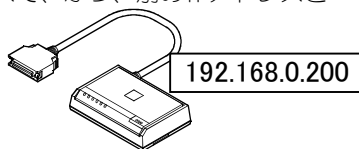
設定用パソコンで本製品を設定するには、設定用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

（LAN-iCNのIPアドレスは出荷時「192.168.0.200」です。）

192.168.0.200

Windows 98 での表示例

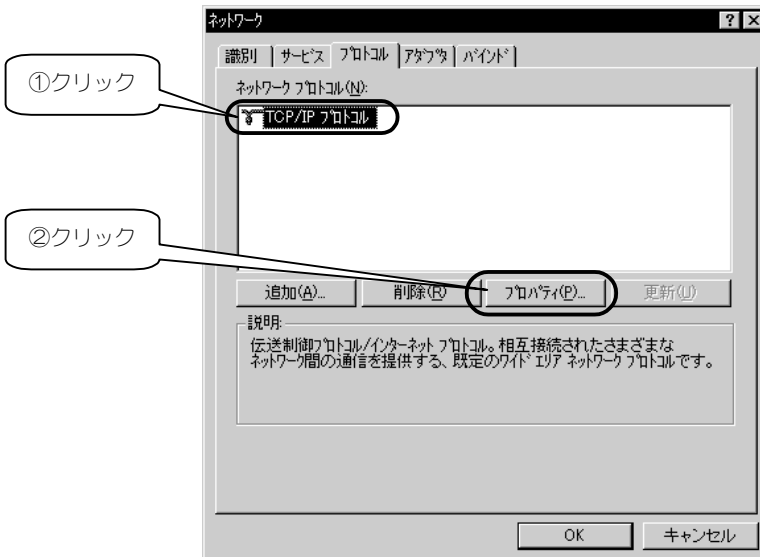
パソコンの IP アドレスを一時的に、**「192.168.0.201」など**の同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに変更し［OK］ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを一度、再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

確認・設定後、【ステップ3】(62 ページ)へお進みください。

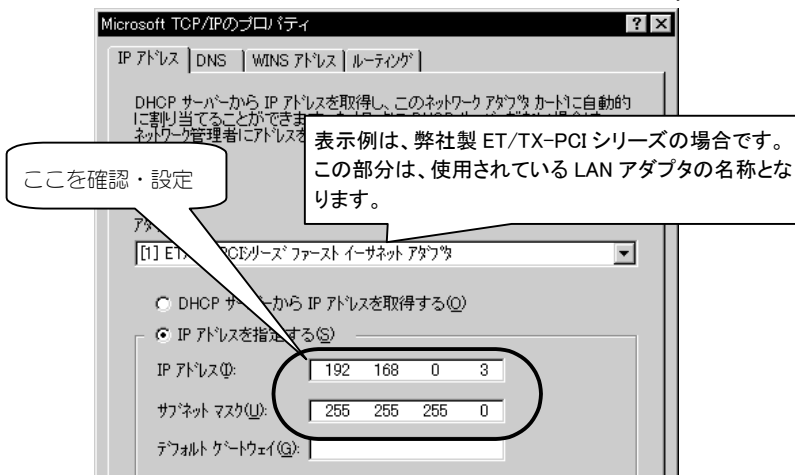
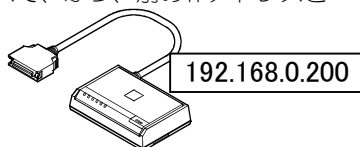
Windows NT 4.0 で IP アドレスを設定する

1 Administrator権限でWindows NT 4.0にログオンします。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

3 [TCP/IP プロトコル]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

4　設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、設定用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

**（LAN-iCNのIPアドレスは
出荷時「192.168.0.200」です。）**

「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」
に設定している場合

別のクラスの IP アドレス
（「172. xxx. xxx. xxx」など）
に設定している場合

本製品と同じ IP アドレス
（「192. 168. 0. 200」）
に設定している場合

→ パソコンの IP アドレスを一時的に、**「192.168.0.201」など**の同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに変更し、[OK] ボタンをクリック後、すべての画面を閉じてパソコンを一度、再起動してください。

※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

確認・設定後、【ステップ3】(62 ページ)へお進みください。

Mac OS（Classic）で IP アドレスを設定する

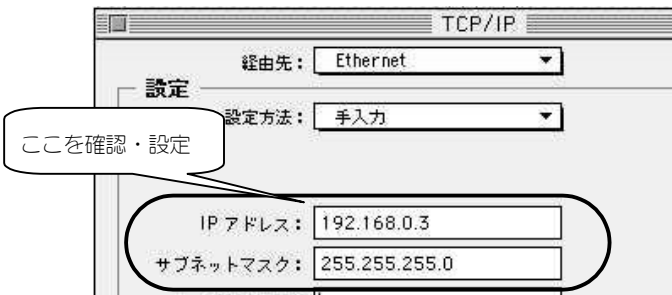
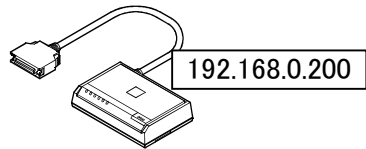
1 ［アップルメニュー］→［コントロールパネル］内の［TCP/IP］をクリックします。

2 設定用パソコンのIPアドレスを確認・設定します。

設定用パソコンで本製品を設定するには、設定用パソコンのIPアドレスが本製品のIPアドレスと同じクラスで、かつ、別のIPアドレスとなっている必要があります。

（LAN-iCNのIPアドレスは出荷時「192.168.0.200」です。）

192.168.0.200

TCP/IP
経由先： Ethernet
設定
設定方法： 手入力
ここを確認・設定
IP アドレス： 192.168.0.3
サブネットマスク： 255.255.255.0

「DHCP サーバを参照」に設定している場合

別のクラスの IP アドレス（「172. xxx. xxx. xxx」など）に設定している場合

本製品と同じ IP アドレス（「192. 168. 0. 200」）に設定している場合

→

一時的に、［設定方法：］を［手入力］に設定し、パソコンの IP アドレスを**「192.168.0.201」など**の同じクラスで、かつ、別の IP アドレスに変更し、すべての画面を閉じてパソコンを一度再起動してください。

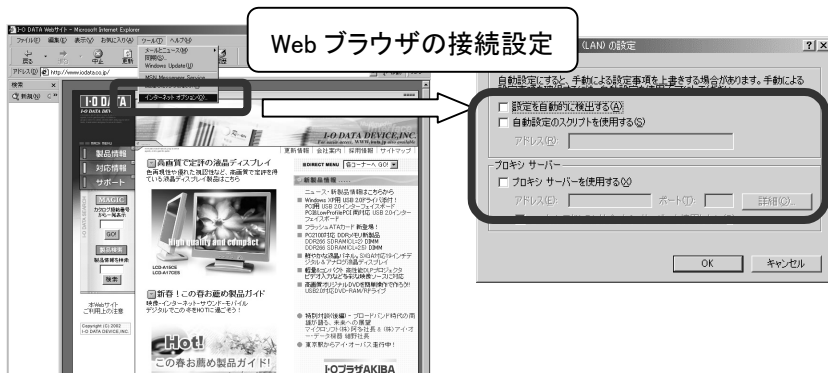
※パソコンのこの設定は、一時的な設定です。本製品のすべての設定が終了した後に、ご利用環境に合わせて再度設定し直してください。

【ステップ3】（次ページ）へお進みください。

ステップ3

設定前の準備④
Webブラウザを設定する

本製品を設定するには、Webブラウザの接続設定をしておく必要があります。下記２点に注意し設定してください。

①LANを使用してインターネットに接続する。
②プロキシサーバーを設定する。

【必要なソフトウェア】(23ページ)の項を参照して、Internet Explorerの必要なバージョンをご確認ください。なお、本製品にWebブラウザは添付しておりません。
Webブラウザがない、あるいはWebブラウザのバージョンが古い場合は、正常に設定できませんので、必ず必要なバージョン以降をご用意ください。

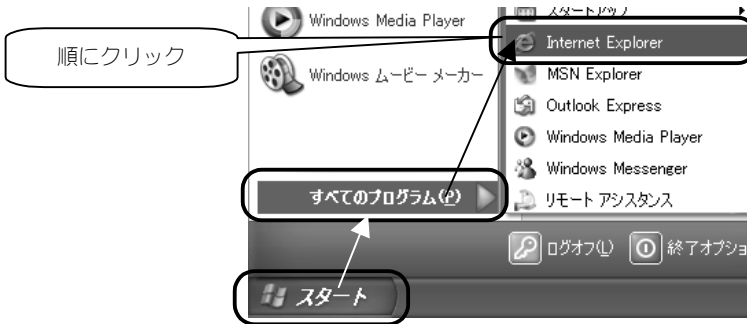
・ ***Windowsをお使いの場合*** → 次ページを参照してください。
・ ***Mac OSをお使いの場合*** → 67ページを参照してください。

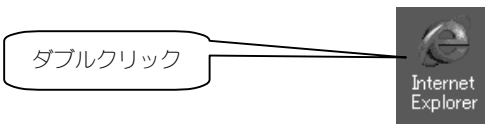
Windows での Web ブラウザの設定

プロバイダによっては、プロキシについての設定を指示している場合があります。まず、プロバイダから入手した資料をご用意ください。

1 [Internet Explorer]画面を表示させます。

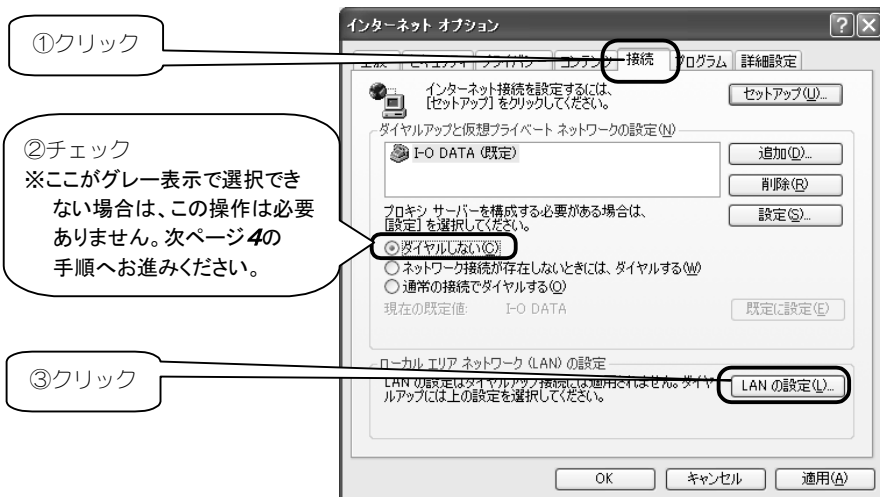
・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Internet Explorer]（または[インターネット Internet Explorer]）をクリックします。

・Windows 2000、Windows Me/98/95、Windows NT 4.0の場合

デスクトップ画面上の[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックします。

この時点でインターネットに接続されていない場合は、「ページを表示できません」など正常に画面が表示されませんが、ここでは Internet Explorer 自体の設定を行うため、この時点で正常に画面が表示されていなくても問題ありません。

2 [Internet Explorer]画面の
[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリックします。

※本手順以降、画面は[Internet Explorer 6.0]を例にしています。

3 [接続]タブをクリックし、
[ダイヤルしない]をチェックします。続けて、[LANの設定]ボタンをクリックします。

4 プロバイダからの資料を参照し、[プロキシ]に関する設定の指示がないか確認し、以下の設定を行います。

・プロバイダから[プロキシ]に関する設定の指示がない場合

・プロバイダから[プロキシ]に関する設定の指示がある場合

①チェックを外す

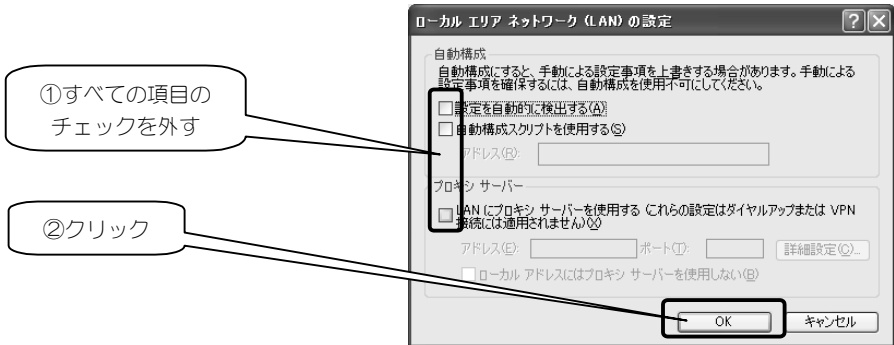
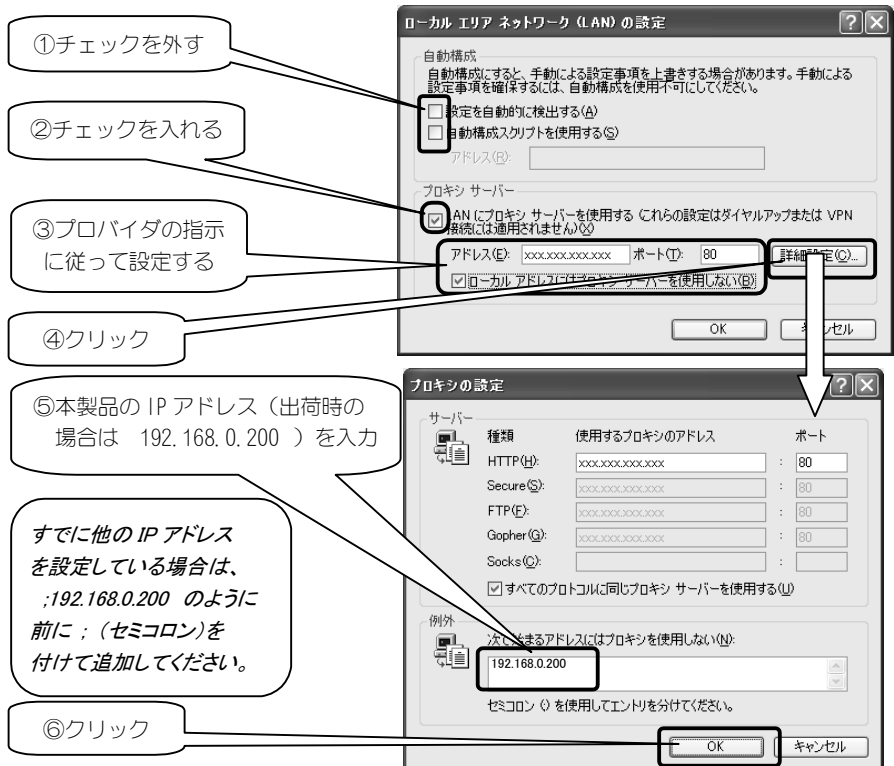
②チェックを入れる

③プロバイダの指示に従って設定する

④クリック

⑤本製品の IP アドレス（出荷時の場合は 192.168.0.200 ）を入力

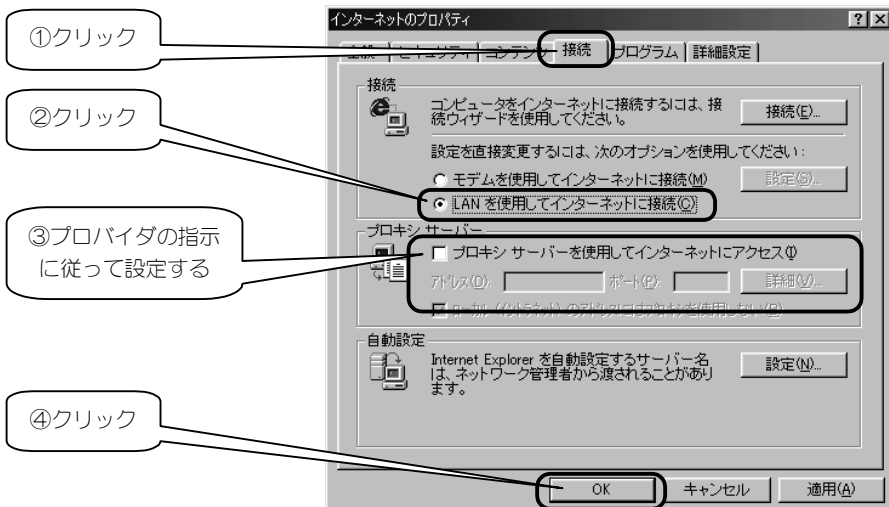
すでに他の IP アドレスを設定している場合は、 ;192.168.0.200 のように前に ;（セミコロン）を付けて追加してください。

⑥クリック

5 ［ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。

6 ［インターネット オプション］（または［インターネットのオプション］）画面へ戻りますので、［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。

設定後、【ステップ4】(69 ページ)へお進みください。

Internet Explorer のバージョンによっては、*4*の手順の時に以下の画面となる場合があります。
その場合は、［接続］タブで［LAN を使用してインターネットに接続］をチェックします。
その後、以下の手順を行います。

- **プロバイダからプロキシに関する設定の指示がない場合**
  ［プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス］のチェックを外し、［OK］ボタンをクリックします。
- **プロバイダからプロキシに関する設定の指示がある場合**
  ［プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス］をチェックし、［アドレス］と［ポート］を入力後、［詳細］ボタンをクリックします。
  ［プロキシの設定］画面での設定は、前ページを参照してください。
  設定後、［OK］ボタンをクリックします。

Mac OS での Web ブラウザの設定

1 Internet Explorerを起動します。

2 [編集]→[初期設定...]を選択します。

3 [▽ネットワーク]の[プロキシ]を選択します。

4 プロバイダからの資料を参照し、[プロキシ]に関する設定の指示がないか確認し、以下の設定を行います。

●プロバイダから[プロキシ]に関する設定の指示がない場合

●プロバイダから［プロキシ］に関する設定の指示がある場合

設定後、【ステップ4】(次ページ)へお進みください。

ステップ 4

設定①
ハードディスクをフォーマットする

設定用パソコンの設定が終了したら、次にハードディスクをフォーマットします。フォーマットは、Web ブラウザから行います。

ハードディスクを使用するには、最初に一度ハードディスクを LAN-iCN に接続後、LAN-iCN 用にフォーマットする必要があります。フォーマットすると以前のデータはすべて消去されます。
ハードディスクに重要なデータがある場合は、必ず別のディスクなどにバックアップしてから LAN-iCN に接続してください。
また、LAN-iCN で使用していたハードディスクをパソコンでご利用になる場合、パソコンに接続した後、パソコンで使用できるフォーマットにフォーマットし直す必要があります。

ハードディスクをフォーマットする

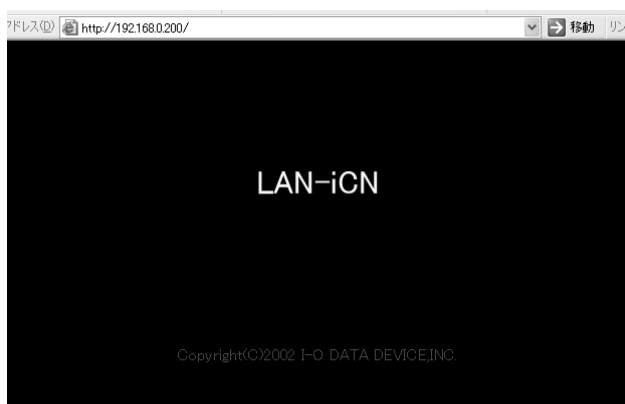
1. ハードディスク、LAN-iCNの電源が入っていて起動が完了していることを確認します。

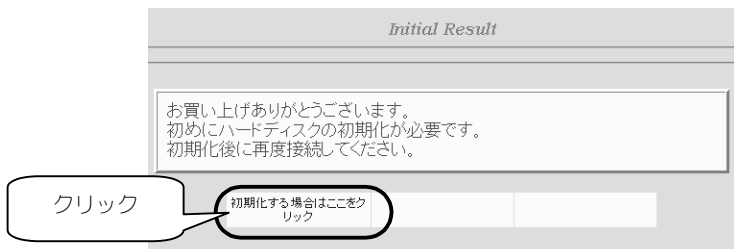
2. パソコンの電源を入れます。

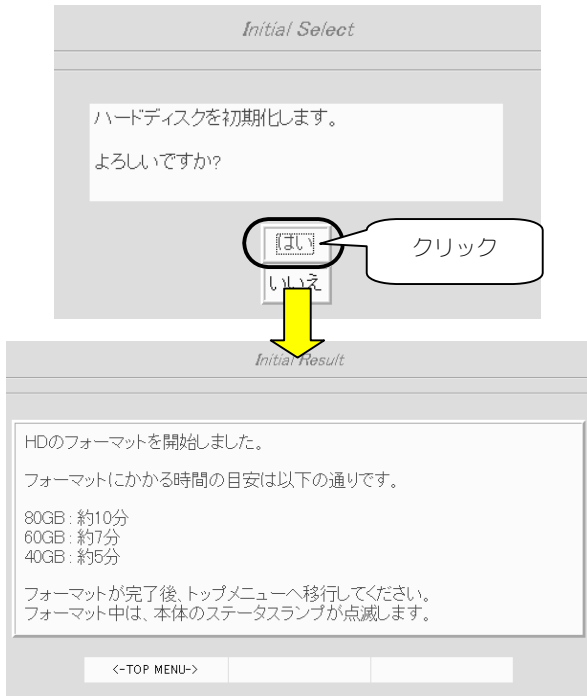
3. Webブラウザを起動して以下のIPアドレスを開きます。
「http://192.168.0.200/」

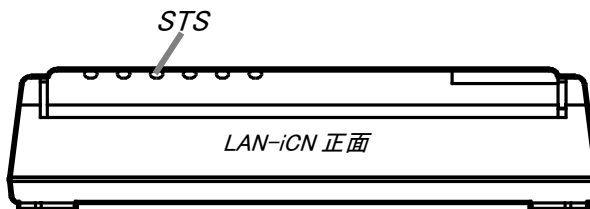
注意！

- Web ブラウザがない、あるいは Web ブラウザのバージョンが古い場合は、正常にフォーマットや設定ができませんので、必ず必要なバージョン以降をご用意ください。（【必要なソフトウェア】（23 ページ）参照）
- 手順*3* の IP アドレスは、本製品内部にある設定画面を呼び出す IP アドレスです。LAN 経由で本製品が接続されていれば呼び出せます。（インターネットに接続されている必要はありません。）

4 以下の画面が数秒間表示されます。
しばらくお待ちください。

5 しばらくすると以下の画面が表示されます。
※この画面は、はじめてハードディスクを使用する場合のみ表示されます。
ハードディスクのフォーマット後には表示されません。

「初期化する場合はここをクリック」の文字をクリックします。

6 以下の画面が表示されますので、[はい]をクリックします。

初期化(フォーマット)が開始されます。

7 フォーマットには、120Gバイトの場合15分程度※かかります。フォーマット中は、本製品上面の[STS]ランプが点滅したままとなります。ブラウザは閉じた状態で、[STS]ランプが消灯するまでお待ちください。

※フォーマット時間は、ハードディスクの容量により異なります。
次ページの参考をご覧ください。

［フォーマット時間の目安］

- 160G バイトのハードディスクの場合　→　約 20 分
- 120G バイトのハードディスクの場合　→　約 15 分
- 80G バイトのハードディスクの場合　→　約 10 分
- 60G バイトのハードディスクの場合　→　約 7 分
- 40G バイトのハードディスクの場合　→　約 5 分

［STS］以外のランプの状態

ランプ	色	ランプの状態
PWR	青	点灯
ERR	橙	点灯 ※フォーマット後に消灯します。
LNK/ACT	緑	点灯または点滅
100/10	緑	10BASE-T ネットワークに接続時は、消灯 100BASE-TX ネットワークに接続時は、点灯 ネットワークに接続されていない場合は、消灯
FD/COL	緑	全 2 重で接続時、点灯 半 2 重で接続時、消灯 ネットワークに接続されていない場合は、消灯

［STS］ランプ、［ERR］ランプが消灯すれば、フォーマット終了です。画面下の[TOP　MENU]をクリックして、TOP　MENU画面へ移動します。

フォーマット終了後、次ページ【LAN-iCNのネットワーク設定をする】へお進みください。

ステップ 5

設定②
LAN-iCN のネットワーク設定をする

ハードディスクのフォーマットが終了したら、次に LAN-iCN の IP アドレスの設定などのネットワーク設定を行います。ご使用のネットワークに応じて設定する必要があります。ネットワーク設定終了後、ハードディスクを使用できるようになります。

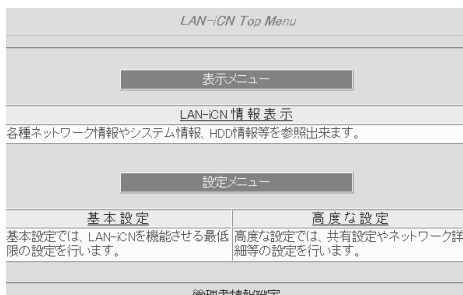
・設定する内容

①LAN-iCN の IP アドレスの設定

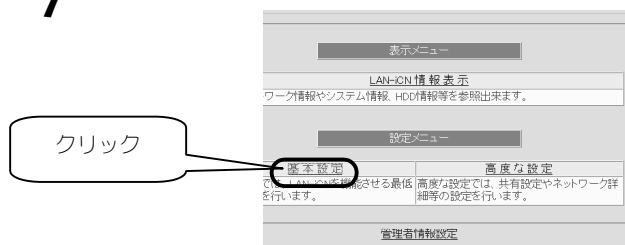
②LAN-iCN のワークグループ名の設定

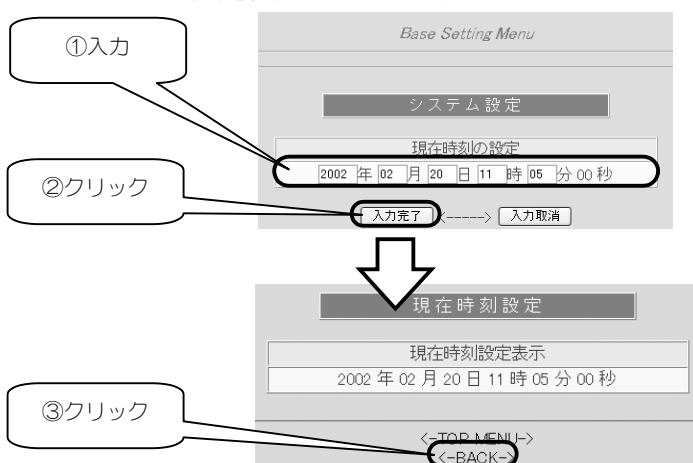
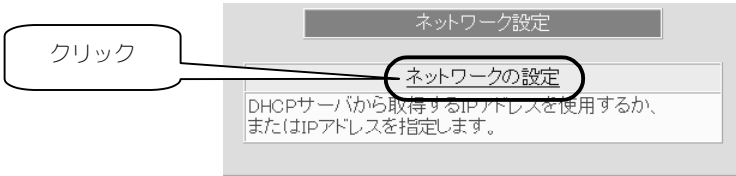
本製品を使用するには、IP アドレス、DHCP などのネットワークの知識が必要です。お分かりにならない場合は、【付録2　TCP/IP の基礎知識】(174 ページ)をご覧ください。

1 Webブラウザを起動して以下のIPアドレスを再度開きます。
「http://192.168.0.200/」

2 以下の設定画面が表示されます。この画面から各種設定を行います。それでは、順に設定しましょう。

LAN-iCN のネットワークを設定する

LAN-iCNのIPアドレスを設定します。
IPアドレスの値は、ネットワーク上で使用するお使いのパソコンのIPアドレスと同じクラスで、かつネットワーク上で使用していないIPアドレスに設定します。
（ネットワーク上のDHCPサーバがある場合は、DHCPサーバから取得する設定にすることもできます。）

1 設定画面の[基本設定]をクリックします。

2 時刻の設定を行います。

①[現在時刻の設定]で現在の時刻を入力します。
②[入力完了]をクリックします。
③設定した時刻の確認画面が表示されますので、設定した時刻を確認し、<-BACK->をクリックしてください。
※出荷時には時刻設定はされていません。電池を取り付けた後は、必ず時刻を設定してください。

3 次にネットワークの設定を行います。
[ネットワークの設定]をクリックします。

4 LAN-iCNのIPアドレスを設定します。
設定後、[入力完了]をクリックすれば設定できます。

・*ネットワーク上にDHCPサーバがない場合　→次ページ参照*

以下を設定します。
- ・[LAN-iCNの名前]
- ・[ワークグループ]
- ・[IPアドレスを指定する]のチェック
- ・[IPアドレス]
- ・[サブネットマスク]

・*ネットワーク上にDHCPサーバがある場合　→　79ページ参照*

以下を設定します。
- ・[LAN-iCNの名前]
- ・[ワークグループ]
- ・[DHCPクライアントに設定する]のチェック

※入力は、入力個所をクリックしてから行います。

以上ですべての設定は終了です。

・個別に IP アドレスを設定する場合

1 以下の設定をします。

入力個所をクリックしてから入力します。

LAN-iCN の名前	ネットワーク上([マイネットワーク]あるいは[ネットワークコンピュータ]など)に表示される LAN-iCN の名称です。 ハードディスクに共有フォルダを作成した場合、この名前の下に表示されます。
ワークグループ	″ワークグループ″はパソコンの“ワークグループ名”と一致しなければなりません。(パソコンのワークグループ名の確認方法は、次ページ参照) ワークグループの名前が一致していない場合にもLAN-iCN に接続したハードディスクにアクセスすることは可能ですが、ネットワークを参照した場合には表示されません。
IP アドレス	初期値:192.168.0.200 ネットワークに適した IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	初期値:255.255.255.0 パソコンやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを使用します。

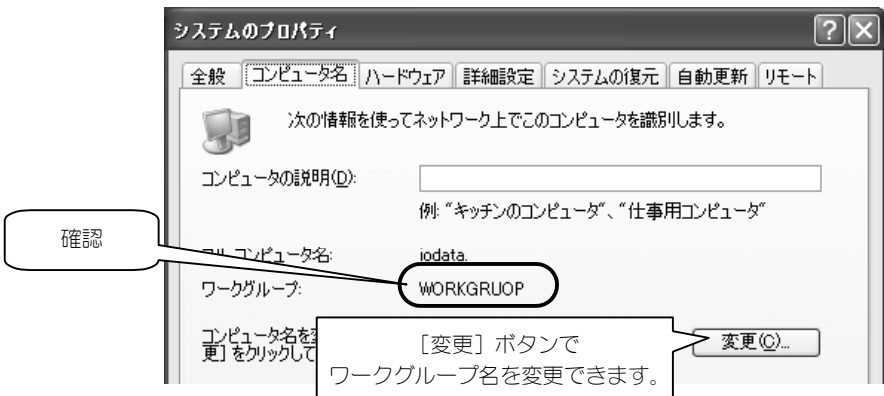
2　以下の手順にしたがいます。

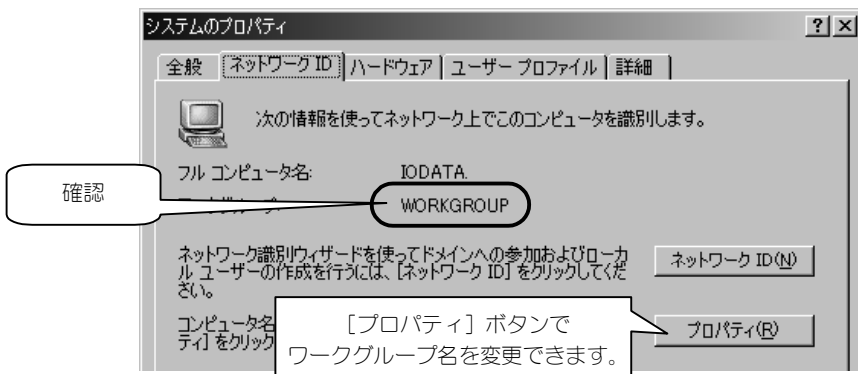
①設定後、[入力完了]をクリックします。
②設定した IP アドレスの確認画面が表示されますので、[設定] ボタンをクリックします。→「ネットワーク設定が変更されました」という画面が表示されます。

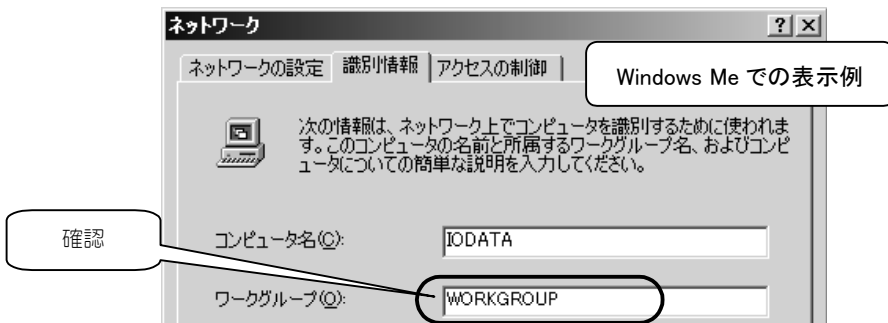
③設定した IP アドレスを確認後、Web ブラウザを終了します。
④本製品へ設定した新しいIPアドレスをWebブラウザから指定して設定を続行してください。

●パソコンのワークグループ名の確認方法

・*Windows XP の場合*

1. ［スタート］をクリック後、［マイ コンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。
2. ［システムのプロパティ］画面で［コンピュータ名］タブをクリックすれば確認できます。

・*Windows 2000 の場合*

1. ［マイ　コンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。
2. ［システムのプロパティ］画面で［ネットワーク ID］タブをクリックすれば確認できます。

・*Windows Me/98/95 および Windows NT 4.0 の場合*

1. ［マイ　ネットワーク］（または［ネットワークコンピュータ］）を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。
2. ［ネットワーク］画面で、［識別情報］（または［識別］や［ユーザー情報］）タブをクリックすれば確認できます。

・DHCP クライアントで動作させる場合

以下を設定します。設定後、[入力完了]をクリックすれば設定完了です。
※入力は、入力個所をクリックしてから行います。

LAN-iCN の名前	ネットワーク上([マイネットワーク]あるいは[ネットワークコンピュータ]など)に表示される LAN-iCN の名称です。 ハードディスクに共有フォルダを作成した場合、この名前の下に表示されます。
ワークグループ	″ワークグループ″はパソコンの“ワークグループ名”と一致しなければなりません。(パソコンのワークグループ名の確認方法は、67 ページ参照) ワークグループの名前が一致していない場合にも LAN-iCN に接続したハードディスクにアクセスすることは可能ですが、ネットワークを参照した場合には表示されません。
DHCP クライアントに設定する	LAN-iCN を DHCP クライアントとして設定します。 ※ネットワーク内に DHCP サーバが必要です。 DHCP サーバからの IP アドレスの取得に失敗した場合は、IP アドレスは出荷時の値「192.168.0.200」に戻ります。

LAN-iCN を出荷時設定に戻す場合

次のような場合、設定を出荷時設定（初期設定）に戻してください。
・DHCP設定でIPアドレスなどがわからなくなった場合
・管理者の情報（[ユーザ名][パスワード]など）がわからなくなった場合

・LAN-iCN の初期化方法

LAN-iCN の初期化には 2 通りの方法があります。

方法1：ネットワーク設定のみを出荷時設定に初期化する

初期化される項目は下記のとおりです。

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバアドレス、WINS サーバアドレス

方法2：本製品の各設定を出荷時設定に初期化する

初期化される項目は下記のとおりです。

全ての装置設定（ネットワーク設定や管理者パスワードやユーザ、グループ設定など）

共有を初期化するには、ハードディスクのフォーマット（高度な設定）を選択します。

共有を初期化しない場合は、ハードディスクからリカバリするを選択します。

共有を初期化する場合などは、事前にハードディスク内のデータをバックアップしてください。
方法2で初期化した場合、ハードディスク内の設定を戻すか、ハードディスクのフォーマットを行う必要があります。（LAN-iCN とハードディスク内の設定が異なるため）

・初期化の手順

初期化処理中は、LAN-iCN の電源を切らないでください。

1 [POWER]スイッチを押して、LAN-iCN の電源を入れます。

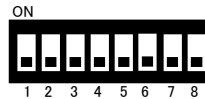
[PWR]ランプが点滅→点灯になることを確認します。

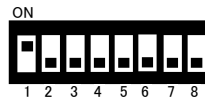
2 LAN-iCNをゆっくりと裏返します。

電源ケーブルなどが外れないようにご注意ください。

3 前ページの初期化方法を選び、必要に応じてディップスイッチを設定します。

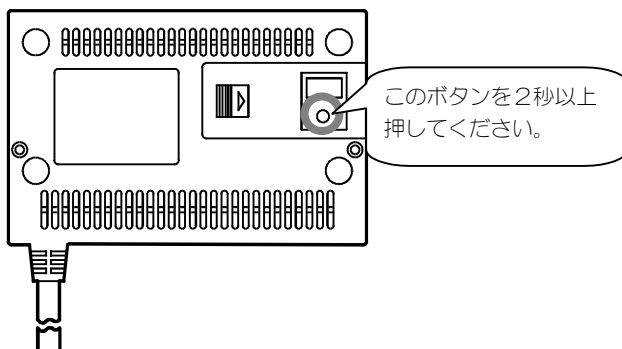
・[方法1]を行う場合:

ディップスイッチの”1”のところを OFF(出荷時設定)にしてください。

・[方法2]を行う場合:

ディップスイッチの”1”のところを ONにしてください。

※ディップスイッチの出荷時設定はすべてOFFです。

※ディップスイッチの２～８は使用しません。

4 [RESET]ボタンを先の細いもので約 2 秒以上押します。

→[STS]ランプが点滅したら離してください。

5 しばらくすると[STS]ランプが点滅→消灯になります。
これで初期化終了です。

IP アドレスなどが初期値となりますので、再度 LAN-iCN のすべての設定をやり直してください。

使ってみよう

この章では本製品を各OSで使用する場合の設定について説明します。

1. Windows XP で使う

LAN-iCN へアクセスする

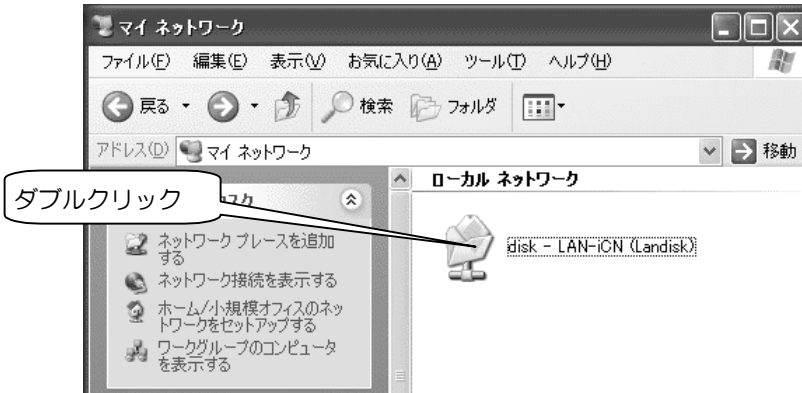
ネットワークストレージへは以下の方法でアクセスします。

1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

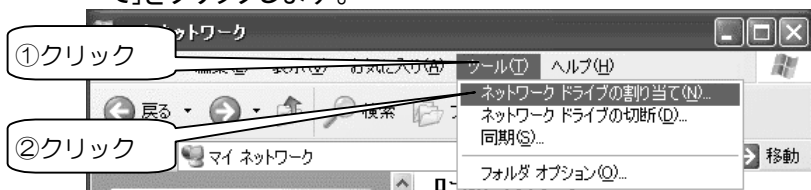
2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

3 [マイネットワーク]をクリックします。

4 **[ローカルエリアネットワーク]の[disk – LAN-iCN(Landisk)]をダブルクリックします。**

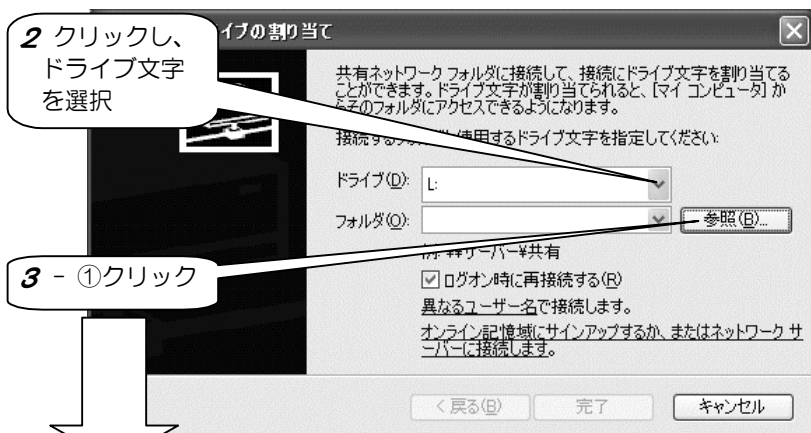
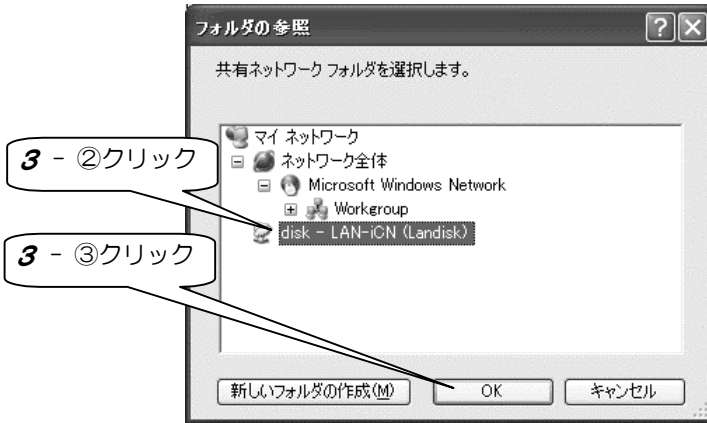
→ネットワークストレージとして使用可能なフォルダが開きます。
このウィンドウ内にファイルをコピーするとネットワークストレージにファイルが保存されます。

便利な使い方：ネットワークドライブの割り当て

ネットワークストレージのフォルダをドライブとして割り当てることにより、マイコンピュータやエクスプローラから、より簡単にアクセスできます。

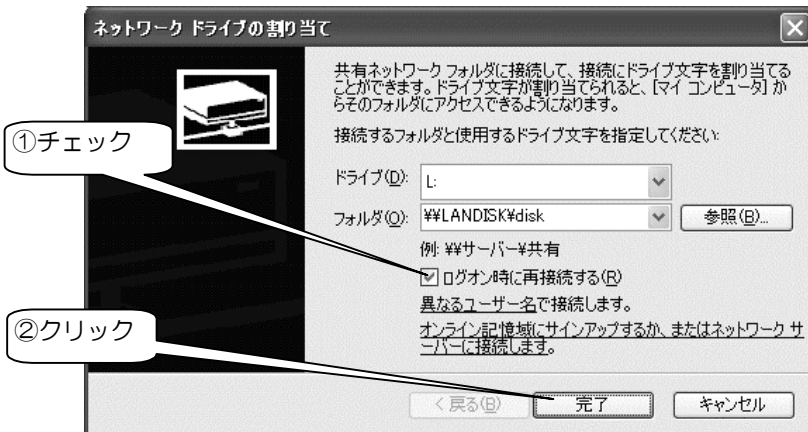
1 [マイネットワーク]で、[ツール]→[ネットワークドライブの割り当て]をクリックします。

2 [ドライブ]を選びます。

ネットワークドライブとして割り当てたいドライブ文字を選びます。

3 [フォルダ]を指定します。

ネットワークストレージのフォルダを指定します。
①[参照]ボタンをクリックします。
②[disk – LAN-iCN (Landisk)]をクリックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

次ページへ

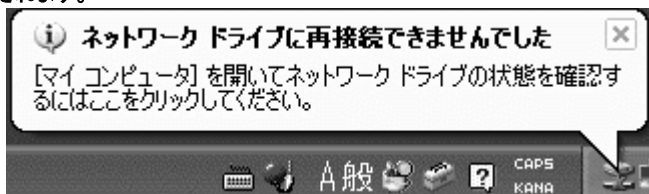
4 **[ログオン時に再接続する]にチェックを付け、[完了]ボタンをクリックします。**

→ドライブの割り当てが完了すると、割り当てられたドライブのウィンドウが表示されます。

5 [マイコンピュータ]に割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。

ネットワークドライブは、通常のディスクと同様にアクセスできます。

ネットワーク ドライブ

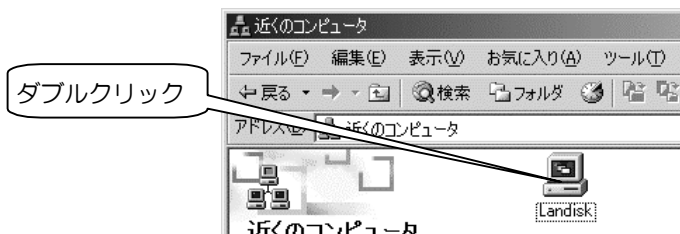
'LAN-iCN (Landisk)' の disk (L:)

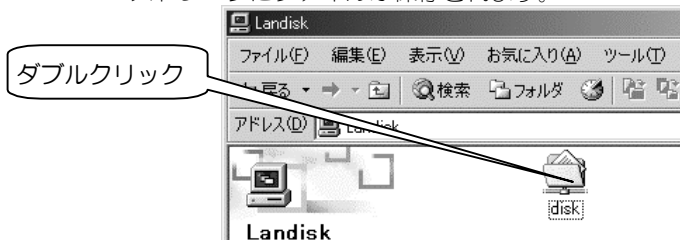
手順4で[ログオン時に再接続する]へチェックを入れることにより、次回パソコン起動時にも、ネットワークストレージがドライブとして登録されます。
ネットワークに接続していない場合は、パソコン起動時に以下のエラーメッセージが表示されます。

2. Windows 2000 で使う

LAN-iCN へアクセスする

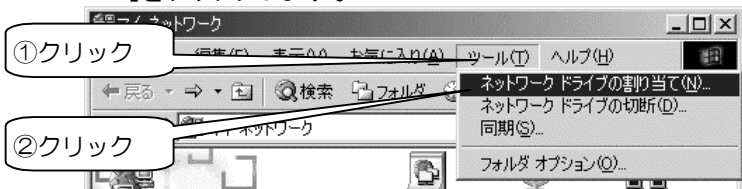
ネットワークストレージへは以下の方法でアクセスします。

1 [マイネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[近くのコンピュータ]をダブルクリックします。

2 [Landisk]をダブルクリックします。

3 [disk]をダブルクリックします。

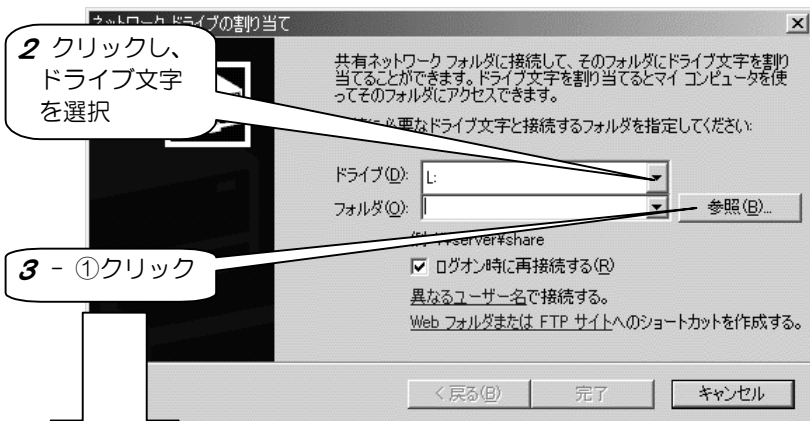
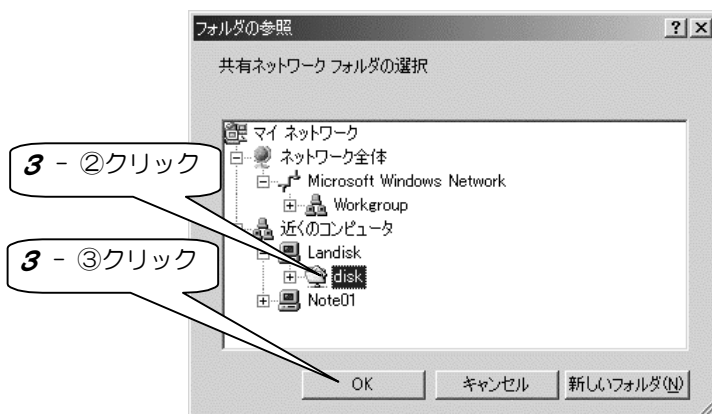
→ネットワークストレージとして使用可能なフォルダのウィンドウが開きます。このウィンドウ内にファイルをコピーするとネットワークストレージにファイルが保存されます。

便利な使い方：ネットワークドライブの割り当て

ネットワークストレージのフォルダをドライブとして割り当てることにより、マイコンピュータやエクスプローラから、より簡単にアクセスできます。

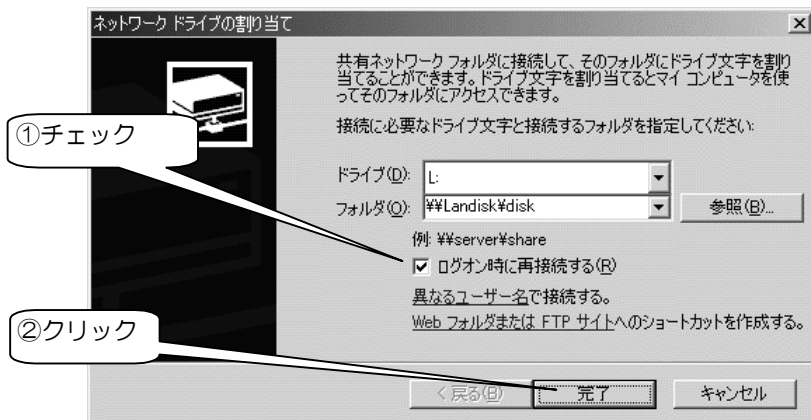
1 [マイネットワーク]で、[ツール]→[ネットワークドライブの割り当て]をクリックします。

2 [ドライブ]を設定します。

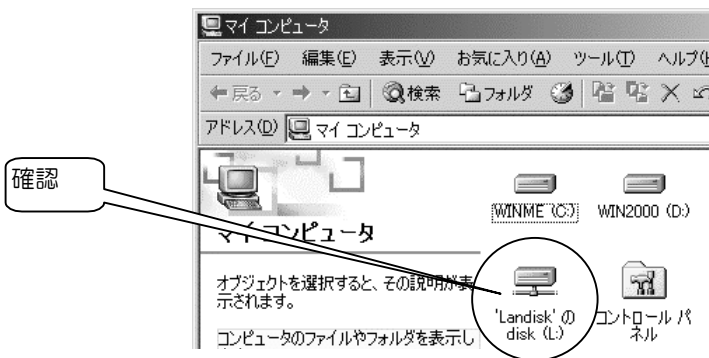
ネットワークドライブとして割り当てたいドライブ文字を選びます。

3 [フォルダ]を設定します。

ネットワークストレージのフォルダを指定します。
①[参照]ボタンをクリックします。
②[disk]をクリックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

次ページへ

4 [ログオン時に再接続する]にチェックを付け、[完了]ボタンをクリックします。

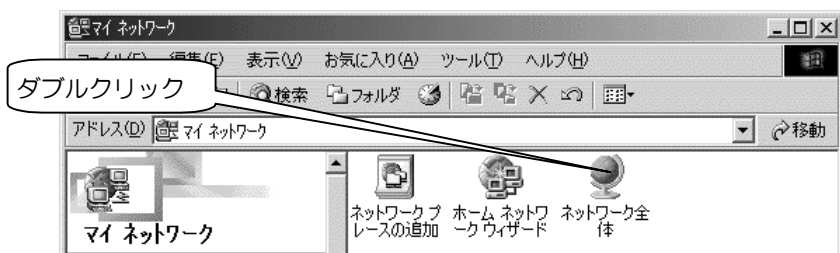
→ドライブの割り当てが完了すると、割り当てられたドライブのウィンドウが表示されます。

5 [マイコンピュータ]に割り当てられたドライブが認識されていることを確認します。

ネットワークドライブは、通常のディスクと同様にアクセスできます。

手順4で[ログオン時に再接続する]へチェックを入れることにより、次回パソコン起動時にも、ネットワークストレージがドライブとして登録されます。
ネットワークに接続していない場合は、パソコン起動時に以下のエラーメッセージが表示されます。

3. Windows Me で使う

LAN-iCN へアクセスする

ネットワークストレージへは以下の方法でアクセスします。

1 [マイネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[ネットワーク全体]をダブルクリックします。

参考

[マイネットワーク]へアクセスした際、ネットワークストレージのネットワークプレースが自動的に追加されている場合があります。

2 LAN-iCNに設定しているワークグループ名（初期値はWORKGROUP）のアイコンをダブルクリックします。

3 [Landisk]というコンピュータをダブルクリックします。

複数のコンピュータが表示されている場合があります。

4 [disk]をダブルクリックします。

→ネットワークストレージとして使用可能なフォルダのウィンドウが開きます。このウィンドウ内にファイルをコピーするとネットワークストレージにファイルが保存されます。

便利な使い方:ネットワークドライブの割り当て

ネットワークストレージのフォルダをドライブとして割り当てることにより、マイコンピュータやエクスプローラから、より簡単にアクセスできます。

1 [マイネットワーク]で、[ツール]→[ネットワークドライブの割り当て]をクリックします。

2 [ネットワークドライブの割り当て]を設定します。

①ドライブ→ネットワークドライブとして割り当てたいドライブ文字を選びます。

②パス→ネットワークストレージのフォルダを入力します。
初期状態で共有可能なフォルダは[¥¥LANDISK¥DISK]です。

③[ログオン時に再接続]をチェックします。

④[OK]ボタンをクリックします。

3 [マイコンピュータ]に割り当てられたドライブが認識されていることを確認します。

ネットワークドライブは、通常のディスクと同様にアクセスできます。

手順 2で[ログオン時に再接続]へチェックを入れることにより、次回パソコン起動時にも、ネットワークストレージがドライブとして登録されます。
ネットワークに接続していない場合は、パソコン起動時に以下のエラーメッセージが表示されます。

4. Windows 98/95 で使う

LAN-iCN へアクセスする

ネットワークストレージへは以下の方法でアクセスします。
（画面はWindows 98のものです。）

1 **[ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、[Landisk]というコンピュータをダブルクリックします。**

複数のコンピュータが表示されている場合があります。

2 **[disk]をダブルクリックします。**

→ネットワークストレージとして使用可能なフォルダのウィンドウが開きます。このウィンドウ内にファイルをコピーするとネットワークストレージにファイルが保存されます。

便利な使い方:ネットワークドライブの割り当て

ネットワークストレージのフォルダをドライブとして割り当てることにより、マイコンピュータやエクスプローラから、より簡単にアクセスできます。

1 [ネットワークコンピュータ]アイコンを右クリックし、[ネットワークドライブの割り当て]をクリックします。

2 [ネットワークドライブの割り当て]を設定します。

①ドライブ→ネットワークドライブとして割り当てたいドライブ文字を選びます。

②パス→ネットワークストレージのフォルダを入力します。
初期状態で共有可能なフォルダは[¥¥LANDISK¥DISK]です。

③[ログオン時に再接続]をチェックします。

④[OK]ボタンをクリックします。

3 [マイコンピュータ]に割り当てられたドライブが認識されていることを確認します。

ネットワークドライブは、通常のディスクと同様にアクセスできます。

手順2で[ログオン時に再接続]へチェックを入れることにより、次回パソコン起動時にも、ネットワークストレージがドライブとして登録されます。
ネットワークに接続していない場合は、パソコン起動時に以下のエラーメッセージが表示されます。

5. Windows NT 4.0 で使う

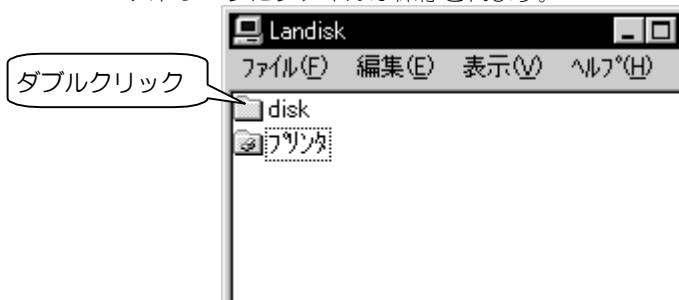
LAN-iCN へアクセスする

ネットワークストレージへは以下の方法でアクセスします。

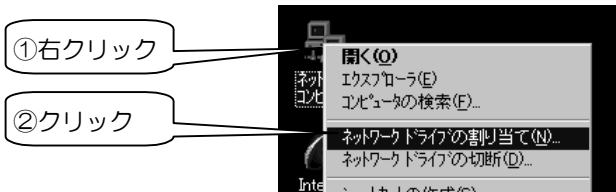
1 **[ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、[Landisk]というコンピュータをダブルクリックします。**

複数のコンピュータが表示されている場合があります。

2 **[disk]をダブルクリックします。**

→ネットワークストレージとして使用可能なフォルダのウィンドウが開きます。このウィンドウ内にファイルをコピーするとネットワークストレージにファイルが保存されます。

便利な使い方:ネットワークドライブの割り当て

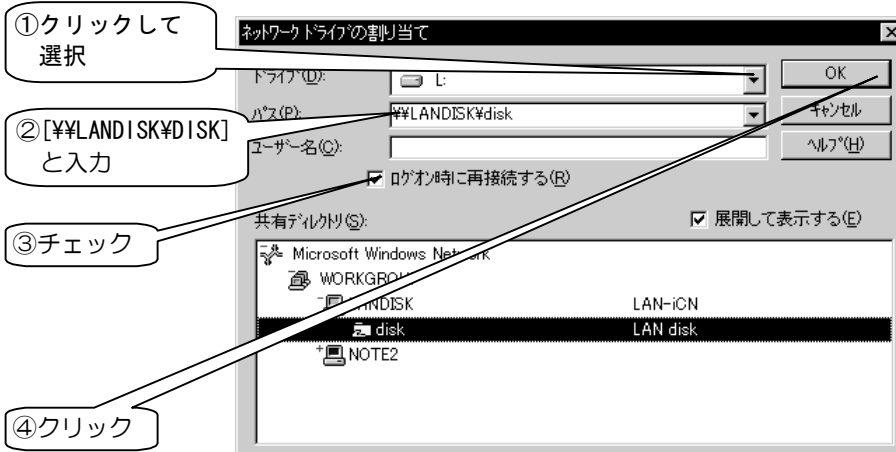
ネットワークストレージのフォルダをドライブとして割り当てることにより、マイコンピュータやエクスプローラから、より簡単にアクセスできます。

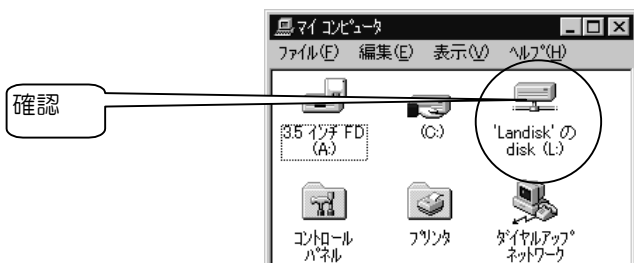
1 [ネットワークコンピュータ]アイコンを右クリックし、[ネットワークドライブの割り当て]をクリックします。

2 [ネットワークドライブの割り当て]を設定します。

①ドライブ→ネットワークドライブとして割り当てたいドライブ文字を選びます。

②パス→ネットワークストレージのフォルダを入力します。
初期状態で共有可能なフォルダは[¥¥LANDISK¥DISK]です。

③[ログオン時に再接続する]をチェックします。

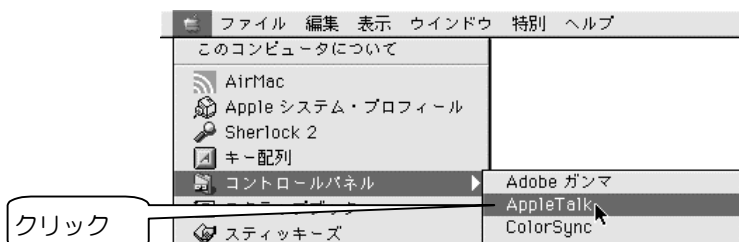
④[OK]ボタンをクリックします。

3 [マイコンピュータ]に割り当てられたドライブが認識されていることを確認します。

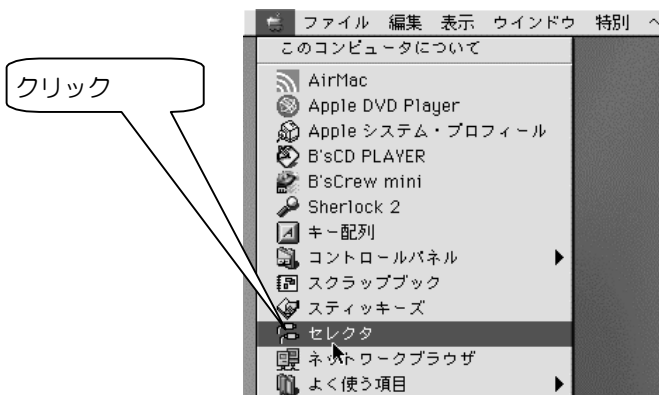
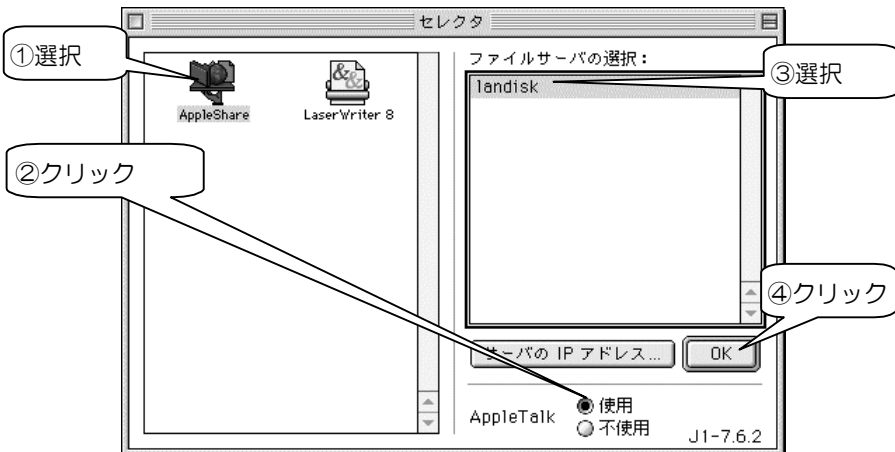
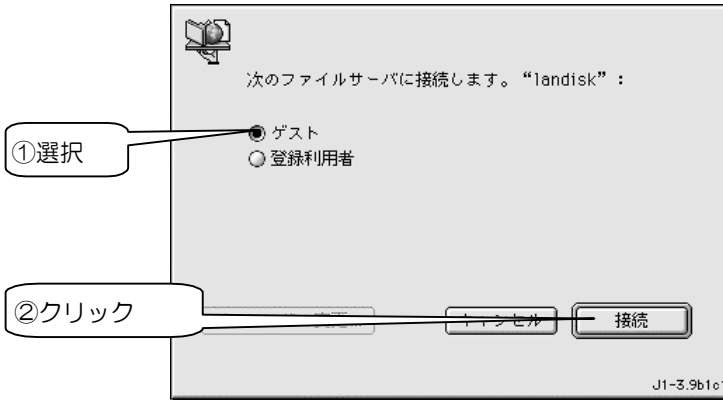
ネットワークドライブは、通常のディスクと同様にアクセスできます。

手順 *2* で[ログオン時に再接続する]へチェックを入れることにより、次回パソコン起動時にも、ネットワークストレージがドライブとして登録されます。
ネットワークに接続していない場合は、パソコン起動時に以下のエラーメッセージが表示されます。

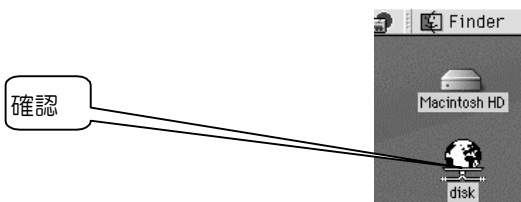
6. Mac OS 7.6～9.2.2 で使う

ネットワークストレージへは以下の方法でアクセスします。

※画面はMac OS 9.2.2での例です。

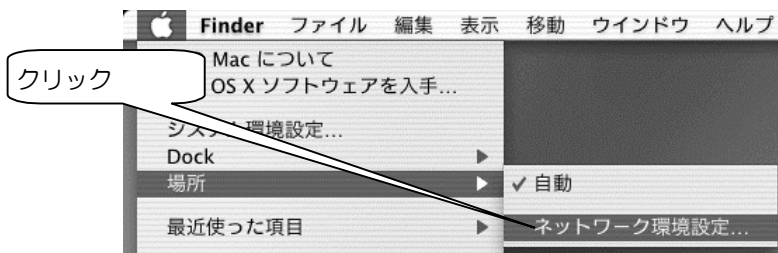
1 [コントロールパネル]→[AppleTalk]をクリックしします。

2 [経由先]から使用しているLANアダプタを選択し、画面を閉じます。

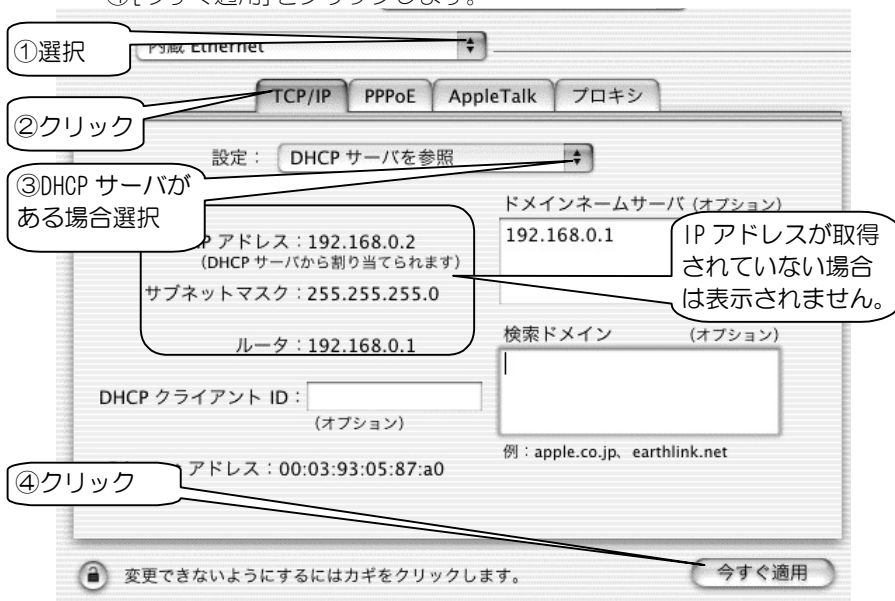
3 [セレクタ]をクリックしします。

4 [AppleShare]を選択し、AppleTalkの[使用]をチェックします。
[ファイルサーバの選択]に[landisk]が表示されますので、選択後、[OK]ボタンをクリックします。

5 [ゲスト]を選択し、[接続]ボタンをクリックします。

6 [disk]にチェックをつけ、[OK]ボタンをクリックします。

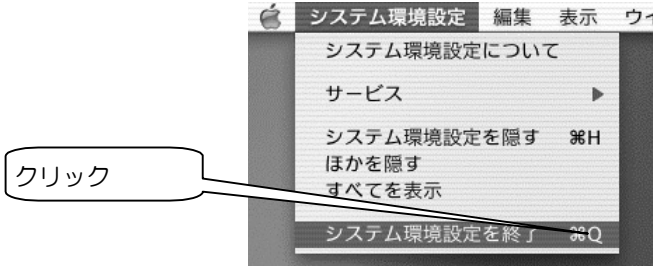
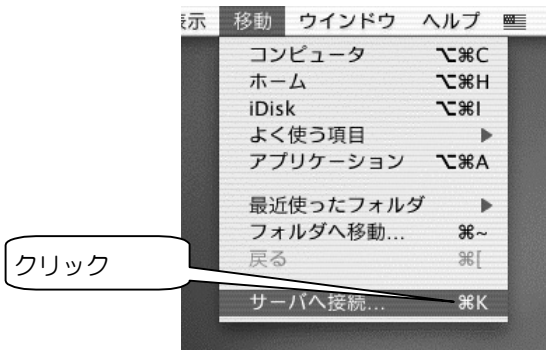
7 [disk]が追加されたことを確認してください。

7. Mac OS X で使う

ネットワークストレージへは以下の方法でアクセスします。

※画面はMac OS X 10.1での例です。

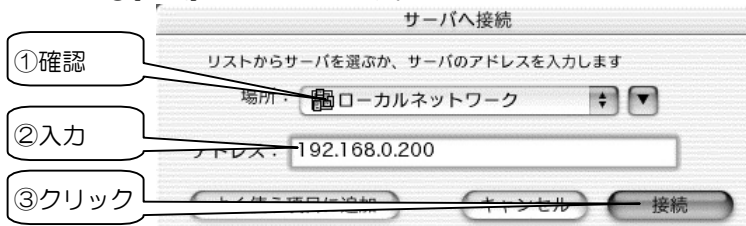
1 [場所]→[ネットワーク環境設定]をクリックしします。

2 ネットワーク環境設定をします。

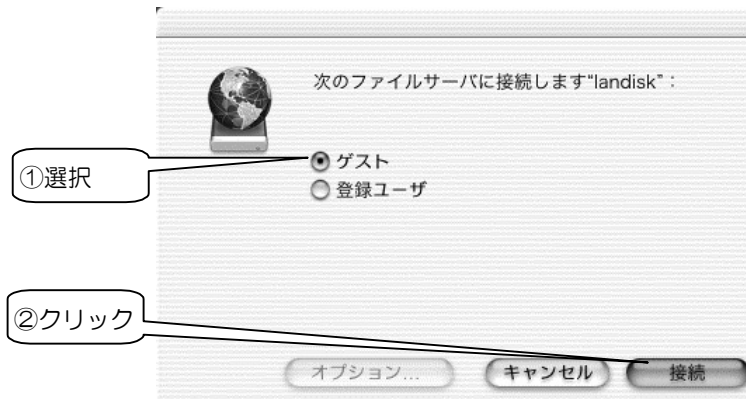
①[表示]で[内蔵Ethernet]または[Ethernet]を選びます。
②[TCP/IP]をクリックします。
③[設定]でDHCPサーバがある場合は、[DHCPサーバを参照]を選びます。
④[今すぐ適用]をクリックします。

3 [システム環境設定]→[システム環境設定を終了]をクリックします。

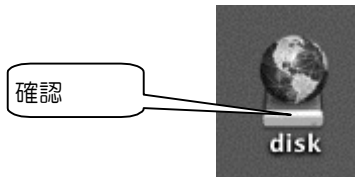
ネットワークの設定を終了します。

4 [移動]メニュー→[サーバへ接続]をクリックします。

5 各項目を設定します。

①[場所]が[ローカルネットワーク]であることを確認します。

②[アドレス]に[192.168.0.200]を入力します。

③[接続]をクリックします。

[場所]には過去に接続したことのあるサーバが表示されます。2 回目以降の接続の際は、リストから選択することができます。

6 [ゲスト]を選択し、[接続]をクリックします。

7 マウントするボリュームとして、[disk]が選択されていることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。

8 デスクトップ上にネットワークストレージの共有フォルダがマウントされていることをご確認ください。

活用する

～ LAN-iCN のその他の使い方 ～

ここでは、Web設定画面の詳細について説明します。必要に応じてお読みください。設定画面は、Webブラウザから起動します。起動方法は、73ページをご覧ください。

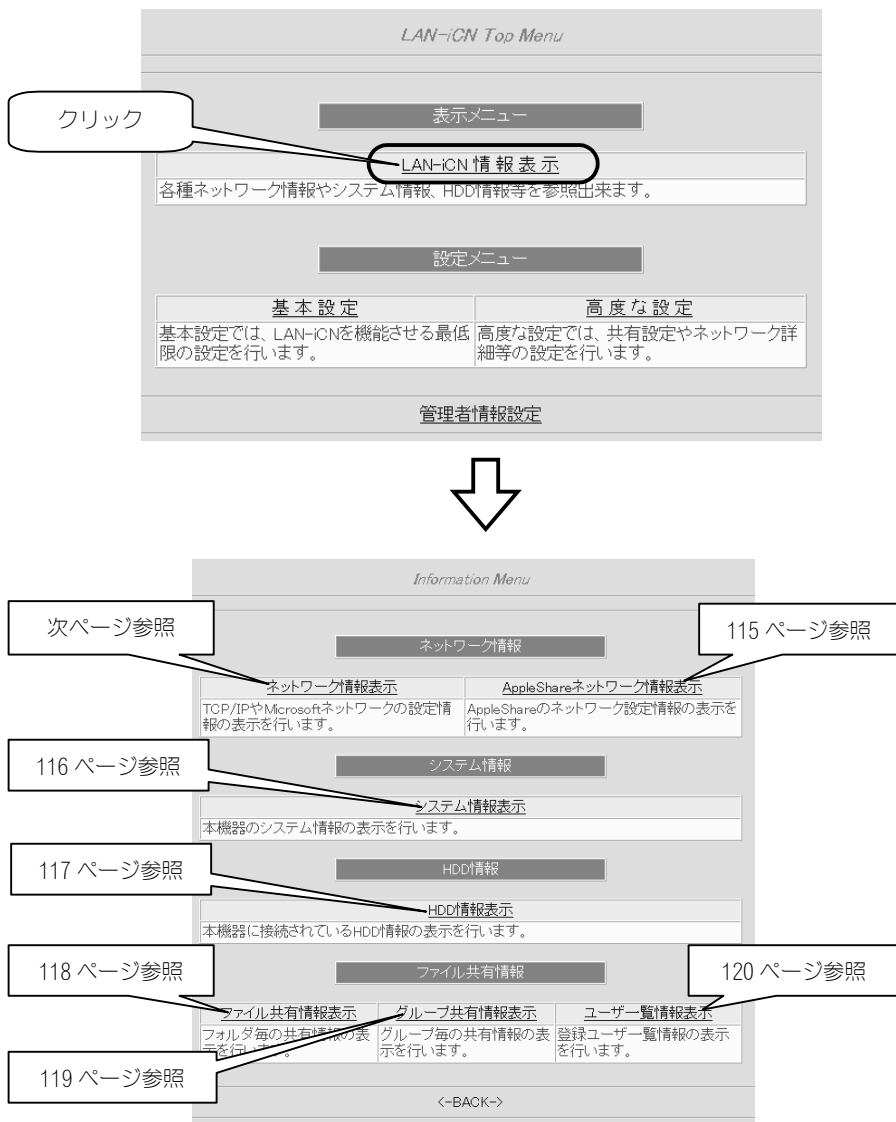
▼トップメニュー画面

注意！

各項目には、使用文字の制限があります。下記の文字はそれぞれの項目に対して使用できません。

項目名	使用できない文字
コンピュータ名	￥ ／ ～ ＄ ： ， ’ ； ＊ ？ ” ＜ ＞ ｜ ｀ ［ ］ ＝ ＋ ． 空白
ワークグループ	￥ ／ ～ ＄ ： ， ’ ； ＊ ？ ” ＜ ＞ ｜ ｀ ［ ］ ＝ ＋ ．
コンピュータの説明	￥ ： ” ｜ ’ ［ ］ ～ ＄
ドメイン名	￥ ／ ～ ＄ ： ， ’ ； ＊ ？ ” ＜ ＞ ｜ ｀ ［ ］ ＝ ＋ 空白
ゾーン名	￥ ／ ～ ＄ ： ， ’ ； ？ ” ＜ ＞ ｜ ｀ ［ ］ ＝ ＋ ．
共有名	￥ ／ ～ ＄ ： ， ； ＊ ？ ” ＜ ＞ ｜ ［ ］ ＝ ＋ ． ％ （ ） 空白
コメント	￥ ～ ＄ ： ， ” ｜ ’
グループ名	￥ ～ ＄ ／ ： ， ’ ； ＊ ？ ” ＜ ＞ ｜ ｀ ［ ］ ＝ ＋ ． ＠ （ ）
ユーザ名	￥ ～ ＄ ／ ： ， ’ ； ＊ ？ ” ＜ ＞ ｜ ｀ ［ ］ ＝ ＋ ． （ ）
パスワード	￥ ： ， ； ＊ ＜ ＞ ｜ ’ ［ ］ ＝ ＋ ． ｀ （ ） ～ ＄

LAN-iCN 情報表示

LAN-iCNの現在設定されている内容を表示します。
設定画面の［LAN-iCN情報表示］をクリックして行います。

[ネットワーク情報表示]

設定画面の[LAN-iCN情報表示]→[ネットワーク情報表示]をクリックすれば
ネットワークの設定を確認できます。

・Microsoftネットワーク設定

コンピュータ名	初期値:LANDISK 現在、LAN-iCN に設定している名前を表示します。
ワークグループ名	初期値:WORKGROUP 現在、LAN-iCN に設定しているワークグループ名を表示します。
コンピュータの説明	初期値:LAN-iCN 現在、LAN-iCN に設定しているコンピュータの説明を表示します。 ※Windows のネットワークのプロパティ中にある「コンピュータ名の説明」と同様に、[マイネットワーク]や[ネットワークコンピュータ]を詳細表示させた際のコメント欄に表示される文字列となります。
WINS サーバアドレス	初期値:空白 現在、LAN-iCN に設定している WINS サーバアドレスを表示します。

・TCP/IP設定

DHCP クライアント	初期値：off 現在、LAN-iCN に設定している DHCP クライアント設定を表示します。 off：DHCP クライアント設定されていません。 on：DHCP クライアント設定されています。 ※DHCP サーバからの IP アドレスの取得に失敗した場合は、IP アドレスは出荷時の値「192.168.0.200」に戻りますが、ここには、「on」と表示されます。また、[ERR]ランプは点灯します。
IP アドレス	初期値：192.168.0.200 現在、LAN-iCN に設定している IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	初期値：255.255.255.0 現在、LAN-iCN に設定しているサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	初期値：空白 現在、LAN-iCN に設定しているデフォルトゲートウェイを表示します。
ホスト名	初期値：landisk 現在、LAN-iCN に設定しているホスト名を表示します。 ホスト名はコンピュータ名と同一となります。
ドメイン名	初期値：空白 現在、LAN-iCN に設定しているドメイン名を表示します。 ※ドメインサーバ管理はできません。
DNS サーバアドレス	初期値：空白 現在、LAN-iCN に設定している DNS サーバアドレスを表示します。

［AppleTalk ネットワーク情報表示］

設定画面の［LAN-iCN情報表示］→［AppleTalkネットワーク情報表示］をクリックすれば、AppleTalk（Macintosh用）のネットワークのゾーン設定を確認できます。

ゾーン名	初期値:空白 現在、LAN-iCN に設定しているゾーン名を表示します。

[システム情報表示]

設定画面の［LAN-iCN情報表示］→［システム情報表示］をクリックすれば、LAN-iCNのシステムに関する情報を確認できます。

System Information

システム設定情報

現在時刻	2002 年 02 月 20 日 11 時 02 分 40 秒
管理者情報(ユーザ名)	admin
次回電源ON時のチェックディスク	チェックしない
「基本設定」画面表示選択	表示する
システムバージョン	1.00
MACアドレス	00a0b0ff0068

<-TOP MENU->
<-BACK->

項目	説明
現在時刻	LAN-iCN に設定されている時刻を表示します。
管理者情報（ユーザ名）	現在、LAN-iCN に設定されている LAN-iCN の管理用ユーザ名です。
次回電源 ON 時のチェックディスク	初期値：チェックしない LAN-iCN の次回電源 ON 時のハードディスクにチェックディスクを行うかの設定を表示します。
「基本設定」画面表示選択	初期値：表示する 「基本設定」画面の表示・非表示状態の表示です。
システムバージョン	LAN-iCN のシステムのバージョンです。
MAC アドレス	LAN-iCN の MAC アドレスです。

[HDD 情報表示]

設定画面の［LAN-iCN情報表示］→［HDD情報表示］をクリックすれば、
LAN-iCNに接続したハードディスクに関する情報を確認できます。

HDD Information

HDD情報

HDDドライブ名	SAMSUNG SV8004H
HDDサイズ(byte)	80,060,424,192
ディスク全容量(byte)	78,799,405,056
ディスク使用領域(byte)	135,168
ディスク空き容量(byte)	74,796,441,600

<-TOP MENU->
<-BACK->

HDD ドライブ名	ハードディスクのドライブ名を表示します。
HDD サイズ（byte）	ハードディスクの使用できない領域を含めた全容量を示します。
ディスク全容量（byte）	ハードディスクの使用可能な全容量を示します。
ディスク使用領域（byte）	すでに使用している容量を示します。
ディスク空き容量（byte）	ハードディスクの空き容量を表示します。

※[ディスク使用領域]と[ディスク空き容量]の合計は、[ディスク全容量]とは一致しません。これは、[ディスク使用領域]とは別に、本製品がシステム用領域を確保しているためです。

[ファイル共有情報表示]

設定画面の[LAN-iCN情報表示]→[ファイル共有情報表示]をクリックすれば、フォルダ毎の共有情報を確認できます。

フォルダ選択	確認したいフォルダの選択欄です。 [選択完了]クリック後、共有情報が確認できます。 初期状態では、「disk」のみが登録されています。

[グループ共有情報表示]

設定画面の［LAN-iCN情報表示］→［グループ共有情報表示］をクリックすれば、グループ毎のメンバー情報を確認できます。

グループ選択	確認したいグループの選択欄です。 [選択完了]クリック後、メンバー情報が確認できます。 初期状態では、グループ登録されていません。グループ登録を行うと、以下のような表示になります。

▼「soumu」と「jinji」というグループを登録した例

[ユーザ一覧情報表示]

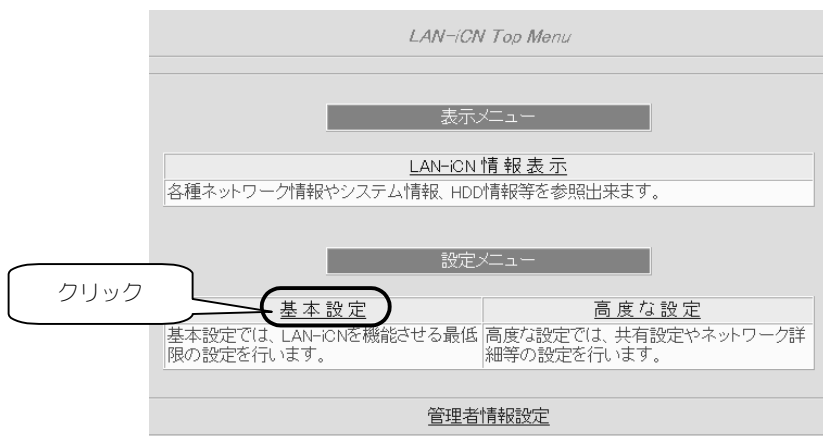
設定画面の［LAN-iCN情報表示］→［ユーザ一覧情報表示］をクリックすれば、登録ユーザー覧情報を確認できます。

登録ユーザー覧	現在登録されているユーザを表示します。 初期状態では、ユーザは登録されていません。ユーザ登録を行うと、以下のような表示になります。

▼ユーザを登録した例

基本設定

LAN-iCNの基本設定を行います。

詳細は、【LAN-iCNのネットワーク設定をする】（74ページ）を参照してください。

高度な設定

高度な設定ではこんなことができます。

・システム設定

現在時刻設定、システム設定、ハードディスクフォーマット、ファームウェアのアップデートができます。

・ネットワーク設定

Microsoftネットワーク（コンピュータ名やワークグループの設定など）、TCP/IPネットワーク（IPアドレスやデフォルトゲートウェイの設定など）ができます。

・AppleShareネットワーク設定

ゾーン設定ができます。

・共有設定

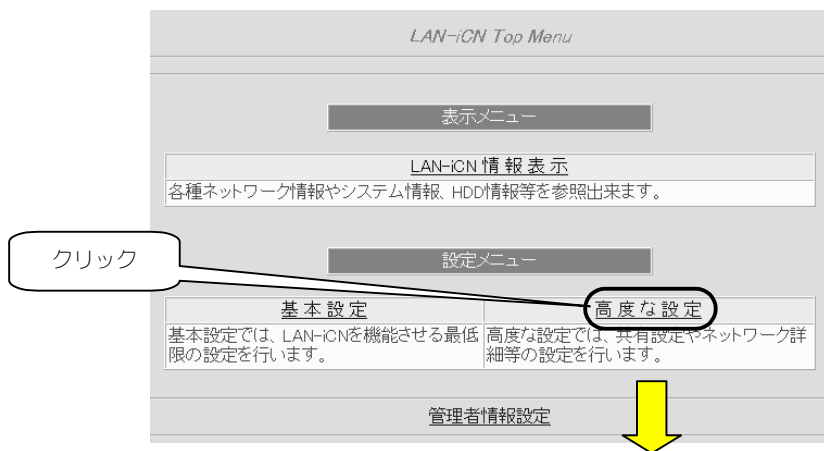
共有するフォルダの作成や削除などができます。

・グループの登録

共有に使用するグループの作成や削除などができます。

・ユーザの登録

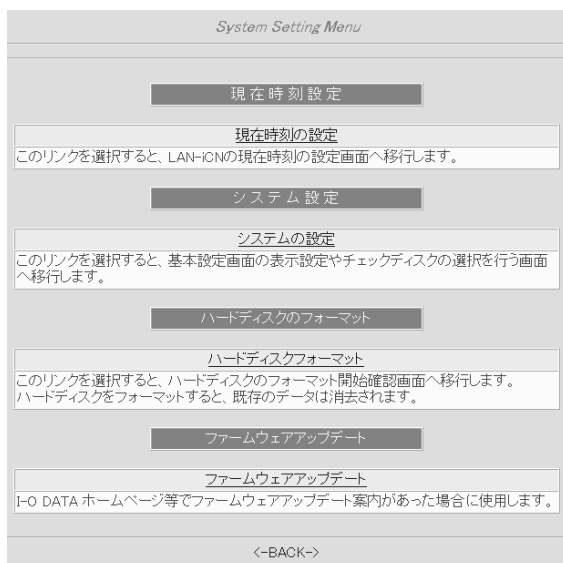
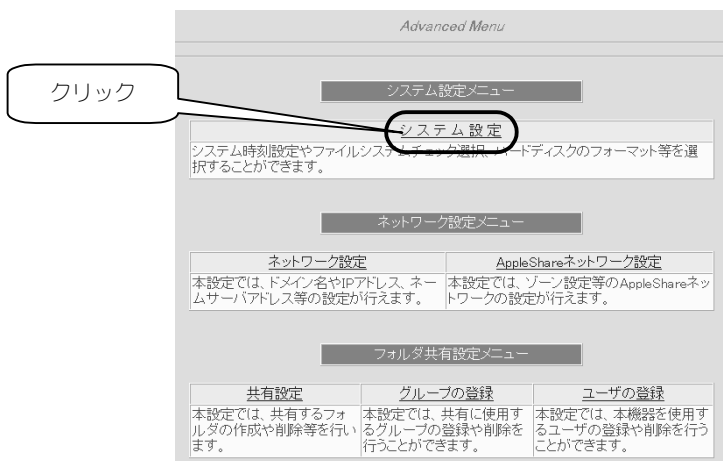
使用するユーザの登録や削除、パスワード変更などができます。

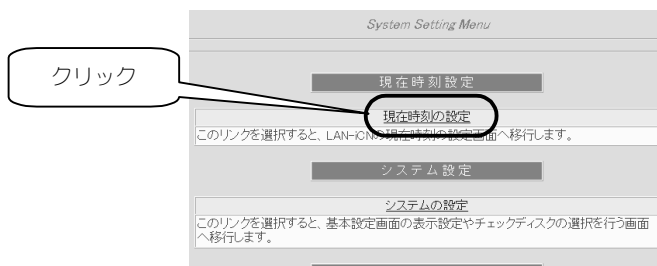
［高度な設定］をクリック後、［ユーザ名］［パスワード］入力画面が表示されます。

以下を入力後、［入力完了］ボタンをクリックすれば、［高度な設定］画面で各種設定を行うことができます。

ユーザ名	admin　　※すべて半角小文字
パスワード	空欄　　※入力する必要はありません。

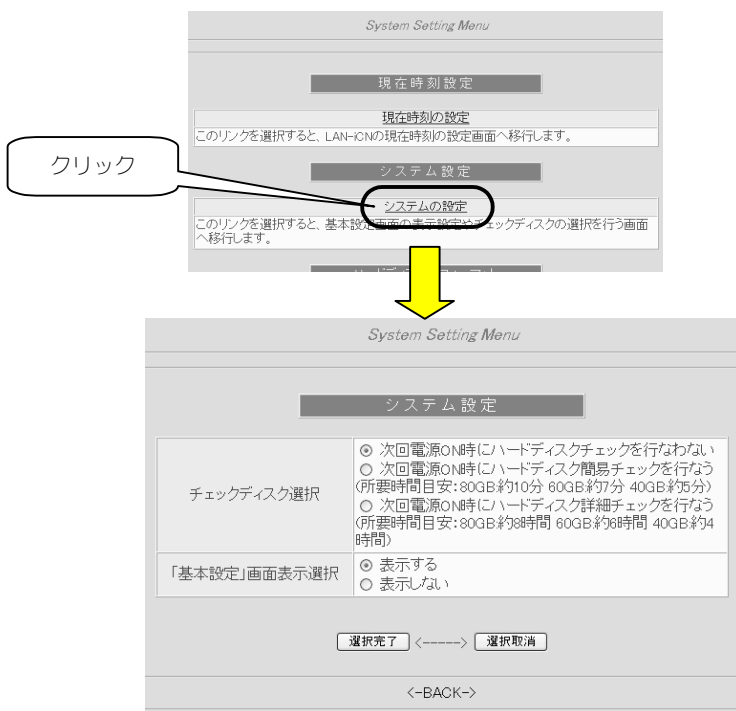
※上記の［ユーザ名］［パスワード］の変更は、トップメニュー画面の［管理者情報設定］で行うことができます。

[システム設定]→[現在時刻の設定]

［高度な設定］画面の［システム設定］をクリックすればLAN-iCNのシステムに関する設定ができます。

[システム設定]→[現在時刻の設定]

［高度な設定］画面の［システム設定］→［現在時刻の設定］をクリックすれば LAN-iCNの時刻を設定できます。

現在時刻の設定	LAN-iCN に時刻を設定できます。 時刻に誤差が生じた場合、正しい時刻に設定し直してください。（時刻設定は、[基本設定]でも実行できます。）

[システム設定]→[システムの設定]

［高度な設定］画面の［システム設定］→［システムの設定］をクリックすればLAN-iCNに接続したハードディスクのチェックに関する設定、および［基本設定］画面の表示・非表示の設定ができます。

上の画面で[表示しない]を選択した場合は、下の画面が表示されます。

チェックディスクの選択	初期値：チェックを行わない LAN−iCN の次回電源 ON 時、ハードディスクにチェックディスクをチェックする／しないを設定します。 チェックディスクは、LAN−iCN の電源 ON 後、起動中に行います。 ・ *簡易チェック* ファイルシステムのチェックと自動修復を行います。異常のない場合は、早く処理が終了します。 ・ *詳細チェック* ファイルシステムのチェックとハードディスクの物理的なチェックと自動修復を行います。 チェックディスクを ON にした場合、次回の起動時、起動中に[PWR]ランプが点滅し、[STS]ランプが点灯します。 [STS]ランプが消灯し、[PWR]ランプが点灯に変わるとチェックディスクが終了し、起動も完了します。 チェックディスクのチェック結果は、ブラウザでトップメニューにアクセスすることで確認できます。

参考

[チェック時間の目安]

簡易チェックの場合：

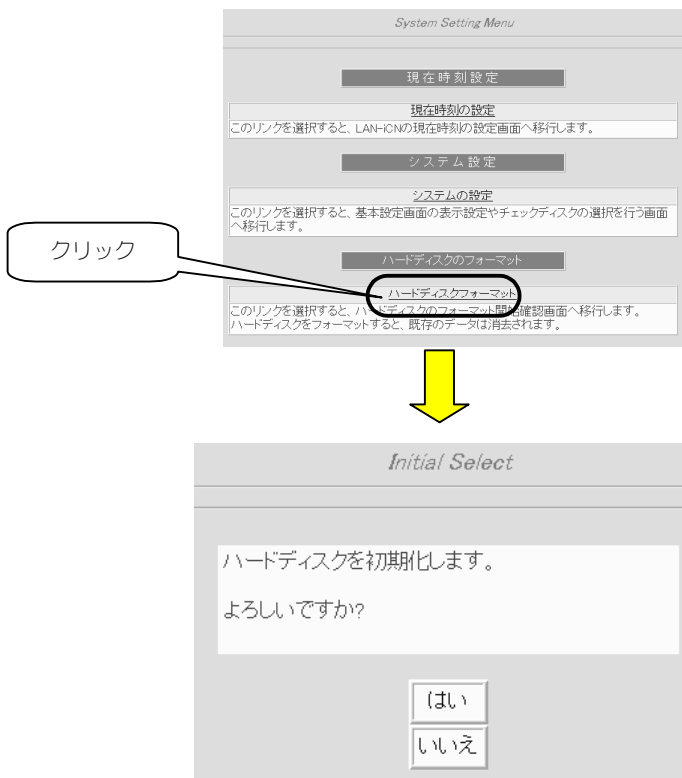
- **160G バイトのハードディスクの場合 → 約 20 分**
- **120G バイトのハードディスクの場合 → 約 15 分**
- **80G バイトのハードディスクの場合 → 約 10 分**
- **60G バイトのハードディスクの場合 → 約 7 分**
- **40G バイトのハードディスクの場合 → 約 5 分**

詳細チェックの場合：

- **160G バイトのハードディスクの場合 → 約 20 時間**
- **120G バイトのハードディスクの場合 → 約 15 時間**
- **80G バイトのハードディスクの場合 → 約8時間**
- **60G バイトのハードディスクの場合 → 約6時間**
- **40G バイトのハードディスクの場合 → 約4時間**

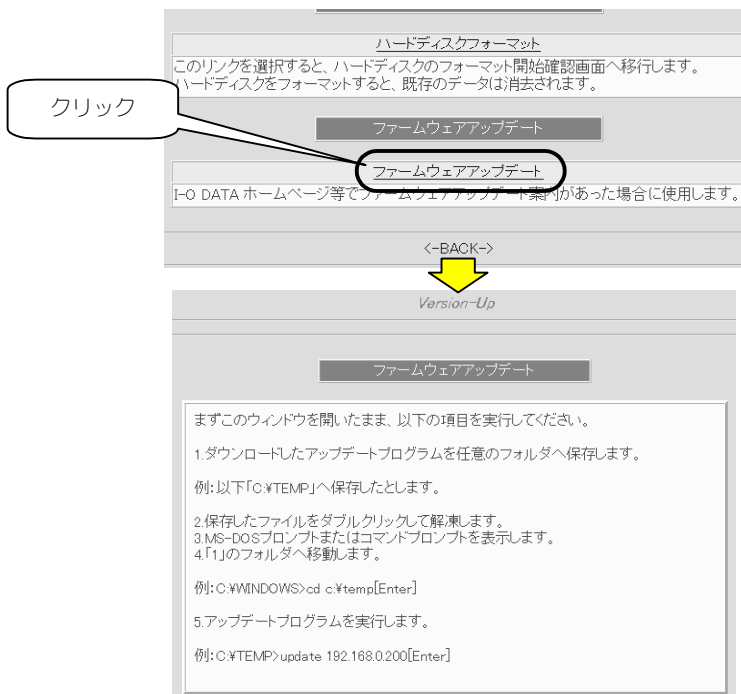
「基本設定」画面表示選択	初期値：表示する 「基本設定」画面の表示・非表示を設定できます。 [表示しない]を選択して、管理者以外の人が基本設定を使用して設定変更することをできなくすることができます。

[システム設定]→[ハードディスクフォーマット]

［高度な設定］画面の［システム設定］→［ハードディスクフォーマット］をクリックすればLAN-iCNに接続したハードディスクをフォーマットし直すことができます。

［フォーマット時間の目安］

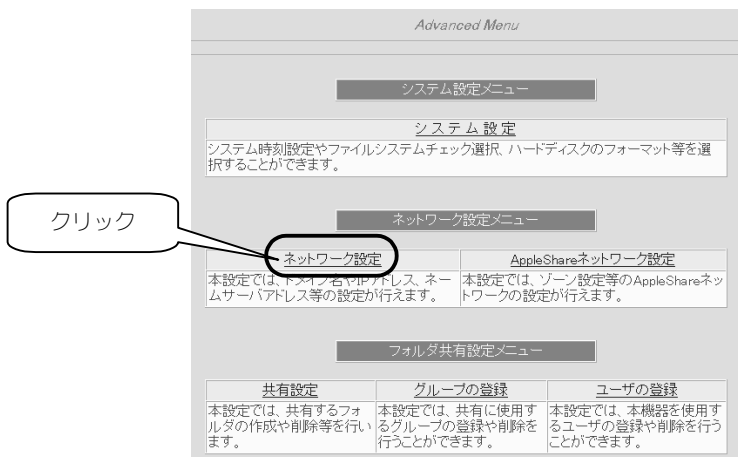
- 160Gバイトのハードディスクの場合　→　約20分
- 120Gバイトのハードディスクの場合　→　約15分
- 80Gバイトのハードディスクの場合　→　約10分
- 60Gバイトのハードディスクの場合　→　約7分
- 40Gバイトのハードディスクの場合　→　約5分

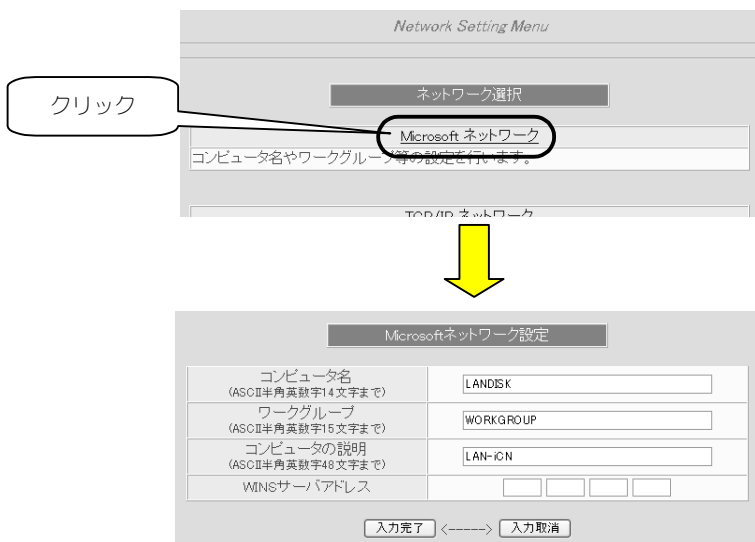
[システム設定]→[ファームウェアアップデート]

［高度な設定］画面の［システム設定］→［ファームウェアアップデート］をクリックすればLAN-iCNのファームウェアをアップデートできます。
本機能は、I-O DATAホームページなどでファームウェアのアップデートが案内された場合にのみ使用します。

※ファームウェアのアップデートは画面に従って正しく行ってください。
　また、あわせてダウンロードしたアップデートプログラム内のREADME.TXTファイルもご覧ください。

・Windows のみでファームウェアがアップデートできます。
　Mac OS7.6～9.2.2、X(10.1.x)では、アップデートできませんのでご了承ください。
・ファームウェアのアップデート中は本製品の電源を切らないでください。
　アップデート中に電源を切ると、本製品を破損する恐れがあります。
・[ファームウェアアップデート]画面を表示させた場合は、本製品が保守モードになっていますので、アップデートを実行しなかった場合でも、本製品を再起動してください。

[ネットワーク設定]

[高度な設定]画面の[ネットワーク設定]をクリックすればLAN-iCNのネットワークに関する設定ができます。

[ネットワーク設定]→[Microsoft ネットワーク]

［高度な設定］画面の［ネットワーク設定］→［Microsoftネットワーク］をクリックすればLAN-iCNの［コンピュータ名］や［ワークグループ］などを設定できます。

コンピュータ名	初期値：LANDISK LAN-iCN の名前を設定できます。 （半角英数文字で入力してください。）
ワークグループ名	初期値：WORKGROUP LAN-iCN のワークグループ名を設定できます。 （半角英数文字で入力してください。）
コンピュータの説明	初期値：LAN-iCN LAN-iCN のコンピュータの説明を設定できます。 ※Windows のネットワークのプロパティ中にある「コンピュータ名の説明」と同様に、[マイネットワーク]や[ネットワークコンピュータ]を詳細表示させた際のコメント欄に表示される文字列となります。
WINS サーバアドレス	初期値：空白 LAN-iCN の WINS サーバアドレスを設定できます。

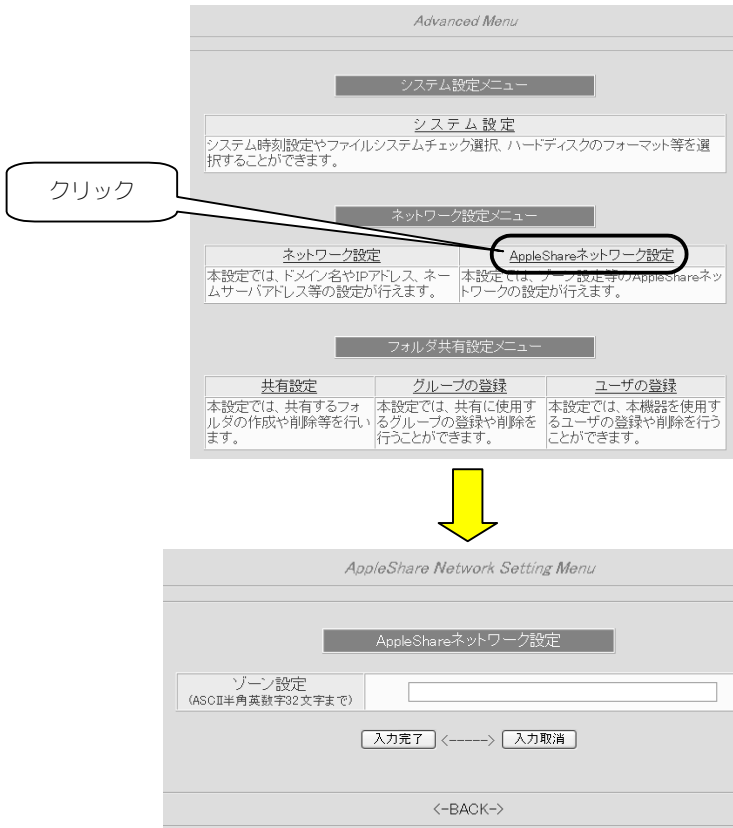
※これらの項目（コンピュータの説明以外）は、[基本設定]でも設定できます。
（[基本設定][高度な設定]を問わず、後に設定した方が有効となります。）

[ネットワーク設定]→[TCP/IP ネットワーク]

［高度な設定］画面の［ネットワーク設定］→［TCP/IPネットワーク］をクリックすればLAN-iCNの［IPアドレス］や［デフォルトゲートウェイ］などを設定できます。

DHCP クライアントに設定する	LAN-iCN を DHCP クライアントに設定する場合にチェックします。 DHCP サーバからの IP アドレスの取得に失敗した場合は、IP アドレスは出荷時の値「192.168.0.200」に戻り、DHCP クライアントとしては設定されません。
IP アドレスを指定する	LAN-iCN に固定の IP アドレスを設定する場合にチェックします。
IP アドレス	初期値：192.168.0.200 LAN-iCN の IP アドレスを指定します。 LAN-iCN を DHCP クライアントに設定した場合、この値は無効です。
サブネットマスク	初期値：255.255.255.0 LAN-iCN のサブネットマスクを設定します。 LAN-iCN を DHCP クライアントに設定した場合、この値は無効です。
デフォルトゲートウェイ	初期値：空白 LAN-iCN のデフォルトゲートウェイを設定します。 LAN-iCN を DHCP クライアントに設定した場合、この値は無効です。
ホスト名	初期値：landisk LAN-iCN のホスト名を設定します。
ドメイン名	初期値：空白 LAN-iCN のドメイン名を設定します。 LAN-iCN を DHCP クライアントに設定した場合、この値は無効です。 ※ASCII 半角英数字で 32 文字までの入力が可能です。 ※一部使用できない記号があります。 ※ドメインサーバ管理はできません。
DNS サーバアドレス	初期値：空白 LAN-iCN の DNS サーバアドレスを設定します。 LAN-iCN を DHCP クライアントに設定した場合、この値は無効です。

[AppleShare ネットワーク設定]

[高度な設定] 画面の [AppleShareネットワーク設定] をクリックすれば Macintosh用AppleTalkのネットワークのゾーンを設定できます。

ゾーン設定	初期値：空白 ゾーンを設定できます。 ※ASCII 半角英数字で 32 文字までの入力が可能です。 ※一部使用できない記号があります。

[ユーザの登録]

［高度な設定］画面の［ユーザの登録］をクリックすれば、ユーザの追加／削除ができます。

ユーザ登録し、そのユーザの共有を作成することで他のユーザからはアクセスできないフォルダ（ディレクトリ）を作成することができます。

注意！

・半角英数文字を使用してください。

・数字のみのユーザ名は使用できません。また、一部使用できない記号があります。

・以下の名前のグループ名は使用できません。

root、 bin、 daemon、 adm、 lp、 sync、 shutdown、 halt、 operator、 uucp、 nobody、 upuser、

グループ名と同じ名前

Advanced Menu

システム設定メニュー

システム 設 定
システム時刻設定やファイルシステムチェック選択、ハードディスクのフォーマット等を選択することができます。

ネットワーク設定メニュー

ネットワーク設定	AppleShareネットワーク設定
本設定では、ドメイン名やIPアドレス、ネームサーバアドレス等の設定が行えます。	本設定では、ゾーン設定等のAppleShareネットワークの設定が行えます。

フォルダ共有設定メニュー

共有設定	グループの登録	ユーザの登録
本設定では、共有するフォルダの作成や削除等を行います。	本設定では、共有に使用するグループの登録や削除を行うことができます。	本設定では、本機器を使用するユーザの登録や削除を行うことができます。

クリック

User Setting Menu

新しいユーザの設定

追加／削除選択	⊙ ユーザ追加 ○ ユーザ削除 ○ ユーザパスワード変更

選択完了 <------> 選択取消

<-BACK->

[グループの登録]

［高度な設定］画面の［グループの登録］をクリックすれば、グループの追加／削除ができます。
登録ユーザをグループに登録し、グループ毎の共有を作成することでグループのメンバ以外はアクセスできないフォルダ（ディレクトリ）を作成することができます。

・半角英数文字を使用してください。
・数字のみのグループ名は使用できません。また、一部使用できない記号があります。
・グループ毎の共有は Macintosh ではできません。
・以下の名前のグループ名は使用できません。
group、 root、 wheel、 bin、 daemon、 sys、 adm、 tty、 disk、 lp、 mem、 kmem、 operator、 uucp、 dip、 utmp、 www、 nobody、 users、 upuser、 ユーザ名と同じ名前
・グループの登録はユーザ登録後に行ってください。

Advanced Menu

システム設定メニュー

システム設定
システム時刻設定やファイルシステムチェック選択、ハードディスクのフォーマット等を選択することができます。

ネットワーク設定メニュー

ネットワーク設定	AppleShareネットワーク設定
本設定では、ドメイン名やIPアドレス、ネームサーバアドレス等の設定が行えます。	本設定では、ゾーン設定等のAppleShareネットワークの設定が行えます。

フォルダ共有設定メニュー

共有設定	グループの登録	ユーザの登録
本設定では、共有するフォルダの作成や削除等を行います。	本設定では、共有に使用するグループの登録や削除を行うことができます。	本設定では、本機器を使用するユーザの登録や削除を行うことができます。

クリック

Group Setting Menu

新しいグループの設定

追加／削除選択	◉ グループ追加 ○ グループ削除 ○ グループ登録ユーザ変更

選択完了 <------> 選択取消

<-BACK->

［共有設定］

［高度な設定］画面の［共有設定］をクリックすれば、共有の追加／削除ができます。

［共有］はユーザが［読み書き可］として設定できるフォルダ（ディレクトリ）です。本製品出荷時には、以下の［disk］という１つの共有が登録されています。

disk　：　**すべてのWindowsおよびMacintoshユーザがアクセス可能**

- **半角英数文字を使用してください。**
- **すべてのユーザが「読み書き可」となる共有以外を作成するには、共有を追加する前に、ユーザまたはグループを登録しておく必要があります。**
- **共有名には、2 バイト文字は使用できません。また、一部使用できない記号があります。**

Advanced Menu

システム設定メニュー

システム設定
システム時刻設定やファイルシステムチェック選択、ハードディスクのフォーマット等を選択することができます。

ネットワーク設定メニュー

ネットワーク設定	AppleShareネットワーク設定
本設定では、ドメイン名やIPアドレス、ネームサーバアドレス等の設定が行えます。	本設定では、ゾーン設定等のAppleShareネットワークの設定が行えます。

クリック

フォルダ共有設定メニュー

共有設定	グループの登録	ユーザの登録
本設定では、共有するフォルダの作成や削除等を行います。	本設定では、共有に使用するグループの登録や削除を行うことができます。	本設定では、本機器を使用するユーザの登録や削除を行うことができます。

Shared Folder Setting Menu

新しい共有の設定

追加／削除選択	◉ 共有を追加する ○ 共有を削除する

選択完了 <-----> 選択取消

<-BACK->

管理者情報設定

LAN-iCNの管理者情報設定を行います。
出荷時の初期値より変更したい場合に設定してください。
ここで設定する［登録者名］と［パスワード］が、［高度な設定］画面起動時に入力する［ユーザ名］と［パスワード］になります。

［新しい登録者名］［新しいパスワード］［確認パスワード］入力後、［登録］ボタンをクリックすれば登録されます。

参考:共有の作成方法

ここでは、ユーザ別の共有フォルダ（ディレクトリ）作成方法について説明します。以下の手順で共有を作成します。

① ユーザまたはグループの登録

最初にユーザを登録します。

複数のユーザを1つのグループとして登録することもできます。

※グループを登録するには、最初にユーザを登録しておく必要があります。

② 共有の作成　→　150ページ

登録したユーザ単位、またはグループ単位で、共有を作成します。

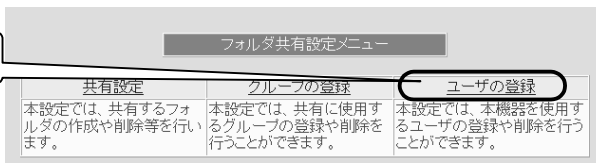
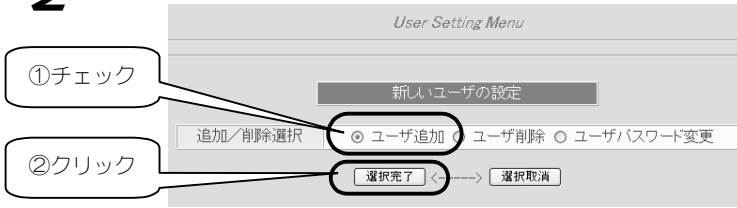
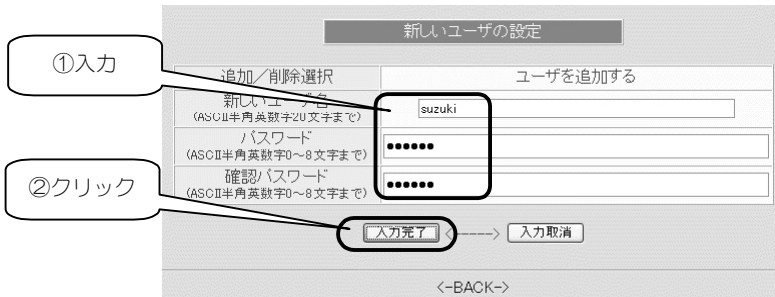
①ユーザを登録する

本製品出荷時には、ユーザは登録されていません。
ユーザの登録は、複数のメンバで本製品に接続したハードディスクを共有して使用する場合などに、他のメンバからアクセスできないフォルダ（ディレクトリ）を作成する際に必要となります。

Windows のユーザの場合は、ここで登録する「ユーザ名」、「パスワード」は、共有フォルダを利用する際にログオンする「ユーザ名」、「パスワード」と一致させる必要があります。

・新しいユーザを登録するには

以下の例は、“suzuki”というユーザを登録する場合の例です。

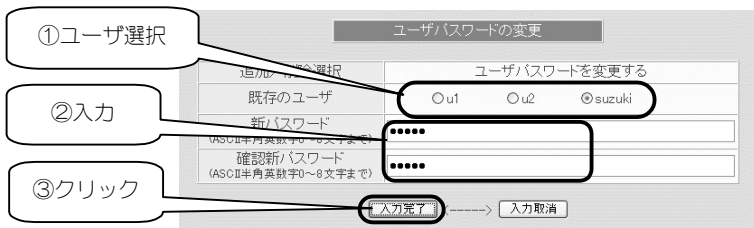
1 ［高度な設定］画面の［ユーザの登録］をクリックします。

2 [ユーザ追加]をチェック後、[選択完了]ボタンをクリックします。

3 [新しいユーザ名]と[パスワード]を入力後、
[入力完了]ボタンをクリックします。

4 以下の画面が表示されます。

これで、ユーザが登録されます。

・参考①:設定したパスワードを変更するには

一度登録したユーザのパスワードを変更することができます。

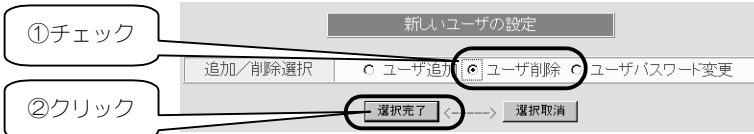
1 [高度な設定]画面の[ユーザの登録]をクリック後、[ユーザパスワード変更]をチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

2 変更する[既存のユーザ]を選択後、[新しいパスワード][確認新パスワード]を入力後、[入力完了]ボタンをクリックします。

3 以下の画面が表示されればパスワードの変更は終了です。これでパスワードは変更されます。

・参考②:登録したユーザを削除するには

一度登録したユーザを削除することができます。

ユーザを削除すると、そのユーザが所有している共有フォルダとその中のデータにアクセスできなくなります。必要なデータがある場合は、あらかじめバックアップしてから該当する共有フォルダを削除してください。

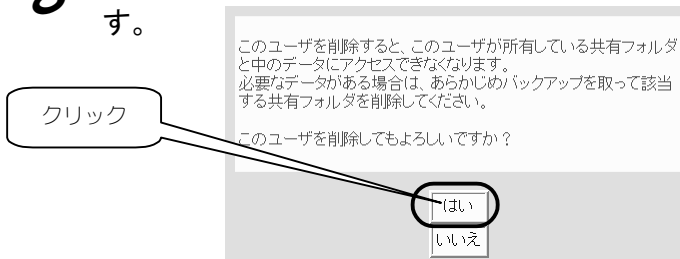
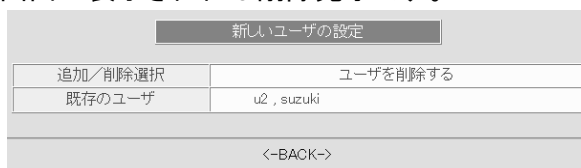
1 [高度な設定]画面の[ユーザの登録]をクリック後、[ユーザ削除]をチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

2 削除したいユーザを選択し、[選択完了]をクリックします。

3 削除確認画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

4 以下の画面が表示されれば削除完了です。

新しいユーザの設定

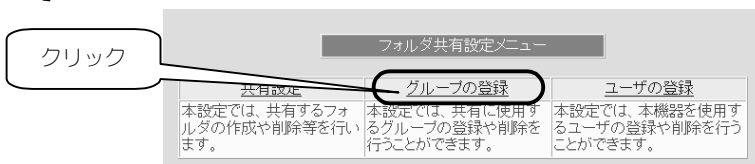
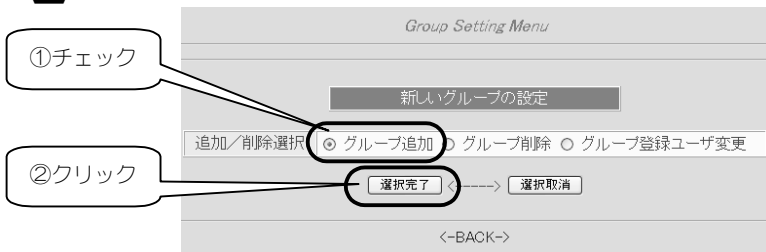
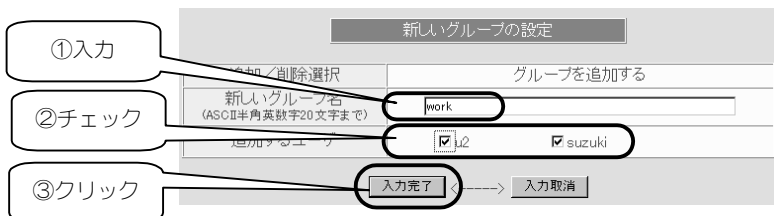
追加／削除選択	ユーザを削除する
既存のユーザ	u2 , suzuki

<-BACK->

②グループを登録する

本製品出荷時には、グループは登録されていません。
グループの登録は、複数のグループでLAN-iCNに接続したハードディスクを共有して使用する際に便利です。
※グループを作成する前にユーザ登録しておく必要があります。

・新しいグループを登録するには

以下の例は、“U2”、“SUZUKI”という２人のユーザを“WORK”というグループに登録する場合の例です。

1 [高度な設定]画面の[グループの登録]をクリックします。

2 [グループの追加]をチェック後、[選択完了]をクリックします。

3 新しいグループ名を入力後、[追加するユーザ]でユーザをチェックし、[入力完了]ボタンをクリックします。

4 以下の画面が表示されます。
しばらくお待ちください。

5 以下の画面が表示されれば登録完了です。

グループ設定結果

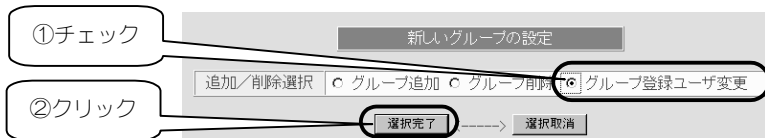
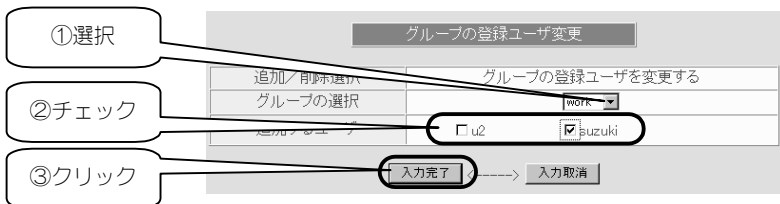
共有グループ	WORK
該当ユーザ	u2 , suzuki

<-BACK->

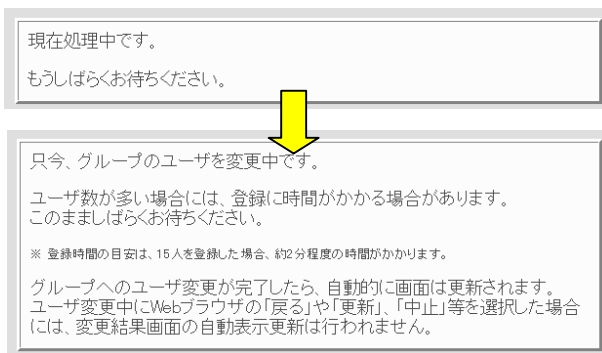
これでグループが登録されました。

・参考①:登録したグループのメンバを変更する場合

一度登録したグループを変更することができます。

1 [高度な設定]画面の[グループの登録]をクリックし、[グループ登録ユーザ変更]をチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

2 変更したいグループを選択後、[追加するユーザ]をチェックし、[入力完了]ボタンをクリックします。

注意!

1人のユーザを追加したい場合であっても、「すでに追加されているユーザ」と「新たに追加したユーザ」のすべてにチェックを入れてください。

3 以下の画面が表示されますので、しばらくお待ちください。

4 以下の画面が表示されます。

グループ変更結果

共有グループ	work
該当ユーザ	suzuki

<-BACK->

これでグループのメンバが変更されました。

・参考②：登録したグループを削除するには

一度登録したグループを削除することができます。

グループを削除すると、そのグループが所有している共有フォルダとその中のデータにアクセスできなくなります。必要なデータがある場合は、あらかじめバックアップしてから該当する共有フォルダを削除してください。
グループのメンバの変更を実行しても、問題ありません。

1 ［高度な設定］画面の［グループの登録］をクリック後、［グループ削除］をチェックし、［選択完了］ボタンをクリックします。

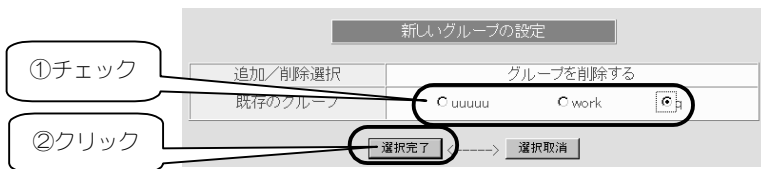
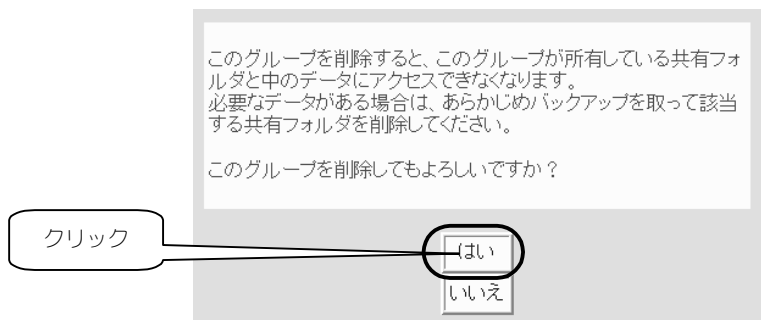
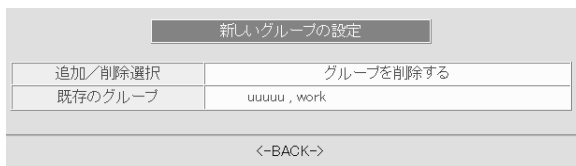
2 削除したいグループをチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

3 以下の画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

4 以下の画面が表示されます。

新しいグループの設定

追加／削除選択	グループを削除する
既存のグループ	uuuuu , work

<-BACK->

これでグループが削除されました。

③フォルダ共有設定メニュー

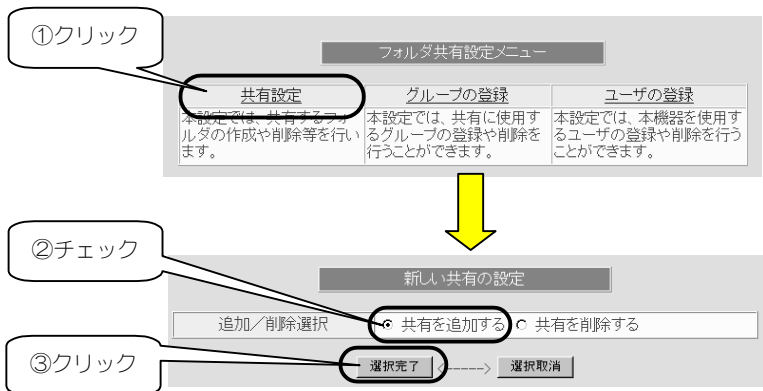
LAN-iCNでフォーマットしたハードディスクには、誰でもアクセス可能な（ユーザ登録なしでアクセスできる）フォルダ“disk”が登録されています。

“disk”へのアクセスは、ネットワーク上から disk が見えるどのパソコンからでも誰でもできます。
他の人にアクセスさせたくないフォルダ（ディレクトリ）を作成したい場合は、フォルダ共有設定に従い、共有フォルダを作成します。

④共有

共有は、「ユーザ単位」、「グループ単位」、「誰でも」の３通りの選択が可能です。

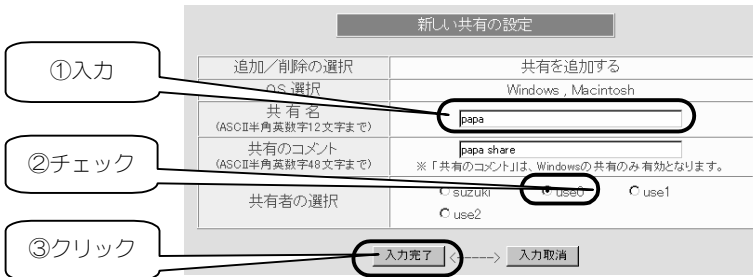
ユーザ単位	その人だけがアクセス可能となります。 例えば、家族で本製品を共有した場合に、父、母、娘、息子で別々のフォルダを作成すると、それぞれ自分だけのフォルダを持つことができます。
グループ単位	そのグループのメンバだけがアクセス可能となります。 例えば、家族で本製品を共有した場合に、父母(parentグループ)と娘、息子(childグループ)の共有を作成すると、それぞれ父母のみがアクセスできるフォルダと娘・息子のみがアクセスできるフォルダとなります。 ※Macintoshからも共有を行う場合は「グループ単位」は選択できません。
誰でも	誰でもがアクセスできる設定です。

1 ［共有設定］をクリック後、［共有を追加する］をチェックし、［選択完了］ボタンをクリックします。

＜例1＞父(use0)のみがアクセス可能なフォルダ(papa)を作成します。

父はWindowsもMacintoshも使用します。

1 [Windows]と[Macintosh]の両方をチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

2 [ユーザー]をチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

3 共有名に[papa]を入力し、共有者の選択で[use0]をチェックし、[入力完了]ボタンをクリックします。

4 共有が作成されます。

新しい共有の設定結果

追加／削除の選択	共有を追加する
OS 選択	Windows,Macintosh
共 有 名	papa
共有のコメント	papa share
共有者の選択	use0

＜例2＞「group2」のみがアクセス可能なフォルダ（g2-share）を作成します。

1 [Windows]のみをチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

2 [グループ]をチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

3 共有名に[g2-share]を入力し、共有者の選択で[group2]をチェックし、[入力完了]ボタンをクリックします。

4 共有が作成されます。

新しい共有の設定結果

追加/削除の選択	共有を追加する
OS 選択	Windows
共 有 名	g2-share
共有のコメント	group2 share
共有者の選択	group2

・参考:作成した共有を削除するには

一度作成した共有を削除することができます。

共有を削除すると、共有フォルダとその中のデータも同時に削除されます。
必要なデータはあらかじめバックアップしてください。

1 [共有を削除する]をチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

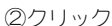
2 共有名の表示で[papa]をチェックし、[選択完了]ボタンをクリックします。

3 [はい]ボタンをクリックします。

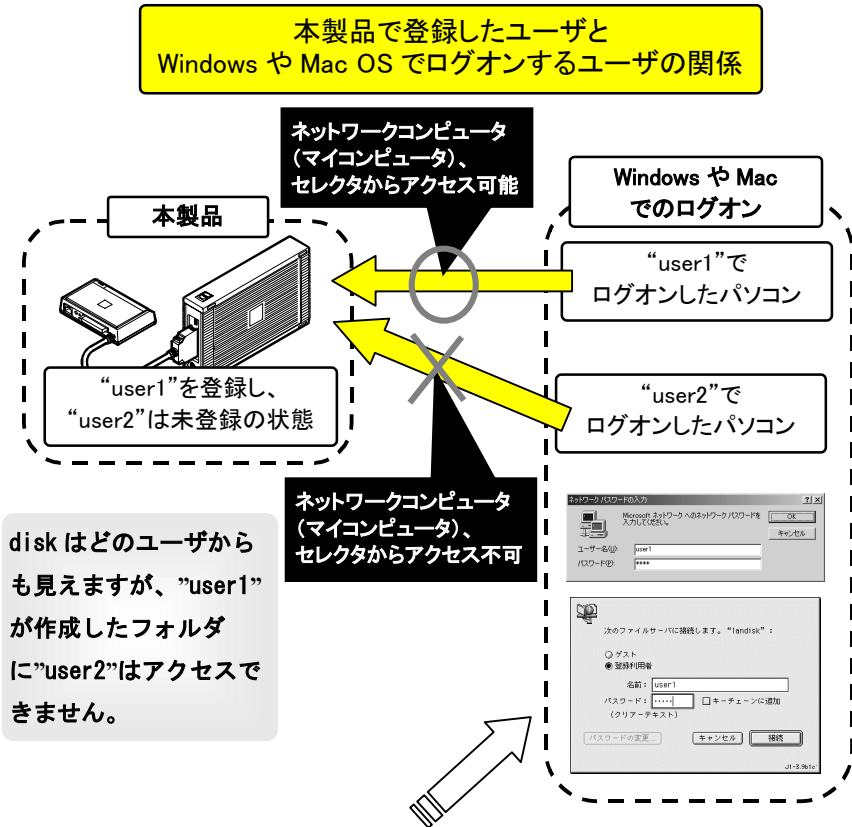
4 共有が削除されます。

新しい共有の設定

追加／削除の選択	共有を削除する
共有名の表示	disk

<-BACK->

補足：登録したユーザで各 OS からアクセスするには

あるユーザ（下記の user1）が LAN-iCN に接続したハードディスクに作成したフォルダにアクセスする際の［ユーザ名］と［パスワード］は、Windows や Mac OS でログオンする際の［ユーザ名］（あるいは［名前］）と［パスワード］に一致している必要があります。

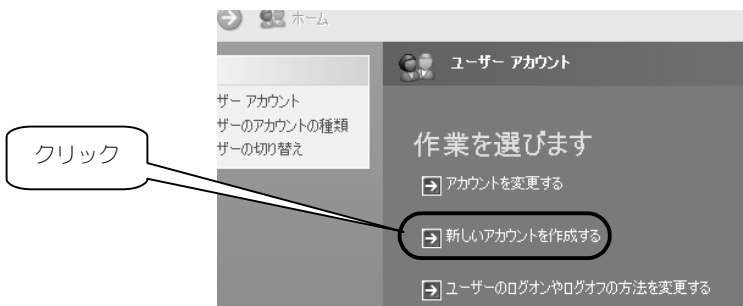
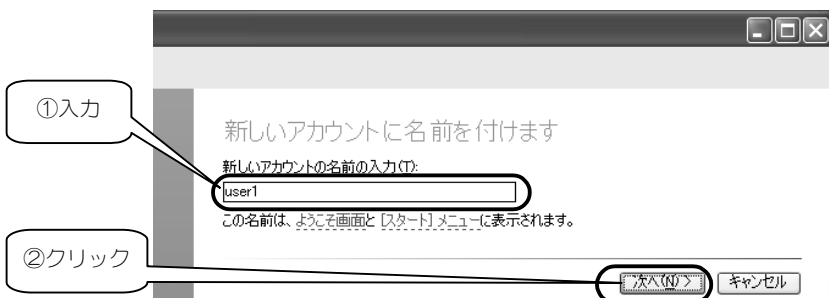
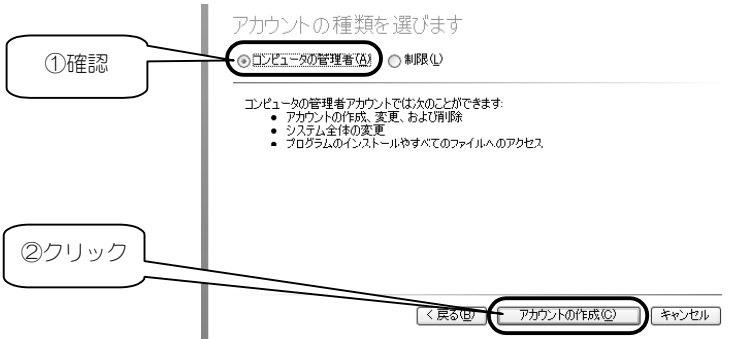
本製品で登録したユーザと Windows や Mac OS でログオンするユーザの関係

ここでは、Windows や Mac OS での［ユーザ名］と［パスワード］の登録およびログオンについて説明します。

- Windows XP の場合 → 次ページを参照
- Windows 2000 の場合 → 159 ページを参照
- Windows Me/98/95 の場合 → 162 ページを参照
- Windows NT 4.0 の場合 → 162 ページを参照
- Mac OS 7.6～9.2.2 の場合 → 162 ページを参照
- Mac OS Ｘの場合 → 163 ページを参照

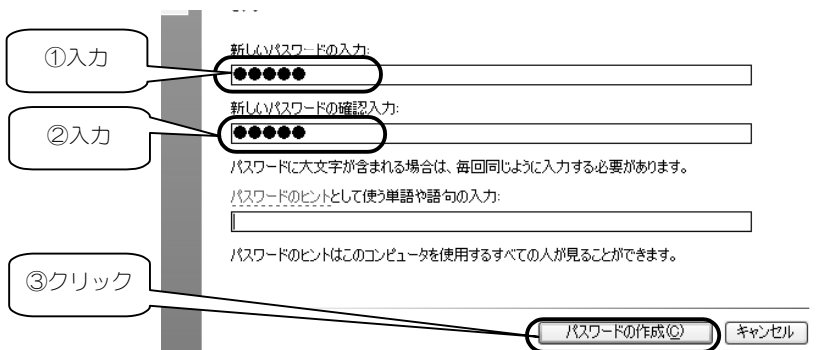
・Windows XPでの[ユーザ名]と[パスワード]

Windows XPの場合、Windows XPへのユーザ登録が必要となります。
すでにWindows XPへのユーザ登録を終了している場合は、その[ユーザ名]と[パスワード]で本製品に登録してください。
Windows XPへのユーザ登録を終了していない場合は、本製品に登録した[ユーザ名]と[パスワード]を、以下の手順でWindows XPに登録してください。
(以下の手順は、Windows XPに[user1]でユーザ登録する例です。)

1 [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[ユーザーアカウント]アイコンをダブルクリックします。 ユーザー アカウント

2 [新しいアカウントを作成する]をクリックします。

3 "user1"を入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

4 ［コンピュータの管理者］が選択されていることを確認後、［アカウントの作成］ボタンをクリックします。
→アカウントが作成されます。

5 パスワードを設定します。
作成したアカウントをクリックします。

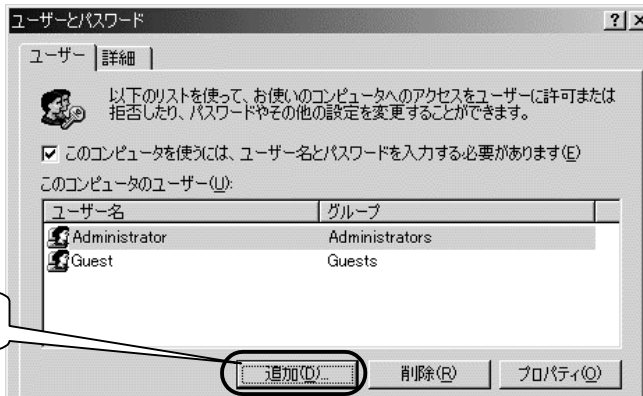
6 [パスワードを作成する]をクリックします。

7 本製品で登録した[パスワード]を入力後、[新しいパスワードの確認入力]にも同じ[パスワード]を入力します。
入力後、[パスワードの作成]ボタンをクリックします。

パスワードは、「●●●●●」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字・小文字などを間違えないように注意してください。

以上で終了です。

・Windows 2000での[ユーザ名]と[パスワード]

Windows 2000の場合、Windows 2000へのユーザ登録が必要となります。
すでにWindows 2000へのユーザ登録を終了している場合は、その[ユーザ名]と[パスワード]で本製品に登録してください。
Windows 2000へのユーザ登録を終了していない場合は、本製品に登録した[ユーザ名]と[パスワード]を、以下の手順でWindows 2000に登録してください。
(以下の手順は、Windows 2000に[user1]でユーザ登録する例です。)

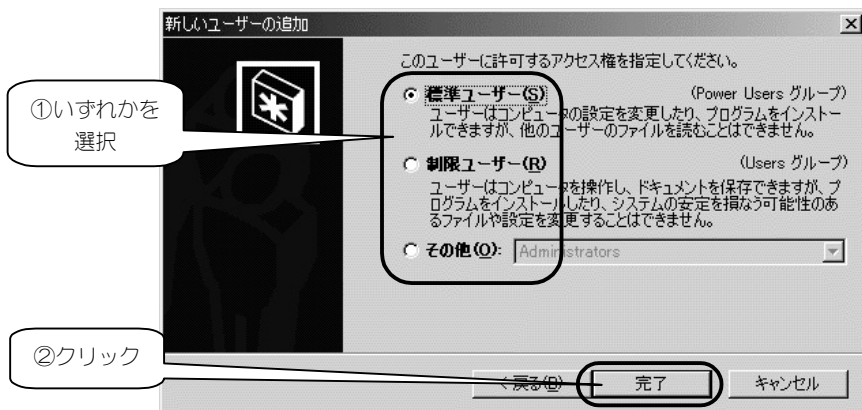
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[ユーザーとパスワード]アイコンをダブルクリックします。

2 [追加]ボタンをクリックします。

3 本製品で登録した[ユーザ名]を入力(小文字で入力)後、[次へ]ボタンをクリックします。

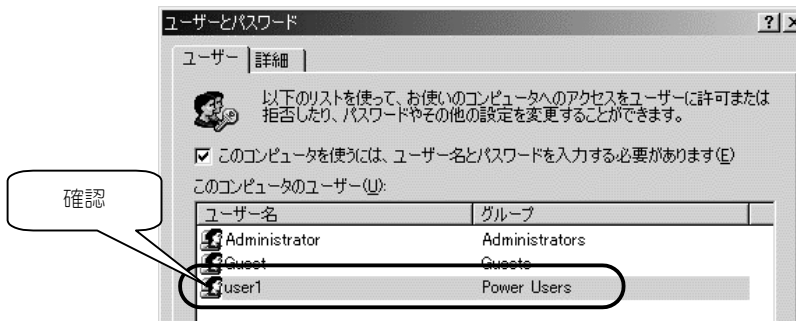
※以下は、[user1]というユーザ名でログオンするユーザの入力例です。

4 本製品で登録した[パスワード]を入力後、[パスワードの確認入力]にも同じ[パスワード]を入力します。
入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

パスワードは、「**」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字・小文字などを間違えないように注意してください。**

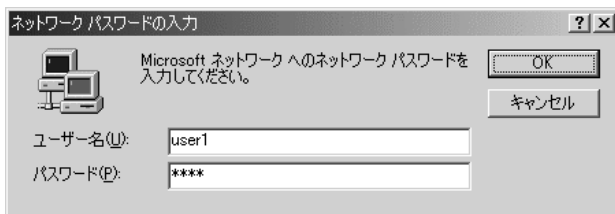
5 Windows 2000でのアクセス権を指定し、
[完了]ボタンをクリックします。

参考

ここで指定するアクセス権は、Windows 上でのものであり、本製品のアクセス権とは無関係となります。例えば、Windows 2000 にて Administrator 権限を持っているが、本製品の Administrator 権限を持っていないといった設定もできます。

6 本製品で登録したユーザ名が、
Windows 2000でも登録されていることを確認します。

上記のようなユーザ名[user1]でWindowsにログオンしたユーザは、
[マイネットワーク]上から、本製品に[user1]で登録した権限で本製品にアクセスできます。

・Windows Me/98/95での［ユーザ名］と［パスワード］

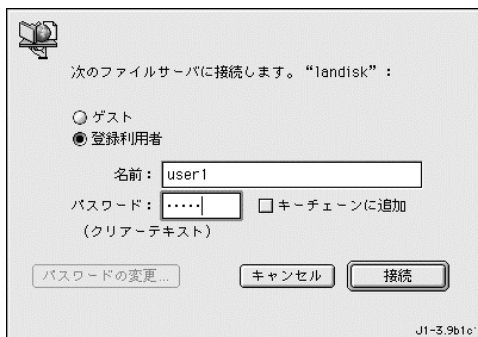
本製品（のハードディスク）にアクセスするには、Windows起動時の［ネットワークパスワードの入力］画面で、本製品に登録した［ユーザ名］と［パスワード］を入力する必要があります。

Windows起動後、本製品に登録した権限で、［マイネットワーク］（または［マイコンピュータ］）上から本製品にアクセスできます。

・Windows NT 4.0での［ユーザ名］と［パスワード］

Windows NT 4.0の場合、Windows NT 4.0へのユーザ登録が必要となります。すでにWindows NT 4.0へのユーザ登録を終了している場合は、その［ユーザ名］と［パスワード］で本製品に登録してください。

Windows NT 4.0へのユーザ登録を終了していない場合は、本製品に登録した［ユーザ名］と［パスワード］を、［スタート］→［プログラム］→［管理ツール］→［(ドメイン）ユーザマネージャ］からユーザ登録してください。

・Mac OS 7.6〜9.2.2での［名前］と［パスワード］

Mac OS 7.6〜9.2.2の場合は、［アップルメニュー］→［セレクタ］→［AppleShare］→［landisk］を選択し、［接続］ボタンをクリックした際に、以下の画面が表示されます。ここでは、［登録利用者］を選択し、［名前］と［パスワード］に本製品に登録した［ユーザ名］と［パスワード］を入力すれば、本製品にアクセスできるようになります。

・Mac OS Xでの［名前］と［パスワード］

Mac OS Xの場合は、［移動］→［サーバへ接続...］でLAN-iCNのIPアドレス（出荷時：192.168.0.200）を設定後、［接続］ボタンをクリックした際に、以下の画面が表示されます。ここでは、［登録利用者］を選択し、［名前］と［パスワード］に本製品に登録した［ユーザ名］と［パスワード］を入力すれば、本製品にアクセスできるようになります。

付録1

困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

状態	ページ
設定画面が表示されない	166
管理者（admin）の［パスワード］、［IP アドレス］を忘れた	
設定画面で文字が入力できない	
２バイト文字（日本語など）を使用したフォルダが文字化けする、あるいは開けない	
［TCP/IP］が表示されていない　（Windows Me/98/95 の場合）	167
LAN-iCN の電源を入れても起動しない （［PWR］ランプが点滅→点灯に変化しない）	169
・本製品にファイルをコピーするとアーカイブ属性になる ・本製品にファイルをコピーした後に属性を変更したはずなのに変更されない	
Windows 上からハードディスクを参照した場合に、見覚えのないフォルダやファイルがある	
以下のメッセージが表示された *「いくつかのプログラムが正常に動作していません。 機器の再起動をお勧めします。取扱説明書の「困ったときには」を参照してください。」*	
以下のメッセージが表示された *「情報ファイルが読み込まれませんでした。 取扱説明書の「困ったときには」を参照してください。」*	170
Windows のマイネットワーク（ネットワークコンピュータ）を開いても、Landisk のアイコンが表示されない	
Macintosh のセレクタから、ネットワーク内の AppleTalk を利用した他のサーバは見えるのに、本製品だけが表示されない。	173
ファイル（フォルダ）名に制限はありますか？	
同時接続可能な Macintosh は何台までですか？	
ハードディスクの使用領域が、設定画面とドライブのプロパティとで異なるのですが？	
2G バイト以上のファイルがコピーできない	
［マイネットワーク］（［ネットワークコンピュータ］）から相手のコンピュータ名は見えているが、共有フォルダやファイルを開こうとすると、アクセス権限がないという内容のエラーがでる。	

設定画面が表示されない

原因１	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（[PWR] ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが外れていないか、再度確認してください。

原因２	別のネットワークで使用していたために、Web ブラウザが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	Webブラウザのプロキシ経由の設定を確認してください。 （【Web ブラウザを設定する】(62 ページ) 参照）

原因３	LAN-iCN とご使用のパソコンの IP アドレス体系が合っていない。
対処	174 ページ【TCP/IP の基礎知識】を参照して、IP アドレスを変更してください。

管理者（admin）の[パスワード]、[IP アドレス]を忘れた

対処	本製品底面の [RESET] ボタンを押せば、再度新しい設定を行うことができます。（詳細は【LAN-iCN を出荷時設定に戻す場合】80 ページ参照）

設定画面で文字が入力できない

原因１	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因２	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。

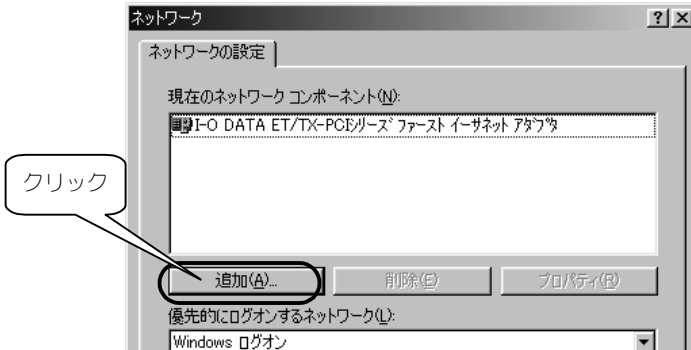
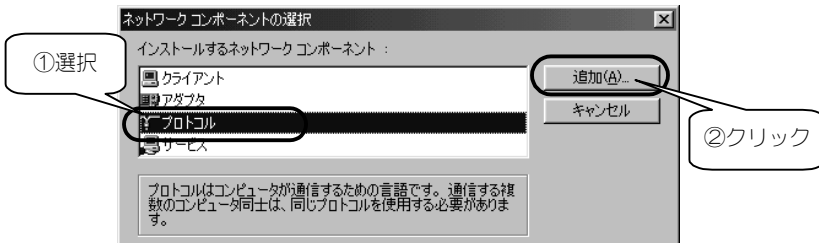
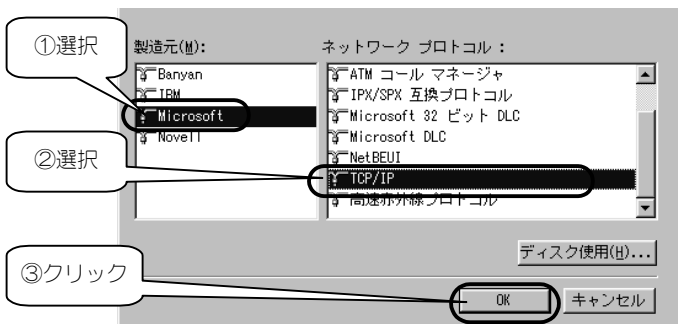
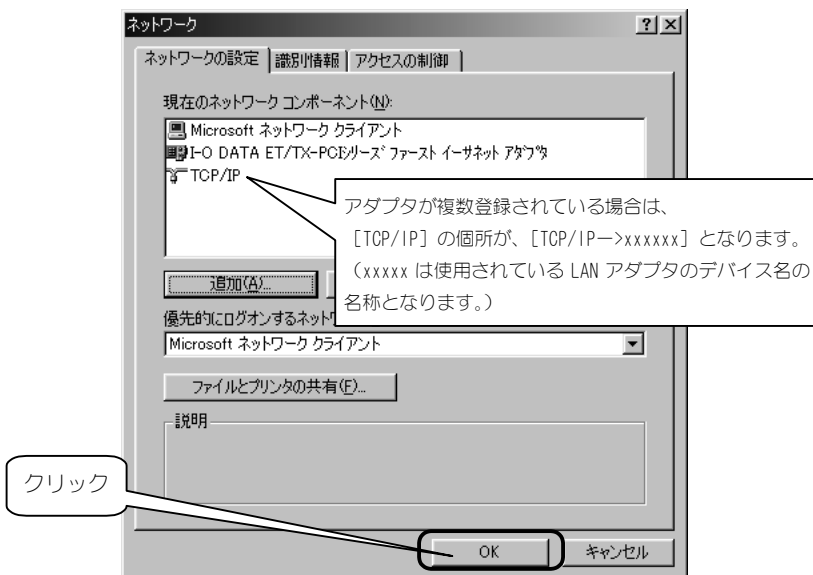
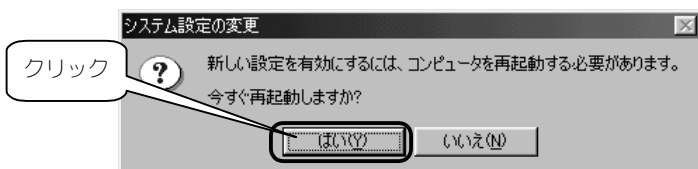
２バイト文字（日本語など）を使用したファイルやフォルダが文字化けする、あるいは開けない

原因	Windows⇔Mac OS 間でファイル（フォルダ）にアクセスしている。
対処	Windows⇔Mac OS 間で２バイト（全角）文字を使用したファイルやフォルダを共有させることはできません。１バイト（半角英数）文字のファイル（フォルダ）名に変更してください。

[TCP/IP]が表示されていない　（Windows Me/98/95 の場合）

原因	TCP/IP プロトコルがインストールされていない。
対処	下記の手順で TCP/IP をインストールします。

1 「ネットワーク」を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、
[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [追加]ボタンをクリックします。
※以下の画面は、弊社製ET/TX-PCIシリーズを例にしています。

3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

LAN-iCN の電源を入れても起動しない（[PWR]ランプが点滅→点灯に変化しない）

原因	ハードディスクが正しく接続されていない。または、ハードディスクの電源が入っていない。
対処	①LAN-iCNのＡＣアダプタをコンセントから外します。 ②ハードディスクとLAN-iCNの接続を確認します。 ③ハードディスクの電源を入れます。 ④LAN-iCNの電源を入れます。 以上の手順を行っても同じ現象の場合は、サポートセンターにお問い合わせください。

・本製品にファイルをコピーするとアーカイブ属性になる
・本製品にファイルをコピーした後に属性を変更したはずなのに変更されない

原因	本製品の仕様です。

Windows 上からハードディスクを参照した場合に、見覚えのないフォルダやファイルがある

原因	Mac OS で、フォルダを作成したりファイルをコピーした。
対処	Mac OS で、フォルダを作成したりファイルをコピーした際は、作成したファイル（フォルダ）の他に、別のファイル（フォルダ）が作成されます。（Windows 上から見ると、見覚えの無いファイル、フォルダになります。）このファイル（フォルダ）には、Mac OS ユーザ用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。

以下のメッセージが表示された

「いくつかのプログラムが正常に動作していません。機器の再起動をお勧めします。取扱説明書の「困ったときには」を参照してください。」

原因	ファームウェアが正常に動作していない。
対処	いったん、LAN-iCNの電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。同じメッセージが表示される場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

以下のメッセージが表示された
「情報ファイルが読み込まれませんでした。
取扱説明書の「困ったときには」を参照してください。」

原因	LAN-iCN 設定中に情報を読み出そうとした。
対処	いったん、LAN-iCNの電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。同じメッセージが表示される場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

Windows のマイネットワーク（ネットワークコンピュータ）を開いても、Landisk のアイコンが表示されない

原因1	本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。
対処	【LAN-iCN のネットワークを設定する】（73 ページ）をご覧になり、ワークグループ名を一致させてください。

原因2	ネットワークの参照に時間がかかっている。
対処	［表示］メニュー→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因3	Windows のネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正常に行えない。
対処	[スタート]→[検索]をクリックし、[コンピュータ]、[ネットワークコンピュータ]、[コンピュータや人]などを選択し、本製品のコンピュータ名（初期値は「Landisk」）や本製品の IP アドレス（初期値は「192.168.0.200」）を入力し、検索してみてください。 Windows Me/98/95 で見つからない場合は、次ページをご覧ください。 Windows XP/2000/NT 4.0 で見つからない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

・ネットワーク機能を確認する

正常に組み込まれなかったネットワークに関するものを以下の順番で削除を行ってください。

1 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]を開きます。

2 [ネットワーク]画面に表示される内容を次ページの種類順に削除してください。

削除する順番が異なると、ネットワークがうまく構成し直せなくなる場合がありますので、必ず下記の順で削除してください。

<削除する順番>

1) サービスをすべて削除します。

[Microsoft ネットワーク共有サービス]など[xxxx 共有サービス]という名称のものが該当します。

サービスの削除後は、[ネットワーク] 画面で [OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

2) クライアントをすべて削除します。

[Microsoft ネットワーククライアント]、[Microsoft ファミリログオン]など[xxxxクライアント]という名称のものが該当します。

[コントロールパネル] → [ネットワーク] を開いて、クライアントをすべて削除します。サービスの削除後は、[ネットワーク] 画面で [OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3) プロトコルをすべて削除します。

[TCP/IP(TCP/IP->xxxx)]、[NetBEUI(NetBEUI->xxxx)]、[IPX/SPX(IPX/SPX->xxxx)という名称のものが該当します。

プロトコルの削除後は、[ネットワーク] 画面で [OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3　[コントロールパネル]→[ネットワーク]を開くと、アダプタ関連が残ります。その状態になりましたら、お客様が接続するネットワーク環境に必要なものを以下の順に追加を行います。

＜追加する順番＞

1）クライアントとプロトコルを追加します。

※クライアントを追加しますと、プロトコルも一緒に追加されます。

追加する方法は、以下の通りです。

① [追加]ボタンをクリックします。
② [クライアント]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。
③ [製造元]で[Microsoft]を選択し、[クライアント]で必要なプロトコルの名称（[Microsoft ネットワーククライアント]など）をクリックし選択します。
④ [OK]ボタンをクリックします。
⑤ クライアントとプロトコルが追加されたことを確認します。

2）サービスを追加します。

追加する方法は、以下の通りです。

① [追加]ボタンをクリックします。
② [サービス]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。
③ [製造元]で[Microsoft]を選択し、[サービス]で必要なサービスの名称（[Microsoft ネットワーク共有サービス]など）をクリックし選択します。
④ [OK]ボタンをクリックします。
⑤ サービスが追加されたことを確認します。

4　[優先的にログオンする]は、上記にて追加し直したクライアントを選択してください。

5　以上の設定を行って再起動した際、ネットワークへのログオン画面が表示されると思います。ここでは、キャンセルせずに必ず[OK]ボタンをクリックしてください。（パスワードは未入力でも可）

以上で設定は終了です。

Macintosh のセレクタから、ネットワーク内の AppleTalk を利用した他のサーバは見えるのに、本製品だけが表示されない

原因	ネットワーク内に「ゾーン」設定されたサーバが存在する。
対処	本製品の「ゾーン」をネットワーク内のサーバと同一にしてください。設定方法は、【AppleShareネットワーク設定】（134ページ）をご覧ください。

ファイル（フォルダ）名に制限はありますか？

対処	あります。詳しくは15ページをご覧ください。

同時接続可能な Macintosh は何台までですか？

対処	最大5台までです。

ハードディスクの使用領域が、設定画面とドライブのプロパティとで異なるのですが？

原因	本製品が使用するファームウェアの制限で、ハードディスクに問題はありません。

2G バイト以上のファイルがコピーできない

原因	本製品のシステムに採用されている LinuxOS の制限により、１ファイルの最大容量は 2G バイトまでとなります。

[マイネットワーク]（[ネットワークコンピュータ]）から相手のコンピュータ名は見えているが、共有フォルダやファイルを開こうとすると、アクセス権限がないという内容のエラーがでる。

原因	本製品に登録されたユーザ名、パスワードがパソコン側でログインしているユーザ名、パスワードと一致していない。
対処	本製品に登録されたユーザ名、パスワードと同一のユーザ名、パスワードでパソコンへログオンしてください。

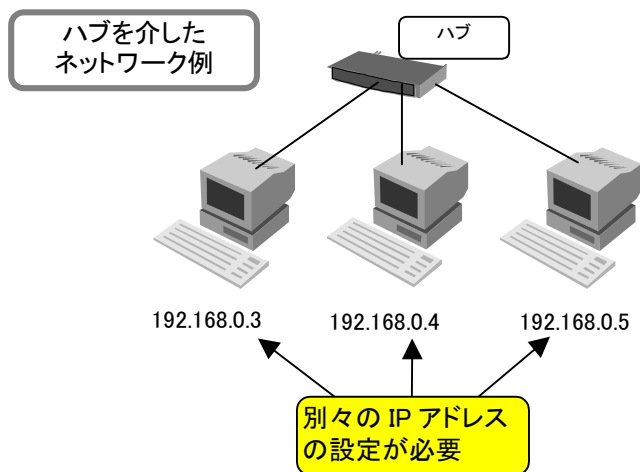
付録2

TCP/IP の基礎知識

ここでは、本製品を使用する上で必要となるTCP/IPプロトコルのIPアドレスの基礎知識について説明します。必要に応じてお読みください。

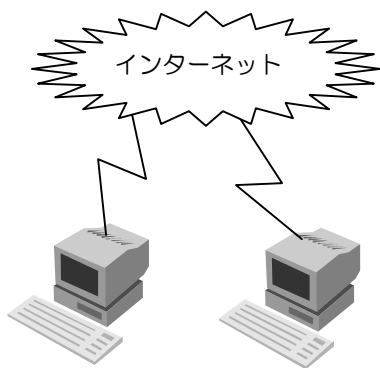
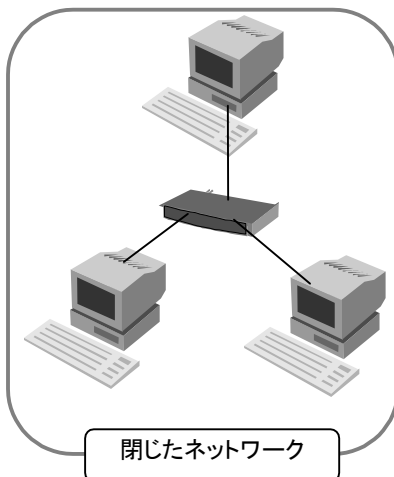
IP アドレス

同じネットワーク上では別々の IP アドレスが必要

本製品を使用するには、本製品やパソコンにIPアドレスの設定が必要です。
IPアドレスとは、データを送受信するためのパソコン同士で理解できる住所のようなものです。
町の１軒１軒の家が別々の住所を持つように、パソコンも１台１台が別々のIPアドレスを設定する必要があります。もし、同じIPアドレスを持つパソコンがあるとどちらにデータを送ればいいのかわからなくなるためです。
例えば、本製品は出荷時「192.168.0.200」のIPアドレスを持ちますが、ネットワーク上に、同じIPアドレスを設定したパソコンがあると、他のパソコンから本製品やその同じIPアドレスのパソコンにアクセスできなくなります。

グローバル IP アドレスとローカル IP アドレス

IPアドレスには、「グローバルIPアドレス」と「ローカルIPアドレス」（プライベートIPアドレス）があります。

グローバル IP アドレス	ネットワーク上で別々の IP アドレスが必要であるように、インターネットを利用する世界中のすべてのパソコンがそれぞれ別々の IP アドレスを使用する必要があります。この IP アドレスがグローバル IP アドレスです。 通常、プロバイダより割り当てられます。
ローカル IP アドレス	インターネットに接続されていない環境（家庭内のみ、会社内のみなど）では、ネットワーク内で別々の自由な IP アドレスを使用することができます。 この IP アドレスがローカル IP アドレスです。

グローバルIP アドレス

ローカル IP アドレス

IP アドレスのクラス

IPアドレスは、ネットワークを構成するパソコンの台数に応じて、３つのクラスに分かれます。
大規模なネットワークならば［クラスＡのIPアドレス］、中規模なら［クラスＢのIPアドレス］、小規模の場合は［クラスＣのIPアドレス］となります。
同一のネットワーク内では、同一クラスのIPアドレスである必要があります。
実際には、本製品の出荷時のIPアドレス「192.168.0.200」のように、IPアドレスは、ピリオドで区切られた４つの数字の羅列で構成されていて、４つの数字の最初の数字の値で、クラスが分けられます。

ここの数字でクラス分け

IP アドレス　xxx.xxx.xxx.xxx

例　本製品の出荷時の IP アドレス「192.168.0.200」の場合は「192」

クラスは以下のように分類されています。

IP アドレスの最初の数字※	クラス	用途（ネットワークを構成するパソコンの台数）
１～１２６	クラスＡ	大規模ネットワーク用（最大約 1600 万台）
１２８～１９１	クラスＢ	中規模ネットワーク用（最大約 65000 台）
１９２～２２３	クラスＣ	小規模ネットワーク用（最大 254 台）

※「127,224～255」は通常の IP アドレスとしては使われていません。

例えば、数台～数十台で構成されるネットワークでは、クラスＣのIPアドレスを使用します。
通常、ネットワークを構成する場合は、以下の特別なローカルIPアドレスを使用します。

クラス	設定する IP アドレス
クラスＡ	10.0.0.0　～　10.255.255.255
クラスＢ	172.16.0.0　～　172.31.255.255
クラスＣ	192.168.0.0　～　192.168.255.255

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）とは、IP アドレスの自動割り当て機能のことです。
DHCP は、DHCP サーバと DHCP クライアントで構成され、DHCP サーバが DHCP クライアントに使用可能な IP アドレスを割り当てます。
例えば、ネットワーク内に DHCP サーバがあり、複数台のすべてのパソコンを DHCP クライアントに設定した場合、各パソコンは、パソコン起動時に使用可能な IP アドレスを入手し、終了時に開放します。

●DHCP の特徴

・個々のパソコンに IP アドレスをセットする手間が省けます。
・設定できる IP アドレスが変更された場合、DHCP サーバのみの変更で済みます。そのため、クライアント側で IP アドレスを考慮する必要がなくなります。
・DHCP クライアント側では、DNS やゲートウェイ（ルータ）の IP アドレスも自動で設定されます。
・DHCP クライアント側の IP アドレスは、起動時毎に毎回異なる場合があります。

付録3

仕 様

仕様

■ LAN-iCN

製品名		LANインターフェイスHDDアダプタ
製品型番		LAN-iCN
CPU部	搭載CPU数	1
	搭載OS	Linux※1
	搭載メモリ	RAM（32Mバイト）、ROM（512Kバイト）、CF（32Mバイト）
LAN部	規格	IEEE 802.3、IEEE802.3u
	プロトコル	CSMA/CD方式
	データ転送速度	10/100Mbps ※オートネゴシエーション対応
	通信方式	全二重/半二重 ※オートネゴシエーション対応
	収容ポート数	1
	使用コネクタ	RJ-45
LED表示		PWR、ERR、STS、LINK/ACT、100/10、FD/COL
スイッチ類		POWERスイッチ、リセットボタン、ディップスイッチ
電源		DC5V
その他		電池交換方式（カレンダ時計用）
動作温度範囲		0～35℃
動作湿度範囲		10～80% （結露なきこと）
消費電力		最大約5W
寸法		約116（W）×74（D）×26（H）mm
質量		約180g

※ OS : Embedix(Embedded Linux) Embedix(TM) は、米国 LINEO,Inc.の登録商標です。

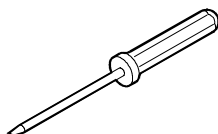
添付の電池の交換について

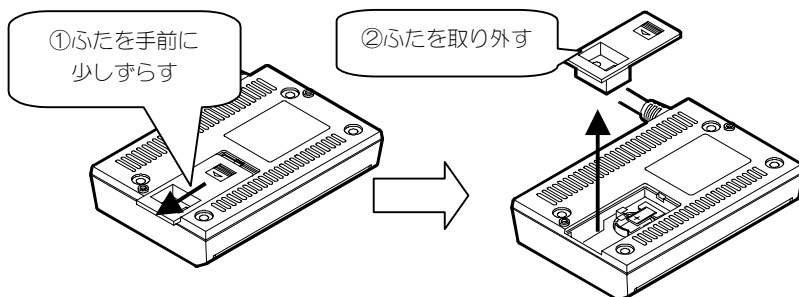
カレンダ時計が更新されなくなった場合、新しい電池に
交換する必要があります。

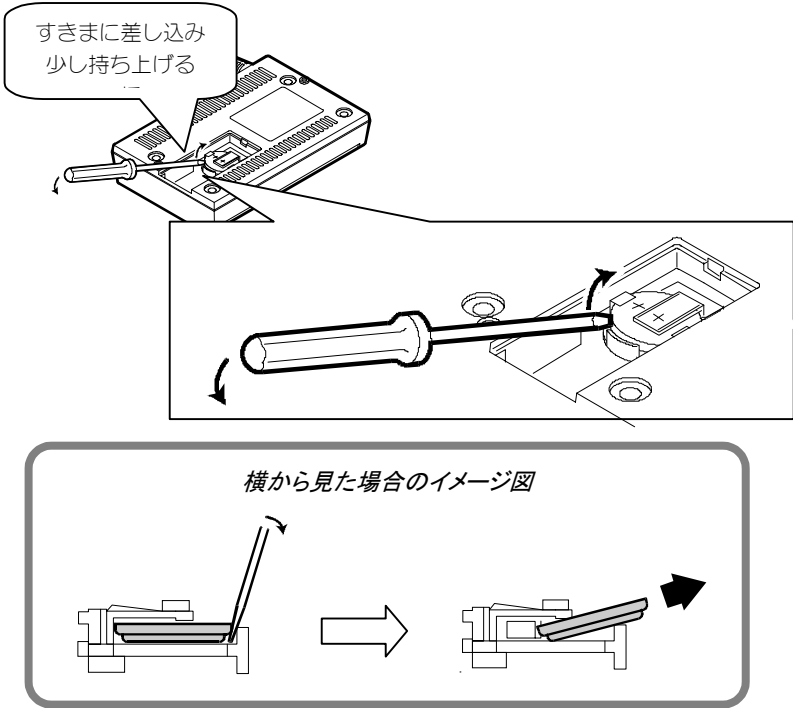
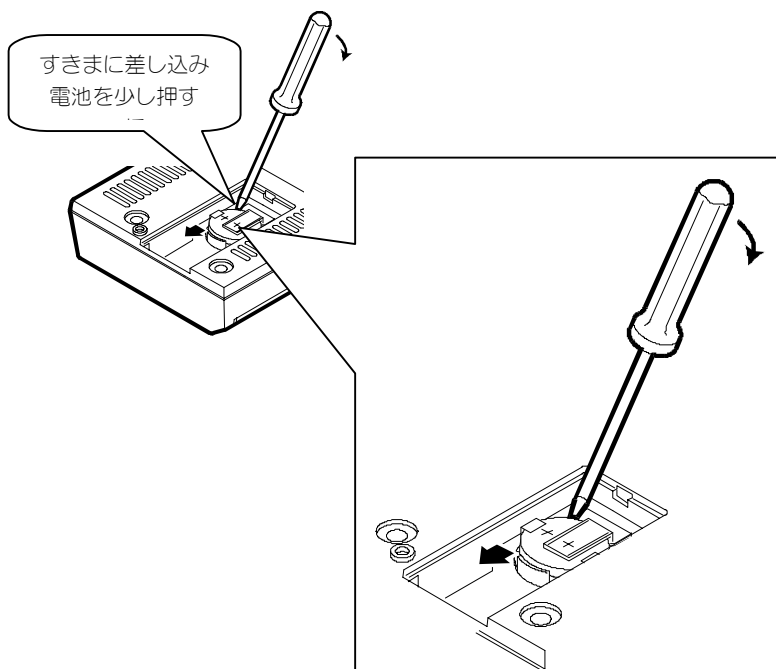
・用意するもの

①交換用の新しい電池

コイン形二酸化マンガンリチウム電池：CR2032

②先が細めのマイナスドライバ

1 本製品を裏返し、底面のふたを取り外します。

裏面の矢印（▼）のある個所を押えながら手前に少しずらします。
ずらした後、ふたを取り外してください。

2 マイナスドライバを以下のイラストの側から電池と本製品のすきまに差し込み、少しだけ持ち上げます。

電池が多少飛び出し、すきまができます。

3 すきまができた個所へマイナスドライバを差し込み直し、電池が飛び出すように少しだけ前へ押すと電池が取り外せます。

4 後は、【LAN-iCNに電池を取り付ける】(30ページ)を参照して、新しい電池を取り付けてください。

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
Newsなど

ソフトウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のソフトウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
ソフトウェア

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3644　東京…03-3254-1144
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

※お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に下記の事項をご用意ください。

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号とFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、ハードウェアシリアルNo.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名
5. 現在の状態（どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、

①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。

②弊社サポートセンターへお問い合わせください。（前ページをご覧ください）

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。